

2014AWAJI JC.

妥協なき挑戦!

～新たなる1ページを刻むために～



2014年度 一般社団法人淡路青年会議所

一般社団法人淡路青年会議所

2014 年度事業報告並びに正味財産増減決算報告書

2013 年度理事長 向内 英光

1. 理事長報告	1
2. 副理事長・室長報告	4
3. 専務理事報告	5
4. 諸会議報告	6
5. 委員会事業報告	13
6. 委員会別事業決算明細	25
7. 直前理事長報告	32
8. 出向報告	33
9. 監事報告	45
10. 会員動向	46
11. 役員名簿	47
12. 出向者一覧	48
13. 組織及び委員会構成	49
14. 褒賞	50
15. 決算報告	51
16. 監査報告	68
17. 資料	69

2014 年度事業計画並びに正味財産増減予算書

2014 年度理事長 原田 啓行

1. 理事長所信	98
2. 基本方針	104
3. 副理事長抱負	105
4. 専務理事抱負	106
5. 監事抱負	107
6. 委員長・室長事業計画並びに予算及び役割業務	108
7. 出向者抱負	118
8. 正味財産増減予算	127
9. 役員名簿	130
11. 出向者一覧	131
12. 組織及び委員会構成	132
13. 年間スケジュール	133
14. 日本 JC 近畿地区兵庫ブロック協議会組織図	134

2013年度

事業報告書

2013年1月1日～12月31日

社団法人淡路青年会議所（2013年1月1日～3月31日）

一般社団法人淡路青年会議所（2013年4月1日～12月31日）

**一 般 社 団 法 人
淡 路 青 年 会 議 所**

2013 年度 スロ ー ガ ン

協働

ま ち
～ 故郷と共に～

2013 年度 基本方針

- 一、メンバー全員が協働しよう
- 一、個々の力を開花させ、組織を進化させよう
- 一、自らの器を広げ、勇気をもって一步踏み出そう

1. 理 事 長 報 告



まずは 2013 年度、理事長という大役を賜り、諸先輩方並びにメンバー、そして多くの方々にご助力いただき、1 年間を全う出来ましたことを心より感謝申し上げます。ありがとうございました。本年はスローガンといたしまして

「協働 ～故郷と共に～」を掲げさせていただきました。このスローガンに込めました三つの意味（①メンバー同士が協働する。②メンバーと島民が協働する。③故郷と共に協働する。）を具現化すべく、予定者段階より勧めて参りました。昨

年の 8 月より 3 月くらいまで、自分がこの大役を全うできるのかを役の重要性に不安がありました。しかし、ある人が言われた「1 月からその役職ではあるが、1 年間掛けてその役職の似合う人間になればいい。」というのを聞き、虚勢を張るのではなく自然体で過ごすことができました。そして、理事会構成者として、委員会の委員長として組織運営の一翼を担っていただきましたメンバーの方々におかれましては、私の所信・基本方針・スローガンを熟知していただき、奔走していただきまして、それぞれに成果を挙げて頂いたものと考えております。

そして、本年行いました社会開発事業では、スローガンを具現化できたものと考えます。「だから革命 ～淡路島のだからが故郷を輝かせる～」では、『淡路島のだから』に注目し、IT サービスの発展により SNS を誰しもが簡単に使用できる昨今だからこそその事業であり、担当委員会を筆頭にメンバーやプロジェクトサポーターである島民の方々、そして投稿・投票をしていただいた方々には、WEB 上での盛り上げやクチコミでの声掛けなど、淡路島を広く発信していただきました。我々は設立より「明るい豊かな淡路島」の実現に向けて活動しておりますが、島民の方々すべてを対象にした事業は難しいのが実情であります。しかし、毎年少しずつでも島民の方々を巻き込み事業展開することにより、明るい豊かな淡路島に近づくものであると確信いたします。

我々の組織は単年度制です。1 年は非常に早く過ぎ去ってしまいます。そしてこの 1 年、個々のスキルアップや一歩踏み出すこと、行動することなど、同じようなことを私自身に言い聞かせる意味で、発信してきました。そして、自問自答も続けております。しかし、この 1 年で体験したことや知り合いとなった多くの方々、そしてこの 2013 年は私にとって素晴らしい財産となりました。このかけがえのない 1 年とお世話になった方々に対して、改めて感謝申し上げます。1 年間本当に有難うございました。

最後に

“そして信じましょう。真剣に取り組む我々に超えられない壁はないということをも！”

2. 副 理 事 長 報 告

副理事長 出口 利一 飛松 孝治 池澄 泰彦 平川 智己



まず初めに副理事長という大役を頂いたことを、向内理事長はじめ、関係者の皆様に改めてお礼申し上げます。

2013年度4名の副理事長で、理事長所信の下、LOM全体で事業を組立、目的達成に向け、全メンバーが与えられた役割を全う出来るように、副理事長として務めてまいりました。三役間で意思統一を図り、各委員会に対し、趣旨目的にあった調査・研究が行われ、方向性に相違なく緻密な事業になるよう見極め、指導を行いました。そして我々がこれまでJCで経験し学んだ事、諸先輩方から教わった事を率先して行動で示し、伝播を行ってまいりましたが、委員会や事業への出席率の低下が見受けられました。JC活動を通じ相互の関わりの大切さを考え、委員会の必要性に気付き、出席・前向きな議論を行う事で、より良い事業となり、また、その他の事業にも積極的に参加を行う事でLOM全体が高い志で力を出し合える集団になると確信し、今後も伝播してまいります。

最後に、今年度の経験を生かし今後のJC活動の糧として取り組んでまいります。1年間ありがとうございました。

3. 専務理事報告

専務理事 沖田 和良



2013 年度、公益法人制度改革に伴い社団法人淡路青年会議所から一般社団法人淡路青年会議所へ移行した節目の年に、組織の根幹を支える専務理事の重責を拝命いたしました。専務理事の職務を全うするにあたり、青年会議所活動と移行による定款・規定・財務の変更による組織運営は、三役間の意思の疎通と情報共有が委員会やメンバーの末端まで伝わる必要であり、皆様のご協力と行動が円滑で効率的な組織運営に繋がり、その職務を無事全うすることができました。ありがとうございました。

専務理事として、法人法上の業務遂行理事として日常の業務を行っていくうちに、常に先を読み、不測の事態も想定することで、広い視野で多角的に判断することの大切さを教えていただくと共に、他 LOM、特別会員、他団体と様々な連絡調整を続けていくうちに、青年会議所活動の意義や目的を再認識することができました。

本年度、組織の中で活動させていただく中で、至らぬ点もありましたが、様々な経験と気づきを得ることができました、今後はその経験を活かして行動してまいります。最後になりますが、ご指導・ご鞭撻をいただいた皆様に、心より感謝申し上げます専務理事としての報告とさせていただきます。1年間ありがとうございました。

4. 諸 会 議 報 告

社団法人 淡路青年会議所 第77回通常総会

2013年1月10日(木)於 夢泉景

出席者 30名 書面評決 19名 委任状 0名

- 第 1号議案 2012年度事業報告承認に関する件
- 第 2号議案 2012年度決算報告承認に関する件
- 第 3号議案 2013年度修正予算承認に関する件
- 第 4号議案 一般社団法人への移行日に関する件

一般社団法人 淡路青年会議所 第1回臨時総会

2013年4月10日(水)於 洲本市文化体育館

出席者 35名 書面評決 14名 委任状 0名

- 第 1号議案 2012年度 社団法人淡路青年会議所 決算報告修正に関する件
- 第 2号議案 2013年度 社団法人淡路青年会議所 決算報告承認に関する件
- 第 3号議案 2013年度 一般社団法人淡路青年会議所
一般会計収支予算承認に関する件

一般社団法人 淡路青年会議所 第2回臨時総会

2013年9月2日(水)於 一般社団法人淡路青年会議所 事務局

出席者 29名 書面評決 22名 委任状 0名

- 第 1号議案 2014年度 理事予定者承認に関する件
- 第 2号議案 2014年度 監事予定者承認に関する件

一般社団法人 淡路青年会議所 第1回定時総会

2013年12月14日(土)於 淡路島観光ホテル

出席者 27名 書面評決 24名 委任状 0名

- 第 1号議案 2013年度 預かり金処分に関する件
- 第 2号議案 2013年度 正味財産増減決算報告承認に関する件

- 第3号議案 2014年度 理事予定者変更に関する件
- 第4号議案 2014年度 組織構成及び委員会構成に関する件
- 第5号議案 2014年度 出向者に関する件
- 第6号議案 2014年度 正味財産増減予算に関する件
- 第7号議案 2014年度 事業計画に関する件
- 第8号議案 2014年度 例会・総会日時に関する件
- 第9号議案 2014年度 預かり金に関する件

理事会報告

月 日	内 容	場 所
1. 4 (水)	社団法人淡路青年会議所 1 月理事会 【審議事項】 (1) 2012 年度事業報告の件 (2) 2012 年度決算報告の件 (3) 新入会員承認の件 (4) 新入会員配属の件 (5) 2013 年度修正予算承認に関する件 (6) 2013 年度会費徴収の件 (7) 対内広報紙発行の件 (8) 1 月新年例会の件 (9) 第 77 回通常総会提出議案の件 (10) 第 77 回通常総会設営の件 (11) 新年会の件 (12) 入会案内冊子作成の件 (13) 総合資料作成の件 (14) 会員名簿作成の件 (15) L O M 役員懇談会設営の件 【協議事項】 (1) 2 月研修例会の件 (2) 3 月つながり例会の件 (3) 淡路 J C 説明会の件	夢海游 淡路島
2. 6 (水)	2 月理事会 【審議事項】 (1) LOM 役員懇談会の件 1. (2) 2 月研修例会の件 【協議事項】 (1) 3 月例会の件 (2) 前期入会候補者説明会～淡路 J C 説明会～の件 (3) 一般社団法人淡路青年会議所 規定・規約制定に関する件 (4) 4 月例会の件 (5) 第 19 回わんぱく相撲淡路場所の件	夢海游 淡路島

月 日	内 容	場 所
3.6(水)	<p>3月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <p>(1) 1月新年例会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(2) 新年会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(3) 3月つながり例会の件</p> <p>(4) 前期入会候補者説明会～淡路JC説明会～の件</p> <p>(5) 一般社団法人淡路青年会議所 規定・規約制定に関する件</p> <p>【協議事項】</p> <p>(1) 4月研修例会の件</p> <p>(2) 一般社団法人淡路青年会議所</p> <p>(3) 一般会計収支予算並びに特別会計収支予算の件</p> <p>(4) 一般社団法人淡路青年会議所</p> <p>(5) 第1回臨時総会提出議案の件</p> <p>(6) 一般社団法人淡路青年会議所</p> <p>(7) 第1回臨時総会の件</p> <p>(8) 第19回わんぱく相撲淡路場所の件</p> <p>(9) 5月スポーツ例会の件</p> <p>(10) だから革命～淡路島の「だから」が故郷を輝かせる～の件</p>	夢海游 淡路島
4.1(月)	一般社団法人淡路青年会議所へ移行	
4.3(水)	<p>4月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <p>(1) 準会員承認の件</p> <p>(2) ホームページ管理・運営決算報告の件</p> <p>(3) 対内広報紙の発行決算報告の件</p> <p>(4) 入会案内冊子作成決算報告の件</p> <p>(5) 総合資料作成事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(6) 会員名簿事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(7) LOM役員懇談会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(8) 2月研修例会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(9) 前期入会候補者説明会～淡路JC説明会～事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(10) 社団法人淡路青年会議所決算報告の件</p> <p>(11) 一般社団法人淡路青年会議所 正味財産増減予算書の件</p> <p>(12) 4月研修例会の件</p> <p>(13) 一般社団法人淡路青年会議所 第1回臨時総会提出議案の件</p> <p>(14) 一般社団法人淡路青年会議所 第1回臨時総会設営の件</p> <p>【協議事項】</p> <p>(1) 5月スポーツ例会の件</p> <p>(2) 6月研修事業の件</p> <p>(3) Jaycee 研修事業の件</p> <p>(4) だから革命～淡路島の「だから」が故郷を輝かせる～の件</p>	夢海游 淡路島

月 日	内 容	場 所
4.9(火)	第1回臨時理事会 【審議事項】 (1) 2月研修例会事業報告並びに決算報告の件	事務局
5.1(金)	5月理事会 【審議事項】 (1) 3月つながり例会事業報告の件 (2) 5月スポーツ例会の件 【協議事項】 (1) 6月研修例会の (2) だから革命～淡路島の「だから」が故郷を輝かせる～の件 (3) Jaycee 研修事業の件 (4) 7月選挙例会の件 (5) 淡路島まつりおどり大会の件	夢海游 淡路島
6.5(水)	6月理事会 【審議事項】 (1) 4月研修例会事業報告並びに決算報告の件 (2) 6月研修例会の件 (3) だから革命～淡路島の「だから」が故郷を輝かせる～の件 (4) Jaycee 研修事業の件 【協議事項】 (1) 選挙管理委員会設置の件 (2) 7月選挙例会の件 (3) 淡路島まつりおどり大会の件 (4) 8月研修例会の件の件	夢海游 淡路島
7.3(水)	7月理事会 【審議事項】 (1) 一般社団法人移行に伴う収支予算書の件 (2) 前期入会候補者説明会～淡路JC説明会～事業報告の件 (3) 5月スポーツ例会事業報告並びに決算報告の件 (4) 第19回わんぱく相撲淡路場所事業報告並びに決算報告の件 (5) 新入会員承認の件 (6) 新入会員配属の件 (7) 2013年度後期会費徴収の件 (8) 選挙管理委員会設置の件 (9) 7月選挙例会の件 (10) 淡路島まつりおどり大会の件 【協議事項】 (1) 8月研修例会の件 (2) 第2回臨時総会提出議案の件 (3) 第2回臨時総会設営の件 (4) 9月故郷づくり例会の件 (5) 後期入会候補者説明会～淡路JC説明会～の件	夢海游 淡路島

月 日	内 容	場 所
8.1(水)	<p>8月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 6月研修例会事業報告並びに決算報告の件 (2) Jaycee 研修事業事業報告並びに決算報告の件 (3) 2014年度理事予定者承認に関する件 (4) 2014年度監事予定者承認に関する件 (5) 第2回臨時総会提出議案の件 (6) 第2回臨時総会の設営の件 (7) 8月研修例会の件 (8) 事務局員夏季休暇の件 <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 9月故郷づくり例会の件 (2) 後期入会候補者説明会～淡路JC説明会～の件 (3) 10月絆例会の件 	夢海游 淡路島
8.27(火)	<p>【審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 2014年度理事予定者承認に関する件 (2) 2014年度監事予定者承認に関する件 (3) 第2回臨時総会提出議案の件 (4) 第2回臨時総会設営の件 	
9.4(水)	<p>9月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 6月研修例会事業報告並びに決算報告の件 (2) 7月選挙例会事業報告並びに決算報告の件 (3) だから革命～淡路島の「だから」が故郷を輝かせる～ 事業報告並びに決算報告の件 (4) 9月故郷づくり例会の件 (5) 後期入会候補者説明会～淡路JC説明会～の件 <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 10月魅力発見例会の件 (2) 11月卒業スピーチ例会の件 	夢海游 淡路島
10.2(水)	<p>10月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 準会員承認の件 (2) 6月研修例会事業報告並びに決算報告の件 (3) 淡路島まつりおどり大会事業報告並びに決算報告の件 (4) 8月例会事業報告並びに決算報告の件 (5) 10月魅力発見例会の件 <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 11月卒業スピーチ例会の件 (2) 12月協働例会の件 (3) Christmas 家族忘年会の件 	夢海游 淡路島

月 日	内 容	場 所
11. 6 (水)	<p>11 月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <p>(1) 淡路島まつりおどり大会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(2) 9 月故郷づくり例会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(3) 11 月卒業スピーチ例会の件</p> <p>(4) 家族忘年会の件【一部審議】</p> <p>【協議事項】</p> <p>(1) 12 月協働例会の件</p> <p>(2) 第 1 回定時総会提出議案の件</p> <p>(3) 第 1 回定時総会設営の件提出議案の件</p>	夢海游 淡路島
12. 4 (水)	<p>12 月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <p>(1) 入会案内冊子事業報告の件</p> <p>(2) 後期入会候補者説明会～淡路 JC 説明会～事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(3) 10 月魅力発見例会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(4) 11 月卒業スピーチ例会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(5) 2013 年度預かり金処分の件</p> <p>(6) 2013 年度正味財産増減決算報告の件</p> <p>(7) 2014 年度理事会予定者変更の件</p> <p>(8) 2014 年度組織及び委員会構成の件</p> <p>(9) 2014 年度出向者の件</p> <p>(10) 2014 年度正味財産増減予算の件</p> <p>(11) 2014 年度事業計画の件</p> <p>(12) 2014 年度例会・総会日時の件</p> <p>(13) 2014 年度預かり金の件</p> <p>(14) 12 月協働例会の件</p> <p>(15) 第 1 回定時総会提出議案の件</p> <p>(16) 第 1 回定時総会設営の件</p> <p>(17) 家族忘年会の件 Party の件</p>	夢海游 淡路島
2014. 1. 8 (金)	<p>13 回理事会</p> <p>【審議事項】</p> <p>(1) 対内広報紙の発行事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(2) 12 月協働例会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(3) 家族忘年会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(4) ホームページの管理・運営事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(5) 2013 年度事業報告の件</p> <p>(6) 2013 年度決算報告の件</p> <p>(7) 新入会員承認の件</p> <p>(8) 理事会預かり金の件</p>	夢海游 淡路島

5. 委員会事業報告

理事長公室

担当	沖田 和良	委員長	有賀 雄一	副委員長	時枝 弘記
委員	太田 達雄、片山 竜也、柴田 大介、寺岡 良祐				

総括報告

委員長 有賀 雄一



まず初めに、2013年度一般社団法人淡路青年会議所の理事として公室長の大役を任命いただきました向内理事長に心からお礼を申し上げます。

予定者段階で一年間の行動指針となる抱負を作成し、その中で公室長として委員長同士の想いを繋ぐリンクマンとして、LOM全体の活性化を出来ればと考え、また、理事長公室としての役割である、理事長の秘書的業務、専務理事の補佐、諸会議の設営など青年会議諸活動の基礎的業務に対し目配り、気配り、心配りを常に心がけ活動を行ってまいりました。結果は、全てが満足できる結果ではなく、自分の至らなさや当たり前のことを当たり前に行うことの難しさを改めて認識する一年であったかと思えます。

また、今年度の拡大は拡大会議を中心とした活動でありましたが、その中で、経験豊富な48年会の皆様と活動を共にさせていただき、会議の進め方や候補者との面談などの活動を通じ様々なことを学ばせていただく機会となりました。

最後になりましたが、向内理事長、沖田専務理事には様々な場面でご指導、ご鞭撻を頂き本当にありがとうございました。また、一年間サポートを頂きました時枝副公室長をはじめとする公室メンバーの皆様には感謝を申し上げ活動報告とさせていただきます。

委員会報告

年月日	場所	内容	出席者数
2012. 9. 14	淡路島観光ホテル	理事長所信・スローガンの件、委員長抱負及び事業計画の件、上程スケジュールの件	3名
9. 25	事務局	委員長抱負及び事業計画の件、上程スケジュールの件	5名
10. 19	事務局	委員長抱負及び事業計画の件、上程スケジュールの件、	4名

年月日	場所	内 容	出席者数
11. 9	事務局	入会案内冊子の件	4名
11. 28	事務局	入会案内冊子の件、拡大会議の件	3名
12. 6	事務局	入会案内冊子の件、LOM 役員懇談会の件	3名
12. 19	事務局	入会案内冊子の件、LOM 役員懇談会の件、淡路 JC 説明会 ～前期入会候補者説明会～の件	2名
2013. 1. 16	事務局	入会案内冊子の件、LOM 役員懇談会の件、淡路 JC 説明会 ～前期入会候補者説明会～の件	3名
1. 25	事務局	入会案内冊子の件、LOM 役員懇談会の件、淡路 JC 説明会 ～前期入会候補者説明会～の件	2名
2. 12	夢海游淡路島	LOM 役員懇談会の件	3名
3. 16	淡路島観光ホテル	淡路 JC 説明会～前期入会候補者説明会～の件	4名
8. 19	事務局	淡路 JC 説明会～後期入会候補者説明会～の件、12月協 働例会の件	4名
9. 9	事務局	淡路 JC 説明会～後期入会候補者説明会～の件、12月協 働例会の件	4名
9. 16	淡路島観光ホテル	淡路 JC 説明会～後期入会候補者説明会～の件	4名
9. 20	事務局	12月協働例会の件	4名
10. 25	事務局	12月協働例会の件	4名
11. 1	事務局	12月協働例会の件	3名
11. 20	事務局	12月協働例会の件、淡路 JC 説明会～後期入会候補者説 明会～事業報告並びに決算報告の件	6名
12. 13	淡路島観光ホテル	12月協働例会の件	3名
12. 20	事務局	12月協働例会事業報告並びに決算報告の件	3名

事業報告

年月日	場所	内 容	出席者数
2013. 2. 13	夢海游淡路島	LOM 役員懇談会	65名
3. 19	淡路島観光ホテル	淡路 JC 説明会～前期入会候補者説明会	29名
9. 17	淡路島観光ホテル	淡路 JC 説明会～後期入会候補者説明会	39名
12. 14	淡路島観光ホテル	12月協働例会	36名

ネットワーク委員会

担当	出口 利一	委員長	川越 勇輔	副委員長	岡本 義弘
委員	植野 泰幸、小谷 敦朗、新家 春輝、法月 正義、波戸 大樹、福富 健介、三原 正行				

総括報告

委員長 川越 勇輔



まず初めに、2013年度一般社団法人淡路青年会議所の理事としてネットワーク委員会 委員長の大役を任命いただきました向内理事長に心からお礼を申し上げます。

総務広報系の委員会として、ホームページ、対内広報紙、総合資料、会員名簿、総会の設営等多くの事業を行いました。どれも、ある程度決まったことではございますが、その中で「自分の色を出す」ことやこだわりを持つことなど多くの方に意見を頂き私がこの事業をする意味を考えるよいきっかけ

になったと感じております。

また本年は上記の事業以外に「第19回わんぱく相撲淡路場所」の企画・設営及び運営をさせて頂きました。子どもたちが真剣に立ち向かう姿、勝って喜び、負けて泣く、子どもが持つ素直な心により現れ出る表情であると感じます。だからこそ、応援している我々大人の心を打つのだと感じました。今後もこの経験を糧に、どんな困難にもめげず立ち向かって頂ければと考えます。

最後になりましたが、向内理事長、出口担当副理事長には様々な場面でご指導、ご鞭撻を頂き本当にありがとうございました。また、一年間サポートを頂きました岡本副委員長をはじめとするネットワーク委員会メンバーの皆様にご感謝を申し上げます。

委員会報告

年月日	場所	内容	出席者数
2012.9.14	淡路島観光ホテル	委員長抱負、年間上程スケジュール、事業計画並びに予算及び役割業務の件	6名
9.24	事務局	委員長抱負、年間上程スケジュール、事業計画並びに予算及び役割業務の件	4名
10.16	事務局	委員長抱負、年間上程スケジュール、事業計画並びに予算及び役割業務、ホームページ管理・運営の件	3名
10.24	事務局	委員長抱負、年間上程スケジュール、事業計画並びに予算及び役割業務、ホームページ管理、運営の件	5名

年月日	場 所	内 容	出席者数
11. 6	事務局	委員長抱負、年間上程スケジュール、事業計画並びに予算及び役割業務、ホームページ管理・運営の件	6名
11. 16	事務局	ホームページ管理・運営、会員名簿作成、総合資料作成、対内広報紙の作成、第77回通常総会の設営の件	4名
11. 28	事務局	ホームページ管理・運営、会員名簿作成、総合資料作成、対内広報紙の作成、第77回通常総会の設営の件	5名
12. 6	事務局	ホームページ管理・運営、会員名簿作成、総合資料作成、対内広報紙の作成、第77回通常総会の設営の件	5名
1. 22	事務局	3月叱り方例会、第56回臨時総会、第19回わんぱく相撲淡路場所の件	4名
1. 29	事務局	3月例会、第19回わんぱく相撲淡路場所の件	4名
2. 2	事務局	3月つながり例会、第19回わんぱく相撲淡路場所、第57回臨時総会の件	8名
2. 12	事務局	3月つながり例会、第19回わんぱく相撲淡路場所、第57回臨時総会の件	5名
2. 18	事務局	3月つながり例会、第77回通常総会決算並びに事業報告、第19回わんぱく相撲淡路場所、第57回臨時総会の件	5名
2. 27	事務局	3月つながり例会、第77回通常総会決算並びに事業報告、第19回わんぱく相撲淡路場所、第57回臨時総会の件	5名
3. 4	事務局	3月つながり例会、第77回通常総会決算並びに事業報告、第19回わんぱく相撲淡路場所、第57回臨時総会の件	5名
3. 8	事務局	3月つながり例会の件	5名
3. 11	事務局	3月つながり例会の件	4名
3. 12	事務局	3月つながり例会の件	7名
3. 21	事務局	総合資料作成決算並びに事業報告、会員手帳作成決算並びに事業報告、第19回わんぱく相撲淡路場所、第57回臨時総会の件	4名
3. 27	事務局	総合資料作成決算並びに事業報告、会員手帳作成決算並びに事業報告、第19回わんぱく相撲淡路場所、第57回臨時総会、3月つながり例会決算報告、対内広報紙の作成決算報告、ホームページ管理・運営決算、	3名
4. 4	事務局	一般社団法人淡路青年会議所 第1回通常総会資料作成、4月PRESS、4月WEB特集の件	4名
4. 12	事務局	第19回わんぱく相撲淡路場所、3月つながり例会事業報告並びに決算報告、7月例会の件	5名
4. 18	事務局	第19回わんぱく相撲淡路場所、3月つながり例会事業報告並びに決算報告、7月例会の件	5名
4. 24	事務局	第19回わんぱく相撲淡路場所、3月つながり例会事業報告、7月例会の件	5名
5. 2	事務局	第19回わんぱく相撲淡路場所の件	5名
5. 7	事務局	第19回わんぱく相撲淡路場所、淡路市相撲連盟打ち合わせの件	7名
5. 10	事務局	第19回わんぱく相撲淡路場所の件	6名
5. 28	事務局	選挙管理委員会設置、7月選挙例会の件	5名
6. 21	事務局	選挙管理委員会設置、7月選挙例会の件	7名
6. 27	事務局	第19回わんぱく相撲淡路場所事業報告並びに決算報告、	3名

年月日	場 所	内 容	出席者数
		選挙管理委員会設置、7月選挙例会、第2回臨時総会の件	
7.5	事務局	7月選挙例会、第2回臨時総会、10月例会の件	4名
7.8	事務局	7月選挙例会、10月例会の件	4名
7.9	事務局	7月選挙例会、10月例会の件	6名
8.28	事務局	10月絆例会、第2回臨時総会、7月選挙例会事業報告並びに決算報告の件	4名
9.9	事務局	10月絆例会、第2回臨時総会の件	5名
9.13	事務局	10月絆例会、第2回臨時総会事業報告の件	5名
9.20	事務局	10月絆例会、第2回臨時総会事業報告の件	4名
9.27	事務局	10月魅力発見例会の件	5名
10.3	事務局	10月魅力発見例会の件	4名
10.7	事務局	10月魅力発見例会の件	7名
10.8	事務局	10月魅力発見例会の件	6名

事業報告

年月日	場 所	内 容	出席者数
2011.1.10	淡路夢泉景	第77回通常総会	30名
3.13	洲本文化体育館	3月つながり例会	35名
4.10	洲本文化体育館	第1回臨時総会	35名
5.12	津名スポーツセンター	第19回わんぱく相撲淡路場所	31名
7.10	洲本文化体育館	7月選挙例会	45名
9.2	事務局	第2回臨時総会	29名
10.9	洲本文化体育館	10月魅力発見例会	35名
12.14	淡路島観光ホテル	第1回定時総会	27名

会員交流委員会

担当	平川 智己	委員長	中田 勝文	副委員長	藤井宏昌
委員	磯村浩史、大畑一也、河井義樹、久米基支、高津知也、村田泰志、北本富士				

総括報告

委員長 中田 勝文



まず始めに、今年一年間たくさんの協力、ご指導ありがとうございました。会員交流委員会は、新年会、スポーツ例会、島まつり、家族忘年会、そしてLOMナイトの設営、ゴルフ同好会などいろいろな経験をさせていただきました。新年会では、感謝の気持ちでおもてなしをするという事で、来賓、他LOM、特別会員の皆様にこれまでのお礼と感謝をもってお出迎え、させていただきました。所信を述べる理事長に話しやすく、そしてカッコよく登場できますよう考え、演出させてもらいました。スポーツ例会では、たくさんのメンバーに参加して頂き、90%という出席率をいただき、例会でも、ハッスルプレーがでるほど、皆さん真剣に取り組んでくれたと思っております。島まつりでは、たくさんの他LOMの皆さんに来ていただき、共に青年会議所のアピールができたと考えます。終了後の懇親会では、家族の方々もたくさん参加して頂き、大変盛り上がったと思います。そして、最後の事業、家族忘年会では、一年間の感謝の気持ちを込めて設営しました。こだわった大きなデコレーションケーキの前で記念撮影をし、バルーンパフォーマンス、子供抽選会でお子様の笑顔がたくさん見られました。キッズコーナを設置し、奥様方にも、ゆっくりとお食事していただけたと思います。今年一年、設営していく上でなかなか自分の拘りが表現できずそして、分からないことがたくさんあり、たくさんの方々に関らせていただき、貴重な経験をさせていただきました。最後に、向内理事長、平川担当には多くのご指導、ご鞭撻を賜り誠にありがとうございました。そして、委員会メンバーの皆様には、一年間頼りない委員長の元、委員会に参加し盛り上げていただきありがとうございました。

委員会報告

年月日	場所	内容	出席者数
2012. 9. 14	淡路島観光ホテル	委員長抱負、年間上程スケジュール、事業計画並びに予算及び役割業務の件	7名
9. 24	事務局	委員長抱負、年間上程スケジュール、事業計画並びに予算及び役割業務の件	7名
10. 15	海月館	委員長抱負、1月新年会の件	7名

年月日	場所	内容	出席者数
11. 5	事務局	委員長抱負、年間上程スケジュール	5名
11. 21	事務局	委員長抱負、1月新年会の件	5名
11. 28	夢泉景	1月新年会の件	5名
12. 6	夢泉景	1月新年会の件	5名
12. 19	ウエルネスパーク 五色菜の花ホール	1月新年会の件	5名
12. 25	夢泉景	1月新年会の件	7名
2013. 1. 5	事務局	1月新年会の件	7名
1. 7	夢泉景	1月新年会の件	6名
1. 9	夢泉景	1月新年会の件	7名
2. 18	事務局	1月新年会決算の件、5月例会の件、ゴルフ同好会の件	7名
3. 1	事務局	1月新年会決算の件、5月例会の件、ゴルフ同好会の件	5名
3. 21	柳学園体育館	5月例会の件	6名
4. 8	事務局	5月例会の件、島まつりおどり大会の件、ゴルフ同好会の件	4名
4. 17	事務局	5月例会の件、島まつりおどり大会の件、ゴルフ同好会の件	4名
5. 2	事務局	5月例会の件、島まつりおどり大会の件、ゴルフ同好会の件	5名
5. 7	事務局	5月例会の件、島まつりおどり大会の件、ゴルフ同好会の件	5名
5. 29	事務局	島まつりおどり大会の件、ゴルフ同好会の件	4名
6. 17	事務局	島まつりおどり大会の件	4名
6. 26	事務局	島まつりおどり大会の件	6名
7. 22	事務局	島まつりおどり大会の件	6名
7. 31	事務局	島まつりおどり大会の件	6名
9. 18	事務局	家族忘年会の件	4名
9. 25	事務局	家族忘年会の件	5名
10. 7	事務局	家族忘年会の件、ゴルフ同好会の件	4名
10. 14	事務局	家族忘年会の件、ゴルフ同好会の件	4名
10. 31	事務局	家族忘年会の件、ゴルフ同好会の件	5名
11. 18	事務局	家族忘年会の件、卒業ゴルフコンペの件	5名
11. 27	事務局	家族忘年会の件	5名
12. 6	事務局	家族忘年会の件	5名
12. 11	事務局	家族忘年会の件	5名
12. 12	淡路島観光ホテル	家族忘年会の件	6名

事業報告

年月日	場所	内容	出席者数
1. 10	淡路夢泉景	新年会	119名
5. 8	洲本市文化体育館	5月例会	48名
5. 21~22	裾野CC, 太平洋GC	ゴルフ同好会 協働杯	30名
8. 3	淡路島まつり	淡路島まつりおどり大会	91名
10. 11	洲本GC	ゴルフ同好会 協働杯(秋)	41名
11. 22	有馬ロイヤル	卒業ゴルフコンペ	33名
12. 14	淡路島観光ホテル	家族忘年会	92名

Jaycee 研修委員会

担当	池澄 泰彦	委員長	三倉 克仁	副委員長	浅井 克也
委員	出田 裕重、高見 恵文、辰野 慶太、中村 篤弘、西山 高右、三原 聡				

総括報告

委員長 三倉 克仁



今年度、Jaycee 研修委員会として例会と研修事業を通して、どんな苦難にも立ち向かう強い Jaycee マンの育成に努めて企画・設営して参りました。

2 月例会では Jaycee として基本知識や心構え・自らの役割を自覚して、今後の JC 活動に自信と誇りを持って積極的に行動できるように企画いたしました。4 月例会では自分の意見を発言する状況の大切さを知ることで、Jaycee としての人材育成に繋がることを目的とし、グループで議論できる状況をつくりました。6 月例会においては、JC 活動を通じて自分自身の成長を地域や仕事に活かすことの大切さを伝えるために、歴代の方にもお話を聞きにいきメンバーで共有し、今後の事業や活動に対して積極的な行動に繋がるように企画いたしました。8 月例会では、各委員長及び公室長が半年を振り返ることで、これからの活動に対して意識を高めるために企画いたしました。

また、Jaycee 研修事業では、これまでの自分を見つめなおし、また客観的に評価していただくことで新たなる可能性を見出すために、JC プログラム実践委員会のトレーナーの皆さまにご協力いただき、LOM メンバーも一丸となってプログラムを行うことで、各々が自分の可能性を見出して、真のリーダーとして一歩踏み出すための意識変革に繋がりました。そして、新たなる目標について自分自身をさらけ出しメンバーの前でコミットメントすることで、どんな苦難にも立ち向かう強い Jaycee マンの育成に繋がったと考えます。

自分一人では成長することは難しくても、メンバー全員で関わり議論することで、自分自身の成長に繋がる事が今年 1 年を通して感じました。向内理事長、池澄副理事長並びに三役の皆さまには、多くのご指導ご鞭撻を賜り、また Jaycee 研修委員会メンバーには本当に助けられました。そして、Jaycee 研修委員会の企画する例会及び事業に関わって下さったメンバーの皆さまに改めて感謝申し上げまして報告とさせていただきます。

委員会報告

年月日	場 所	内 容	出席者数
2012. 9. 14	淡路島観光ホテル	委員長抱負、年間上程スケジュール、事業計画並びに予算及び役割業務の件	7名
9. 24	サブカルチャーズ ラボ	委員長抱負、年間上程スケジュール、事業計画並びに予算及び役割業務の件	6名
10. 15	事務局	委員長抱負、年間上程スケジュール、事業計画並びに予算及び役割業務の件、拡大活動の件	4名
11. 6	事務局	委員長抱負、年間上程スケジュール、事業計画並びに予算及び役割業務の件、拡大活動の件	4名
11. 26	事務局	2月例会の件	6名
12. 21	事務局	2月例会の件	4名
2013. 1. 24	事務局	2月例会の件、4月例会の件	5名
2. 7	事務局	2月例会の件、4月例会の件	5名
2. 12	夢海游淡路島	2月例会の件、4月例会の件	4名
2. 18	事務局	4月例会の件	4名
2. 26	事務局	4月例会の件	4名
3. 4	うめ丸	4月例会の件	7名
3. 12	事務局	4月例会の件、6月例会の件、研修事業の件	5名
3. 26	事務局	2月例会決算及び報告の件、4月例会の件、6月例会の件、研修事業の件	5名
4. 4	事務局	4月例会の件、6月例会の件、研修事業の件	5名
4. 17	サブカルチャーズ ラボ	6月例会の件、研修事業の件	5名
4. 24	事務局	6月例会の件、研修事業の件	5名
5. 17	事務局	6月例会の件、研修事業の件	5名
5. 24	事務局	6月例会の件、研修事業の件	5名
5. 31	事務局	4月例会決算及び報告の件、6月例会の件、研修事業の件、8月例会の件	4名
6. 11	事務局	6月例会の件、研修事業の件、8月例会の件	6名
6. 18	事務局	研修事業の件、8月例会の件	5名
6. 26	事務局	研修事業の件、8月例会の件	4名
7. 4	淡路島観光ホテル	研修事業の件、8月例会の件	5名
7. 5	淡路島観光ホテル	研修事業の件	5名
7. 18	事務局	8月例会の件	4名
7. 25	事務局	8月例会の件	3名
8. 6	事務局	8月例会の件	3名
8. 27	事務局	6月例会決算及び報告の件	3名

事業報告

年月日	場 所	内 容	出席者数
2012. 2. 13	夢海游淡路島	2月例会	39名
4. 10	洲本市文化体育館	4月例会	35名
6. 12	洲本市文化体育館	6月例会	36名
7. 6	淡路島観光ホテル	Jaycee 研修事業	29名
8. 7	洲本市文化体育館	8月例会	35名

故郷づくり委員会

担当	飛松 孝治	委員長	吉井 崇行	副委員長	横山 泰明
委員	池尻 明人、岸本 篤人、笹津 寛照、仲野 正倫、濱田 眞輔、原田 啓行、藤川 龍介、三浦 義崇				

総括報告

委員長 吉井 崇行



まず初めに、メンバーの皆様には予定者当初から本年度が終わるまで大変お世話になりました。そして、当委員会の企画・設営に対して多大なるご協力をいただきましたこと、心よりお礼申し上げます。

故郷づくり委員会は、明るい豊かな淡路島を実現するために社会開発事業「だから革命～淡路島の「だから」が故郷を輝かせる」を企画・設営いたしました。また、新年の決意を示す1月例会、社会開発事業を総括する9月例会、卒業生からスピーチをいただいた11月例会を担当いたしました。

ネットと現実社会とを連動させた「だから革命」では、確かに豊かな淡路島を実現することが明るい豊かな淡路島を実現することにつながると信じ、淡路島のアイデンティティを見つめ、日本における淡路島の存在意義と可能性を見出すことに果敢に挑戦しました。事業では、淡路島の魅力を全国に大発信し、淡路島が素晴らしい地域であることを島内はもとより島外の皆様が知る機会となるとともに、当事者意識を持って故郷に関わっていくことが今後の故郷の発展には欠かせないことを示すことができました。そして、現代版三方よしの故郷づくりを実現し、次世代型の故郷づくりのモデルになったものと確信しております。社会開発事業と例会を設営する中で、目標をしっかり持ち、それを実現するために、メンバーや関係者が力を合わせ、高みを目指して生産性のある活動をするとう躍動感が起こりました。それは、向内理事長が指し示された協働を心掛けたからこそ体験できたものと思います。

最後に、委員会では予定者の段階から何が出来るのか、そして、裏付けとなる根拠等を調査・研究し、事業に対しては「準備に勝る成果はなし」ということを意識して常に精度を上げる努力をいたしました。その中で、飛松担当副理事長は私の日頃の報告・連絡・相談に対して適切にご指導をいただきました。原田出向理事におかれましては、事業がブレないように背景と目的を精査していただき、故郷に対して挑戦する姿勢を教えてくださいました。また、横山副委員長を始め、委員会メンバーの皆様がしっかりと関わっていただき、助言・行動等で支えてくださいました。委員会メンバーの皆様には感謝の気持ちで一杯です。そして、関わった全ての皆様に感謝申し上げます。

委員会報告

年月日	場 所	内 容	出席者数
2012. 9. 14	淡路島観光ホテル	委員長抱負、年間上程スケジュール、事業計画並びに予算及び役割業務の件	6名
10. 1	事務局	委員長抱負、年間上程スケジュール、事業計画並びに予算及び役割業務、1月例会の件	7名
10. 19	事務局	委員長抱負、年間上程スケジュール、事業計画並びに予算及び役割業務、1月例会、社会開発事業の件	4名
11. 5	事務局	委員長抱負、年間上程スケジュール、事業計画並びに予算及び役割業務、1月例会、社会開発事業の件	5名
11. 28	事務局	1月例会、社会開発事業の件	7名
12. 6	事務局	1月例会、社会開発事業の件	5名
12. 20	うめ丸	1月例会、社会開発事業の件	9名
2013. 1. 7	淡路夢泉景	1月例会、社会開発事業の件	6名
1. 9	淡路夢泉景	1月例会の件	8名
1. 28	事務局	1月例会事業報告並びに決算報告、社会開発事業の件	5名
2. 4	事務局	1月例会事業報告並びに決算報告、社会開発事業の件	3名
2. 19	事務局	1月例会事業報告並びに決算報告、社会開発事業の件	6名
2. 27	事務局	1月例会事業報告並びに決算報告、社会開発事業の件	5名
3. 7	事務局	社会開発事業の件	6名
3. 21	事務局	社会開発事業の件	4名
3. 28	事務局	社会開発事業の件	4名
4. 4	事務局	社会開発事業の件	7名
4. 15	事務局	9月例会、社会開発事業の件	5名
4. 27	淡路島観光ホテル	9月例会、社会開発事業の件	7名
5. 9	事務局	9月例会、社会開発事業の件	4名
5. 14	事務局	9月例会、社会開発事業の件	4名
5. 20	事務局	9月例会、社会開発事業の件	5名
5. 29	事務局	9月例会、社会開発事業の件	4名
6. 4	事務局	9月例会、社会開発事業の件	5名
6. 10	事務局	9月例会、社会開発事業の件	4名
6. 17	事務局	9月例会、社会開発事業の件	4名
6. 18	事務局	9月例会、社会開発事業の件	7名
6. 26	事務局	9月例会、社会開発事業の件	6名
7. 1	事務局	社会開発事業の件	5名
7. 5	事務局	社会開発事業の件	5名
7. 8	事務局	社会開発事業の件	6名
7. 11	事務局	社会開発事業の件	8名
7. 29	事務局	9月例会、11月例会の件	2名
8. 13	香港GARDEN	社会開発事業事業報告並びに決算報告、9月例会、11月例会の件	3名
8. 22	事務局	社会開発事業事業報告並びに決算報告、9月例会、11月例会の件	2名
8. 30	事務局	社会開発事業事業報告並びに決算報告、9月例会、11月例会の件	3名
9. 5	事務局	9月例会、11月例会、社会開発事業の件	4名
9. 9	事務局	9月例会の件	7名
9. 30	事務局	9月例会事業報告並びに決算報告、11月例会の件	3名

年月日	場所	内容	出席者数
10. 18	事務局	9月例会事業報告並びに決算報告、11月例会の件	4名
11. 5	事務局	11月例会の件	5名
11. 12	夢海游淡路島	11月例会の件	5名
12. 13	事務局	資料整理の件	7名

事業報告

年月日	場所	内容	出席者数
2013. 1. 10	淡路夢泉景	1月例会	50名
6. 8~11. 30	インターネット	Facebook ページ だから革命～淡路島スタイル～	6,020名
6. 19	Time after Time	だから革命 事業説明会・交流会	49名
6. 20~7. 10	インターネット	淡路島の「だから」を大発信	5,822名
6. 26	事務局	第1回プロジェクトサポーター運営会議	20名
7. 8	ホテルニューアワジ	第2回プロジェクトサポーター運営会議	14名
7. 13		だから革命～淡路島の「だから」が故郷を輝かせる～ メインフォーラム	169名
9. 11	洲本市文化体育館	9月例会	38名
11. 13	夢海游淡路島	11月例会	58名

6. 委員会別事業決算明細

委員会別事業決算明細(1)

2013年1月1日～3月31日

2013年度 委員会別事業決算明細

委員会名	事業名称	収入の部		支出の部		差額 (A) - (B)	処分方法			
		科目	予算額	決算額 (A)	科目			予算額	決算額 (B)	
理事長公室	合計		254,800	199,000		254,800	192,776	6,224		
	入会案内冊子作成	委員会事業費	54,000	54,000	資料作成費	52,500	52,500		委員会事業費に繰り戻す	
					予備費	1,500				
		小計		54,000	54,000		54,000	52,500	1,500	
	兵庫ブロック協議会LOM役員懇親会設営及び運営	渉外費	64,000	64,000	会場設営費	57,750	57,750		本会計に繰り戻す	
		登録料	53,000	53,000	飲食費	53,000	53,000			
					資料作成費	798	798			
					通信費	1,680	1,680			
					予備費	3,772	0			
		小計		117,000	117,000		117,000	113,228	3,772	
	前期入会候補者説明会	委員会事業費	28,000	28,000	会場設営費	26,250	26,250		委員会事業費に繰り戻す	
					資料作成費	798	798			
					予備費	952	0			
		小計		28,000	28,000		28,000	27,048	952	
	後期入会候補者説明会	委員会事業費	28,000			会場設営費	28,000			
					資料作成費					
	小計		28,000	0		28,000				
12月例会	委員会事業費	27,800			会場設営費	26,250				
					資料作成費	798				
					予備費	752				
	小計		27,800	0		27,800		0		
ネットワーク委員会	合計		981,500	835,500		981,500	560,447	275,053		
ホームページの管理・運営	委員会事業費	148,000	148,000		資料作成費	144,000	144,000			
					予備費	4,000	0			
	小計		148,000	148,000		148,000	144,000	4,000		
対内広報誌の発行	委員会事業費	348,000	348,000		資料作成費	338,400	84,600			
					予備費	9,600				
	小計		348,000	348,000		348,000	84,600	263,400		
会員名簿作成	委員会事業費	320,000	320,000		資料作成費	315,000	315,000		委員会事業費に繰り戻す	
					予備費	5,000	0			
	小計		320,000	320,000		320,000	315,000	5,000		
総合資料の作成	委員会事業費	1,000	1,000		資料作成費	799	799		委員会事業費に繰り戻す	
					予備費	201	0			
	小計		1,000	1,000		1,000	799	201		
3月例会	委員会事業費	19,500	19,500		会場設営費	18,250	15,250		委員会事業費に繰り戻す	
					資料作成費	798	798			
					予備費	452	0			
	小計		19,500	19,500		19,500	16,048	3,452		
7月例会	委員会事業費	19,500			会場設営費	18,250				
					資料作成費	798				
					予備費	452				
	小計		19,500	0		19,500		0		
10月例会	委員会事業費	19,500			会場設営費	18,250				
					資料作成費	798				
					予備費	452				
	小計		19,500	0		19,500		0		
第19回わんぱく相撲淡路場所	委員会事業費	106,000			会場設営費	106,000				
	小計		106,000	0		106,000		0		

委員会別事業決算明細(2)

2013年1月1日～3月31日

2013年度 委員会別事業決算明細

委員会名	事業名称	収入の部		支出の部		差額 (A) - (B)	処分方法			
		科目	予算額	決算額 (A)	科目			予算額	決算額 (B)	
会員交流委員会	合計		2,539,500	1,849,000		2,539,500	1,834,673	14,327		
	新年会	委員会事業費		300,000	300,000	会場設営費	261,250	261,250		委員会事業費に繰り戻す
		登録料収入		1,740,000	1,515,000	広報費	5,859	5,859		
						資料作成費	798	798		
						懇親会費	1,740,000	1,515,000		
						雑費	24,718	24,718		
						予備費	7,375	0		
		小計		2,040,000	1,815,000	小計	2,040,000	1,807,625	7,375	
	5月例会	委員会事業費		49,500	0	会場設営費	49,500			
						講師関係費				
						資料作成費				
						予備費				
		小計		49,500	0	小計	49,500	0	0	
	淡路島まつり踊り大会	委員会事業費		200,000		会場設営費	200,000			
		登録料収入				資料作成費				
		登録料収入				懇親会費				
						参加記念品				
					印刷費					
					通信費					
					雑費					
	小計		200,000	0	小計	200,000	0	0		
家族忘年会	委員会事業費		250,000		会場設営費	250,000				
	登録料収入				資料作成費					
					懇親会費					
					参加記念品					
					印刷費					
					通信費					
					雑費					
	小計		250,000	0	小計	250,000	0	0		
Jaycee研修委員会	合計		192,500	34,000		192,500	27,048	6,952		
	リーダーシップ育成	委員会事業費		100,000		会場設営費	100,000			
						資料作成費				
						予備費	0	0		
		小計		100,000	0	小計	100,000	0	0	
	2月例会	委員会事業費		34,000	34,000	会場設営費	32,550	26,250		委員会事業費に繰り戻す
						資料作成費	798	798		
						予備費	652	0		
		小計		34,000	34,000	小計	34,000	27,048	6,952	
	4月例会	委員会事業費		19,500		会場設営費	18,250	0		
						資料作成費	798			
						予備費	452	0		
		小計		19,500	0	小計	19,500	0	0	
	6月例会	委員会事業費		19,500		会場設営費	18,250			
						資料作成費	798			
						予備費	452			
		小計		19,500		小計	19,500	0		
8月例会	委員会事業費		19,500		会場設営費	18,250				
					資料作成費	798				
					予備費	452				
	小計		19,500	0	小計	19,500	0	0		

2013年度 委員会別事業決算明細

委員会名	事業名称	収入の部		支出の部		差額 (A) - (B)	処分方法			
		科目	予算額	決算額 (A)	科目			予算額	決算額 (B)	
故郷づくり委員会	合計		1,718,700	39,200		1,718,700	38,493	707		
	1月例会	委員会事業費		39,200	39,200	会場設営費	36,750	36,750		委員会事業費に繰り戻す
						資料作成費	1,743	1,743		
						予備費	707	0		
		小計		39,200	39,200	小計	39,200	38,493	707	
	9月例会	委員会事業費		19,500		会場設営費	18,250			
						資料作成費	798			
						予備費	452	0		
		小計		19,500	0	小計	19,500	0	0	
	11月例会	委員会事業費		60,000		会場設営費	57,500			
						資料作成費	798			
					予備費	1,702	0			
	小計		60,000	0	小計	60,000	0	0		
社会開発事業	委員会事業費		1,600,000		会場設営費	1,600,000				
					予備費	0	0			
	小計		1,600,000	0	小計	1,600,000	0	0		

委員会別事業決算明細(3)

2013年4月1日～12月31日

2013年度 委員会別事業決算明細

委員会名	事業名称	科目	収入の部	支出の部	収入の部	支出の部	差額	備考
			予算額	予算額	決算額	決算額		
理事長公室	後期入会説明会	事業収入	28,000		28,000			
		小計	28,000		28,000			
		会場費 賃借料		21,000		21,000		事業費へ繰り戻す
		消耗品		5,250		5,250		
		食糧費						
		人件費						
		支払手数料						
		講師関係費						
		諸謝金						
		資料作成費		798		798		
		広告普及費						
		報告書作成費						
		旅費交通費						
		交際費						
		保険料						
		印刷製本費						
		通信運搬費						
	支払負担金							
	雑費							
	予備費			952				
	小計			28,000		27,048		
	合計		28,000	28,000	28,000	27,048	952	
	12月例会	事業収入	27,800		27,800			
		小計	27,800		27,800			
		会場費 賃借料		21,000		21,000		
		消耗品		5,250		6,002		
		食糧費						
		人件費						
		支払手数料						
		講師関係費						
諸謝金								
資料作成費			798		798			
広告普及費								
報告書作成費								
旅費交通費								
交際費								
保険料								
印刷製本費								
通信運搬費								
支払負担金								
雑費								
予備費			752					
小計			27,800		27,800			
合計		27,800	27,800	27,800	27,800	0		
		55,800	55,800	55,800	54,848	952		

委員会別事業決算明細(4)

2013年4月1日~12月31日

2013年度 委員会別事業決算明細

委員会名	事業名称	収入の部		支出の部		差額	備考
		予算額	決算額	予算額	決算額		
ホームページ管理・運営	事業収入	4,000			4,000		
	小計	4,000			4,000	0	
	会場費 賃借料						
	消耗品				4,000		
	食糧費			4,000			
	人件費						
	支払手数料						
	講師関係費						
	諸謝金						
	資料作成費						
	広告普及費						
	報告書作成費						
	旅費交通費						
	交際費						
	保険料						
	印刷製本費						
	通信運搬費						
	支払負担金						
	雑費						
予備費							
小計	0	4,000	0	4,000	0		
事業収入	263,400		263,400		0		
小計	263,400		263,400		0		
対内広報紙	会場費 賃借料						
	消耗品				9,600		
	食糧費						
	人件費						
	支払手数料						
	講師関係費						
	諸謝金						
	資料作成費						
	広告普及費						
	報告書作成費						
	旅費交通費						
	交際費						
	保険料						
	印刷製本費		253,800		253,800		
	通信運搬費						
	支払負担金						
	雑費		9,600				
	予備費						
	小計	263,400	263,400	263,400	263,400	0	
事業収入	106,000		106,000		0		
小計	106,000		106,000		0		
ネットワーク	会場費 賃借料						事業費へ繰り戻す
	消耗品		22,060		22,060		
	食糧費		12,000		12,000		
	人件費						
	支払手数料						
	講師関係費						
	諸謝金						
	資料作成費		399		399		
	広告普及費		38,844		38,844		
	報告書作成費						
	旅費交通費						
	交際費						
	保険料		7,000		4,700		
	印刷製本費		12,768		12,768		
	通信運搬費		400		400		
	支払負担金		10,000		10,000		
	雑費						
	予備費		2,529				
	小計	106,000	106,000	106,000	101,171	4,829	
合計	106,000	106,000	106,000	101,171	4,829		
事業収入	19,500		19,500		0		
小計	19,500		19,500		0		
7月例会	会場費 賃借料		13,000		13,000		事業費へ繰り戻す
	消耗品		5,250		5,250		
	食糧費						
	人件費						
	支払手数料						
	講師関係費						
	諸謝金						
	資料作成費		399		399		
	広告普及費						
	報告書作成費						
	旅費交通費						
	交際費						
	保険料						
	印刷製本費						
	通信運搬費						
	支払負担金						
	雑費		450		450		
	予備費		401				
	小計	19,500	19,500	19,500	19,099	401	
合計	19,500	19,500	19,500	19,099	401		
事業収入	19,500		19,500		0		
小計	19,500		19,500		0		
10月例会	会場費 賃借料		13,000		13,000		事業費へ繰り戻す
	消耗品		5,250		5,250		
	食糧費						
	人件費						
	支払手数料						
	講師関係費						
	諸謝金						
	資料作成費		399		399		
	広告普及費						
	報告書作成費						
	旅費交通費						
	交際費						
	保険料						
	印刷製本費						
	通信運搬費						
	支払負担金						
	雑費		851				
	予備費						
	小計	19,500	19,500	19,500	18,649	851	
合計	19,500	19,500	19,500	18,649	851		
		412,400	412,400	412,400	406,319	6,081	

委員会別事業決算明細(5)

2013年4月1日~12月31日

2013年度 委員会別事業決算明細

委員会名	事業名称	科目	収入の部	支出の部	収入の部	支出の部	差額	備考	
			予算額	予算額	決算額	決算額			
会員交流	5月例会	事業収入	49,500		49,500				
		小計	49,500		49,500				
		会場費 賃借料		16,000		16,000		事業費へ繰り戻す	
		消耗品		5,250		5,250			
		食糧費							
		人件費							
		支払手数料							
		講師関係費		3,150		3,150			
		諸謝金		15,000		15,000			
		資料作成費		798		798			
		広告普及費							
		報告書作成費							
		旅費交通費							
		交際費							
		保険料		8,840		7,820			
		印刷製本費							
		通信運搬費							
	支払負担金								
	雑費								
	予備費		462						
	小計		49,500	49,500	49,500	48,018	1,482		
	淡路島まつり踊り大会	事業収入		200,000		200,000			
				707,000		174,000			
						248,000			
			小計	907,000		622,000			
		会場費 賃借料		30,000		30,000		事業費へ繰り戻す	
		消耗品		20,000		20,000			
		食糧費							
		人件費							
		支払手数料		100,000		100,000			
		講師関係費							
		諸謝金							
		資料作成費		798		798			
広告普及費									
報告書作成費									
旅費交通費									
交際費			707,000		422,000				
保険料		6,550		3,500					
印刷製本費									
通信運搬費		480		480					
支払負担金		10,000		1,000					
雑費		24,000		12,800					
予備費		8,172							
小計		907,000	907,000	622,000	590,578	31,422			
家族忘年会	事業収入		250,000		250,000				
			600,000		600,000				
			10,000		10,000				
			93,000		93,000				
	会場費 賃借料		26,250		26,250				
	消耗品		38,730		44,877				
	食糧費								
	人件費								
	支払手数料								
	講師関係費								
	諸謝金								
	資料作成費		798		798				
	広告普及費		29,295		29,295				
	報告書作成費								
	旅費交通費								
	交際費		841,630		841,630				
保険料									
印刷製本費		2,470		2,470					
通信運搬費		3,680		3,680					
支払負担金									
雑費		4,000		4,000					
予備費		6,147							
小計		953,000	953,000	953,000	953,000	0			
		1,909,500	1,909,500	1,624,500	1,591,596	32,904			

委員会別事業決算明細(6)

2013年4月1日~12月31日

2013年度 委員会別事業決算明細

委員会名	事業名称	科目	収入の部		支出の部		差額 (A)-(B)	備考
			予算額	実績額 (A)	予算額	実績額 (B)		
Jaycee研修	4月例会	事業収入	19,500		19,500			
		小計						
		会場費 賃借料		13,000		10,000		事業費へ繰り戻す
		消耗品		5,250		5,250		
		食糧費						
		人件費						
		支払手数料						
		講師関係費						
		諸謝金		798		798		
		資料作成費						
		広告普及費						
		報告書作成費						
		旅費交通費						
		交際費						
		保険料						
	印刷製本費							
	通信運搬費							
	支払負担金							
	雑費							
	予備費		452					
	小計		19,500	19,500	19,500	16,048	3,452	
	6月例会	事業収入	19,500		19,500			
		小計	19,500		19,500			
		会場費 賃借料		13,000		13,000		事業費へ繰り戻す
		消耗品		5,250		5,250		
		食糧費						
		人件費						
		支払手数料						
		講師関係費						
		諸謝金		798		798		
		資料作成費						
		広告普及費						
		報告書作成費						
旅費交通費								
交際費								
保険料								
印刷製本費								
通信運搬費								
支払負担金								
雑費								
予備費		452						
小計		19,500	19,500	19,500	19,048	452		
研修事業	事業収入	100,000		100,000				
	小計	100,000		100,000				
	会場費 賃借料		21,000		21,000		事業費へ繰り戻す	
	消耗品		5,250		5,250			
	食糧費							
	人件費							
	支払手数料							
	講師関係費		16,600		16,600			
	諸謝金		10,000		10,000			
	資料作成費		4,998		4,998			
	広告普及費							
	報告書作成費							
	旅費交通費		40,060		40,060			
	交際費							
	保険料							
印刷製本費								
通信運搬費								
支払負担金								
雑費								
予備費		2,092						
小計		100,000	100,000	100,000	97,908	2,092		
8月例会	事業収入	19,500		19,500				
	小計	19,500		19,500				
	会場費 賃借料		13,000		13,000		事業費へ繰り戻す	
	消耗品		5,250		5,250			
	食糧費							
	人件費							
	支払手数料							
	講師関係費							
	諸謝金		798		798			
	資料作成費							
	広告普及費							
	報告書作成費							
	旅費交通費							
	交際費							
	保険料							
印刷製本費								
通信運搬費								
支払負担金								
雑費								
予備費		452						
小計		19,500	19,500	19,500	19,048	452		
		158,500	158,500	158,500	152,052	6,448		

委員会別事業決算明細(7)

2013年4月1日~12月31日

2013年度 委員会別事業決算明細

委員会名	事業名称	科目	収入の部	支出の部	収入の部	支出の部	差額	備考	
			予算額	予算額	決算額	決算額			
故郷づくり	故郷づくり事業	事業収入	1,600,000		1,600,000				
		小計	1,600,000		1,600,000				
		会場費 賃借料		241,500		220,500		事業費へ繰り戻す	
		消耗品		44,688		44,688			
		食糧費		60,000		59,374			
		人件費							
		レンタル料		15,750		15,750			
		支払手数料		30,000		30,000			
		講師関係費		9,600					
		諸謝金							
		資料作成費		522,793		522,793			
		広告普及費		369,000		168,600			
		報告書作成費		2,247		2,247			
		旅費交通費		185,000		180,490			
		交際費							
		保険料							
		印刷製本費		110,000		110,000			
		通信運搬費		3,240		211,218			
		支払負担金							
		雑費		2,310		2,520			
	予備費		3,872						
	小計		1,600,000	1,600,000	1,568,180				
			1,600,000	1,600,000	1,600,000	1,568,180	31,820		
	故郷づくり	9月例会	事業収入	19,500		19,500			
			小計	19,500		19,500			
			会場費 賃借料		13,000		13,000		事業費へ繰り戻す
			消耗品		5,250		5,250		
			食糧費						
			人件費						
			支払手数料						
			講師関係費						
			諸謝金						
			資料作成費		798		798		
		広告普及費							
		報告書作成費							
		旅費交通費							
		交際費							
		保険料							
		印刷製本費							
		通信運搬費							
支払負担金									
雑費									
予備費			452						
小計		19,500	19,500	19,048		452			
		19,500	19,500	19,500	19,048	452			
11月例会	事業収入	60,000		60,000					
	小計	60,000		60,000					
	会場費 賃借料		27,300		27,300		事業費へ繰り戻す		
	消耗品		30,825		30,825				
	食糧費								
	人件費								
	支払手数料								
	講師関係費								
	諸謝金								
	資料作成費		1,323		1,323				
広告普及費									
報告書作成費									
旅費交通費									
交際費									
保険料									
印刷製本費									
通信運搬費									
支払負担金									
雑費									
予備費		552							
小計		60,000	60,000	59,448		552			
		60,000	60,000	60,000	59,448	552			
		1,679,500	1,679,500	1,679,500	1,646,676	32,824			

7. 直前理事長報告

直前理事長 上村 雄二郎



2013年度は、向内理事長の掲げる「協働～故郷と共に」のスローガンの基、皆様はそれぞれの想いを胸にJC活動に邁進されてきたことと存じます。私自身は直前理事長として、これまでの経験を活かしながら皆様のサポートをしてきたつもりですが、今思うとまだまだ出来たことがあったかもしれないと感じております。理事長を終えてもなお勉強をさせていただけるこのJCは、正に大人の学校であり、私にとりましては大人のクラブ活動です。だからこそその一年間、与えられた役割を思い切り全うする事で得る事は多いのです。スキルアップはもち

ろんの事、日頃は味わえない経験も沢山得る事ができ、その中で多くの友情が育まれる。そのJCの魅力を支前理事長として、もっともっとお伝えしなければならなかったのかも知れません。幸い私にはあと一年のJC生活が残されており、次年度は監事という大役を頂戴しております。ラストイヤー、自分自身悔いの残らないようメンバー皆様と共に「明るい豊かな淡路島」創造に向け行動して参る事をお約束申し上げ、直前理事長報告とさせていただきます。

8. 出 向 報 告

公益社団法人日本青年会議所 JC プログラム実践委員会

委 員 中村 篤弘



2013年度公益社団法人日本青年会議所 JC プログラム実践委員会へ出向させて頂きました。本委員会は、自分自身を磨きながら地域の主人公となる JAYCEE の育成を目的とし設置されており、日本 JC 公認プログラムの実施とトレーナーの育成する担いがございました。私自身、トレーナー活動をさせて頂いていることもあり、プログラム実施の際には様々な LOM へ伺うこともでき、委員会を通じて多くの仲間とも出会うことができ、本当に有意義な時間を過ごさせて頂くことができたと感じて

おります。また、本年は淡路 JC においてもプログラムを実施頂き、私が委員会にて掲げた目標の一つを達成できたことは、非常に嬉しく感じておりますし、出向させて頂いている者として、お返しができたかと思っております。

最後になりますが、出向をさせて頂きました向内理事長をはじめ、多くの支援を頂いたメンバーの皆さまには心より感謝申し上げます、報告とさせていただきます。

出 向 記 録

年 月 日	場 所	内 容
2012. 12. 22	大阪	予定者委員会
2013. 01. 05	東京	京都会議 VF セミナー打ち合わせ
01. 18	京都	第 1 回委員会
01. 19	京都	京都会議 セミナーショーケース
03. 02	大阪	VMV トレトレ コースマネージャー
03. 03	大阪	VMV トレトレ コースマネージャー
03. 23	徳島	第 3 回委員会
06. 08	神戸	PIP トレトレ コースマネージャー
06. 09	神戸	PIP トレトレ コースマネージャー
07. 19	横浜	第 6 回委員会
07. 20	横浜	サマーコンファレンス セミナーショーケース

公益社団法人日本青年会議所 領土・領海委員会

委員 廣井 公壽



公益社団法人日本青年会議所 領土領海委員会に出向させていただきました。この委員会を通じて、日本の現状を再認識し、領土・領海問題を解決するのは非常に困難な事だと痛感しました。しかし、諦めることなく、これからもこの問題に何らかの形で関わっていきたいと思います。皆さんも一度は日本に出向して下さい。面白いですよ。このような機会を与えて頂いた事に感謝しまして、報告と致します。

出 向 記 録

年 月 日	場 所	内 容
2013. 1. 19	京都	第 1 回委員会
3. 16	福岡	第 2 回委員会
6. 8	名古屋	第 3 回委員会
7. 20	横浜	サマーコンファレンス

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

監査担当役員

後藤 英範



いよいよラストイヤーとなった本年度、兵庫ブロック協議会に監査担当役員として出向させて頂きました。

監査担当役員という立場上、各々の事業が当初の目的に沿ってなされ、兵庫ブロック協議会内のメンバーにとって有益なものとなっているか、また、予算の執行や決算の状況などについても吟味しながら、一年間を過ごしてまいりました。本年度の兵庫ブロック協議会も日本JCの下部組織であるということで、多少の変化は余儀なくされながらも、兵庫ブロック協議会の独自性をもって事業を展開し、各LOMとの連絡調整機関としての役割が果たせたように思います。

LOMに限らず、兵庫ブロック協議会も間違いなく委員長（あるいは議長）が花形であると考えます。来年度、その花形の委員長として、中村篤弘君が出向します。そしてまた、私と同じく監査担当役員として、上村雄二郎君も出向します。私自身ラストイヤーということもあり、兵庫ブロック協議会というフィールドで「やりたい放題」させて頂いた感もありますが、今までの青年会議所生活における経験則をもとにした私の発言や行動が、来年度に出向されますお二人への良き「繋ぎ」となったこと、そして良き「プレッシャー」となったことを確信しております。

最後になりましたが、このような機会を与えて頂きました向内理事長をはじめ、メンバー諸兄に心より感謝を申し上げ、今後も多くのメンバーが我こそはと積極的に出向されますことを期待して報告と致します。

出 向 記 録

年 月 日	場 所	内 容
2013. 1. 14	西宮	第1回正副会長会議・第1回役員会議
2013. 2. 10	神戸	第1回会員会議所会議
2013. 3. 13	尼崎	第3回正副会長会議・第3回役員会議
2013. 3. 23	丹波	第2回会員会議所会議
2013. 4. 17	三木	第4回正副会長会議・第4回役員会議
2013. 4. 27	宝塚	第3回会員会議所会議
2013. 6. 29	龍野	第4回会員会議所会議
2013. 7. 27	加古川	第7回正副会長会議・第7回役員会議
2013. 8. 24	赤穂	臨時会員会議所
2013. 10. 12	神戸	第9回正副会長会議・第9回役員会議
2013. 10. 26	姫路	第5回会員会議所会議
2013. 11. 23	神戸	第6回会員会議所会議

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

後藤監査担当役員セクレタリー

仲野 正倫



後藤監査担当役員セクレタリーとして、一年間出向させていただきました。卒業年度にも関わりませづ、このような機会を与えていただきました理事長、そして後藤監査には感謝申し上げます。本当にありがとうございました。お世話になりました。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

後藤監査担当役員セクレタリー

法月 正義



2013年度、後藤監査担当役員のセクレタリーとして兵庫ブロックへ出向させて頂き、LOM 役員懇談会や会員会議所等に御一緒させて頂きました。後藤監査が時には厳しく、時には温かくブロック役員の方々に声を掛けられた姿を見て、感激致しました。私自身の失敗も多々ありました。ある役員さんの言葉が自分自身の励みになったこともありました。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

後藤監査担当役員セクレタリー

福富 健介



今年度、後藤監査担当役員のセクレタリーとして近畿地区兵庫ブロック協議会に出向させていただきました。昨年度の兵庫アカデミー委員会につづいて出向させていただきましたので、ブロックの役割をなお一層理解することができました。またブロックでは昨年度と同じメンバーも多く交流をより深めることができました。LOMとは異なる考え方や方法などを学ぶ良い機会を得られました。1年間このような機会を与えていただきまして感謝しております。

ありがとうございました。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

兵庫の未来創造委員会

委員 吉井 崇行



本年度、兵庫ブロック協議会 兵庫の未来創造委員会に出向させていただきました。委員会では兵庫ブロック協議会第46回ブロック大会分科会と兵庫県知事との懇談会の企画及び設営を行いました。また、委員会には、広域災害に対しても機能するJC災害ネットワークの構築を行うという役割があり、兵庫県下における災害発生時の連絡体制を確認したり、災害発生時に何ができるかの調査研究し、現在兵庫ブロック協議会が運用しています災害マニュアルの見直しを行いました。ブロック大会分科会では、2013年度版災害マニュアルを披露するとともに、防災の専門家に青年会議所が他団体との連携を図ることを想定した講演をいただきました。防災の話題が委員会の中心であったため、兵庫県知事との懇談会では知事と25LOM理事長との意見交換の中でもまちづくりとともに、災害の話題が議論されました。

本年4月13日、淡路島大震災が発生し、淡路島としては阪神淡路大震災以来の大地震であり、忘れていた恐怖を地域は思い起こしました。その中で、委員会活動を通じて、災害は未然に被害を少なくする方法があることを知るとともに、常日頃から当事者意識を持って行動することの大切さ、そして、災害発生時、適切に動ける連絡体制が重要であることを学びました。これは危機管理では重要ですが、事業を行う上でも大切であると感じました。出向して学んだことは今後しっかりとLOM内に伝えて参ります。

出 向 記 録

年 月 日	場 所	内 容
2012. 11. 24	ポートピアホテル（神戸）	予定者委員会
2013. 1. 12	篠山市商工会丹南振興部（篠山）	第1回委員会
2. 10	ポートピアホテル（神戸）	第2回委員会
3. 22	西脇ロイヤルホテル（西脇）	第3回委員会
4. 11	西宮アクタ（西宮）	第4回委員会
5. 11	総合文化センター（三田）	第5回委員会
6. 7	先端科学技術支援センター（赤穂）	第6回委員会
7. 9	三宮研修センター（神戸）	第7回委員会
7. 24	洲本市健康福祉館（淡路）	淡路県民局との懇談会
8. 17	水道会館（豊岡）	第8回委員会
8. 24	先端科学技術支援センター（赤穂）	第46回ブロック大会 分科会 ～繋げよう HYOGO災害ネットワーク～
9. 5	兵庫県公館（神戸）	ブロック事業 兵庫県知事との懇談会

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

拡大推進委員会

委員 中田 勝文



本年度、会員拡大推進委員会へ出向させて頂きました。委員会では、各 LOM の拡大状況や手法など発表し意識の高揚や問題点の共有を図る事ができました。女性会員が LOM に在籍するメリット等を共有し、女性の見込み会員の増やし方、口説き方を女性会員と共に構築する事業も開催しました。ブロック大会では、分科会[CEALLENG THE 会員拡大 POSITIVE CHANGE]を設営、また中学生県議会も経験させて頂き、一年間を通して貴重な経験をたくさんさせて頂きました。ありがとうございました。

出 向 記 録

年 月 日	場 所	内 容
2012. 11. 24	神戸ポートピアホテル	第 1 回予定者会議
12. 27	三木市立教育センター	第 2 回予定者会議
2013. 1. 26	ふれあいの郷生石	第 1 回委員会
2. 10	神戸ポートピアホテル	第 2 回委員会
3. 19	尼崎市中小企業センター	第 3 回委員会
5. 13	相生商工会議所	第 4 回委員会
6. 7	人丸花壇	第 5 回委員会
8. 23	兵庫県議会場	第 6 回委員会
11. 7	三木市立教育センター	第 7 回委員会

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

ブロック大会運営委員会

副委員長 中村 篤弘



2013年度公益社団法人日本青年会議所近畿地区兵庫ブロック協議会ブロック大会運営委員会へ出向させていただきました。前年度までは会員大会と称されておりましたが、本年より、より公益性の高い大会へとなるようブロック大会へと名称が変更されました。その委員会において副委員長という大役を仰せつかり委員会メンバーと共に切磋琢磨した一年でした。この度のブロック大会は、過去に例のない3LOM合同での開催ということもあり、どのような運営をしていくのか不安が当初ございました。実行委員長に対し、厳しい発言をしたことも多々ありましたが、委員長が上手く導いてくださったお陰で、無事に事業を終えることができました。大会においては、式典を全て任せられ司会進行も務めさせていただき、本当に貴重な経験を積むことができ、また兵庫県下の多くのメンバーとも友情の輪を広げることができたと実感をしており、出向の醍醐味を味わうことができたことに感謝致します。これも全てはLOMより出向させてくださった淡路JCの皆さまのお陰だと思っております。本当にありがとうございました。

出 向 記 録

年月日	場 所	内 容
2012. 11. 24	神戸	予定者委員会
12. 26	神戸	第1回スタッフ会議
2013. 01. 26	尼崎	第1回委員会
02. 10	神戸	第2回委員会
02. 22	龍野	ブロック大会実行委員会
03. 15	龍野	ブロック大会実行委員会
03. 27	明石	第2回スタッフ会議
03. 30	龍野	第3回委員会
04. 20	相生	第4回委員会
05. 22	西宮	ブロック大会 PR
05. 25	姫路	第5回委員会
06. 07	宝塚	第6回委員会
06. 17	神戸	ブロック大会 PR
06. 21	尼崎	ブロック大会 PR
06. 30	神戸	ブロック大会 式典部会
07. 06	龍野	第7回委員会
08. 01	淡路	第3回スタッフ会議
08. 03	龍野	第8回委員会
08. 10	龍野	ブロック大会 式典部会

08.23	龍野	第9回委員会 リハーサル
08.24	龍野	ブロック大会
09.19	神戸	第4回スタッフ会議
09.21	丹波	第10回委員会
10.18	淡路	第11回委員会
11.29	豊岡	第12回委員会

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

日本 JC 連携推進会議

委員 原田 啓行



本年度、兵庫ブロック協議会 日本JC連携推進会議へ出向してまいりました。民主党政権から自民政権に移り、憲法改正に注目が集まるというタイムリーな状況の中、この議会に出向させていただくことは大変興味深いことであり、有意義なことでありました。また、憲法の大切さを認知してもらおうという趣旨から、どのような憲法にしていったらいいかといった議論が中心になり、会議体の進化を感じることができました。一年間ありがとうございました。

出 向 記 録

年 月 日	場 所	内 容
2013. 11. 24	神戸ポートピアホテル	第1回合同委員長会議
2. 10	神戸ポートピアホテル	第2回委員会
3. 7	篠山市商工会丹南商工会館	第3回委員会
3. 30	三木市教育センター	第4回委員会
4. 12	神戸市垂水勤労市民センター	第5回委員会
10. 11	明石アワーズホール	第6回委員会
5. 6	神戸市垂水勤労市民センター	憲法タウンミーティング

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

JC 運動発信委員会

委員 川越 勇輔



本年度、公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会 JC 運動発信委員会に出向させていただきました。委員会では京都会議、サマーコンファレンスなどのブロックナイトの設営やホームページ等での JC 運動の発信を主な事業としてさせていただきました。また、全国大会奈良大会では兵庫各地の地酒を振る舞い、兵庫県の PR を行いました。

私自身、2 度目の兵庫ブロックへの出向ということで当初は緊張しておりましたが、神戸 JC の前田委員長をはじめ、とてもよいメンバーに恵まれ、実りある 1 年を過ごすことができました。最後になりましたが、このような貴重な機会を与えて頂いたことに感謝を申し上げ、出向者報告と致します。

出 向 記 録

年 月 日	場 所	内 容
2012. 11. 24	神戸	予定者委員会
2012. 12. 11	神戸	第 1 回委員会
2013. 1. 22	京都	京都会議ブロックナイト
2013. 2. 10	神戸	第 2 回合同委員会
2013. 3. 16	加古川	第 3 回委員会
2013. 4. 20	豊岡	第 4 回委員会
2013. 5. 25	尼崎	第 5 回委員会
2013. 6. 22	神戸	第 6 回委員会
2013. 7. 20	横浜	サマコンブロックナイト
2013. 8. 23	西播磨	ブロック大会西播磨大会
2013. 9. 14	淡路	第 7 回委員会
2013. 10. 19	神戸	第 8 回委員会
2013. 11. 23	神戸	

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

財政特別委員会

副委員長 三倉 克仁



今年度、兵庫ブロック協議会 財政特別委員会に出向させていただきました。財政特別委員会は、兵庫ブロック協議会のすべての議案に対し、財政面や費用対効果についてチェックするとともに、コンプライアンス違反がないかも細かくチェックを行い、正副役員会に出る前に財政審査会にて指摘することで、上程議案の精度を高めていくための委員会でありました。1年間、分厚い財政マニュアル及びコンプライアンスマニュアルを片手に、悪戦苦闘しながらチェックをしているうちに、事業の上程から決算・監査に至るまで深くかかわる重要な業務を負っているという責任感が芽生えてきました。また、当委員会に出向されていたメンバーの意識も高く、そのようなメンバーと1年間切磋琢磨できたことは自分自身も成長することが出来ました。この1年で学んだことを、今後はLOMに活かして行けるように努めて参ります。最後に、このような貴重な機会を与えて頂いたことに感謝を申し上げ、出向者報告と致します。

出 向 記 録

年 月 日	場 所	内 容
2012. 11. 24	神戸ポートピアホテル	第1回委員会
2013. 1. 15	兵庫県民会館	第2回委員会
2013. 2. 10	神戸ポートピアホテル	第3回委員会
2013. 3. 2	尼崎中小企業センター	第4回委員会
2013. 5. 25	三田まちづくり協働センター	第5回委員会
2013. 8. 3	豊岡市城崎地区公民館	第6回委員会
2013. 9. 21	明石平和園	第7回委員会

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

兵庫アカデミー委員会

委員 浅井 克也



今年度、兵庫アカデミー委員会に出向させていただきました。LOM内の活動だけでは経験出来ない様々な研修を経験させていただきました。また、普段なかなかお会いすることが出来ない著名な方とお会いすることが出来、兵庫県内にたくさんの同年代の友人・知人ができました。これは私にとってかけがえのないものとなりました。アカデミー委員会で得た学びや気づきを、今後LOMの活動に活かしていきたいと思っております。このような機会を与えていただき本当にありがとうございました。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

兵庫アカデミー委員会

委員 時枝 弘記



本年度、近畿地区兵庫ブロック協議会兵庫アカデミー委員会に出向させていただきました。入会3年未満のメンバーを対象に研修事業や、小委員会に分かれての委員会設営を一から行いました。当初、参加することに最大の意義があると言われ、100パーセント出席を意識して出席していましたが、途中からは事業の楽しさや他LOMメンバーとの交流のために、必然と出席できました。著名な方の講演をお聞きしたり、事業をどんどん拡大している先輩の話や姿を見せていただいたりしたことは、自分にとってとても刺激になりました。その中でも自分たちの小委員会で作り上げた委員会はメンバーとの絆もでき、一生忘れられない体験となりました。1年間出向させていただけたことは本当によかったと感じておりますし、このような機会を与えていただき感謝しております。ありがとうございました。

出 向 記 録

年 月 日	場 所	内 容
2012. 11. 24	神戸ポートピアホテル	第1回予定者委員会
2013. 1. 26	姫路 西村屋 白鷺館	第1回委員会
2. 23	神戸ポートピアホテル	第2回委員会
3. 30~31	書写山圓教寺	第1回ブロックアカデミー事業
4. 20	神戸ラッセホール	第3回委員会
6. 2	明石ホテルキャッスルプラザ	第4回委員会
6. 23	嬉野台教育センター	第2回ブロックアカデミー事業
7. 15	神戸 TKP三宮会議室	第5回委員会
8. 10	丹波 春日住民センター	第6回委員会
9. 7	ハチ高原	第3回ブロックアカデミー事業
9. 28	尼崎商工会議所	第7回委員会
11. 22	神戸 イタリアンレストラン ソノ	第8回委員会

9. 監 事 報 告

監事 後藤 英範 廣井 公壽



一年間、監事という役職をいただきました。各事業が目的に沿ってなされているか、予算の執行状況、公の益につながっているか等々を見させて頂きました。4月から一般社団法人に移行し新たな節目を体験する事も出来ました。

今までの経験を可能な限りお伝えすることが私たちの使命ととらえ、時には厳しい意見を述べさせて頂きました。一般社団法人淡路青年会議所のメンバーが何事にも真剣に挑戦し、淡路島の未来のために邁進して頂きますよう祈念申し上げ、監事報告とさせていただきます。

10. 会 員 動 向

1. 2012 年度末会員数

正会員 64 名 特別会員 282 名 準会員 3 名

2. 2013 年度入会者

新入会者名	推 薦 者		
植野 泰幸	川越 勇輔	飛松 孝治	三倉 克仁
太田 達雄	川越 勇輔	飛松 孝治	原田 啓行
藤川 龍介	飛松 孝治	平川 智己	吉井 崇行
北本 富士	有賀 雄一	吉井 崇行	中田 勝文
三浦 義嵩	三倉 克仁	川越 勇輔	時枝 弘記

3. 2013 年度会員数

正会員 49 名 特別会員 302 名

4. 2013 年度退会者

なし

5. 2013 年度休会者

なし

6. 2013 年度物故会員

仲野 国治 広田 士郎

7. 2013 年度末会員数

正会員 51 名 特別会員 300 名 準会員 5 名

8. 2013 年度卒業会員

5 名

沖田 和良 小谷 敦朗 後藤 英範 出口 利一 仲野 正倫

9. 2013 年度役員選考委員

後藤 英範 上村 雄二郎 向内 英光 池澄 泰彦 大畑 一也
原田 啓行 三原 聡 吉井 崇行

1 1. 2013 年度 社団法人淡路青年会議所

役員名簿

理 事 長	向 内	英 光
直前理事長	上 村	雄二郎
副理事長	出 口	利 一
	池 澄	泰 彦
	飛 松	孝 治
	平 川	智 己
専務理事	沖 田	和 良
理 事	有 賀	雄 一
	川 越	勇 輔
	中 田	勝 文
	三 倉	克 仁
	吉 井	嵩 行
出向理事	原 田	啓 行
	中 村	篤 弘
監 事	後 藤	英 範
	廣 井	公 壽

12. 出向者一覧

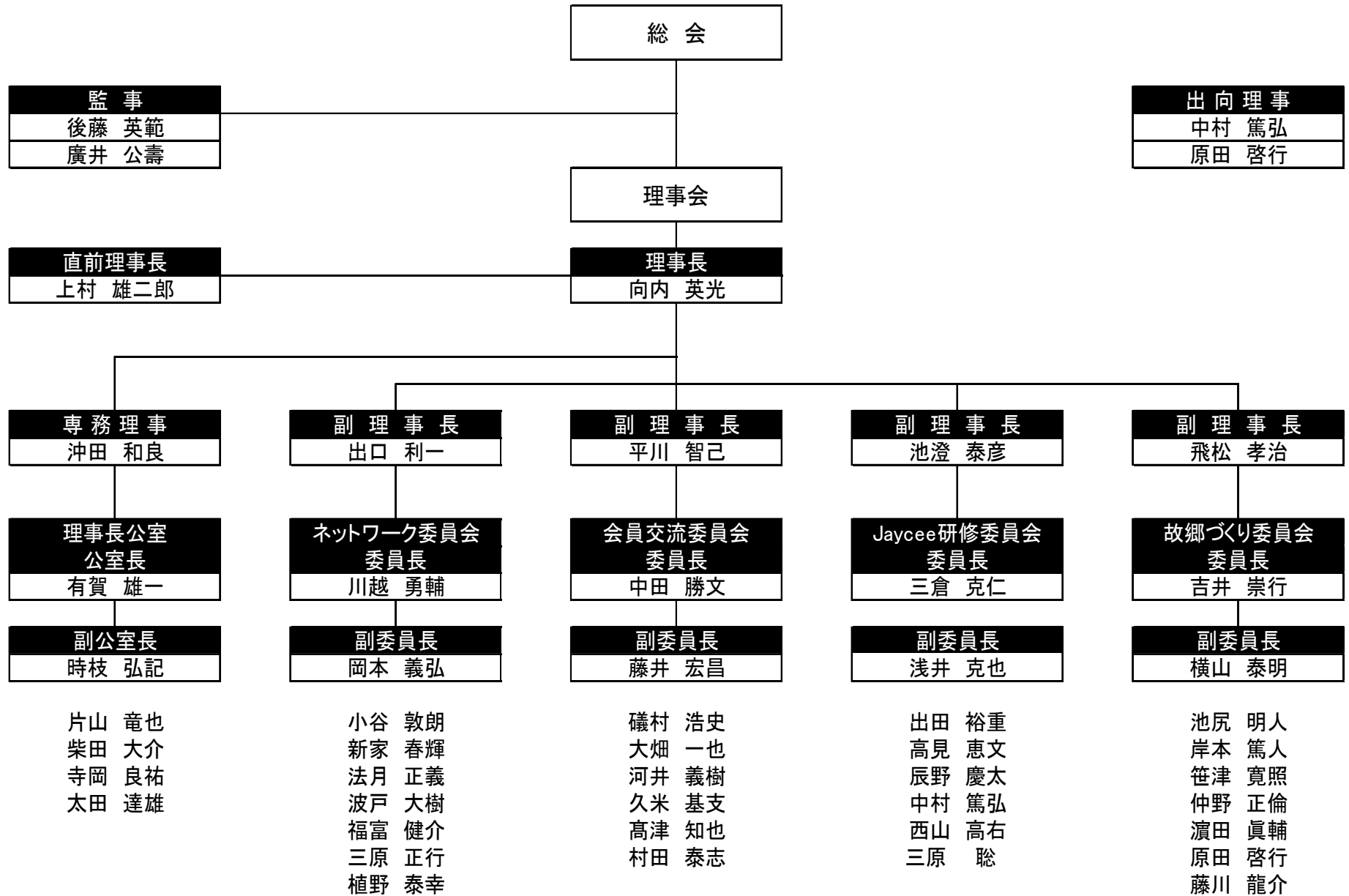
公益社団法人日本青年会議所

出 向 先	役 職	出向者氏名
JC プログラム実践委員会	委 員	中村 篤弘
領土・領海委員会	委 員	廣井 公壽

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

出 向 先	役 職	出向者氏名
	監査担当役員	後藤 英範
	セクレタリー	仲野 正倫
	セクレタリー	法月 正義
	セクレタリー	福富 健介
兵庫の未来創造委員会	委 員	吉井 崇行
会員拡大推進委員会	委 員	中田 勝文
ブロック大会運営委員会	委 員	中村 篤弘
日本 JC 連携推進会議	委 員	原田 啓行
JC 運動発信委員会	委 員	川越 勇輔
財政特別委員会	委 員	三倉 克仁
兵庫アカデミー委員会	委 員	浅井 克也
兵庫アカデミー委員会	委 員	時枝 弘記

13. 組織及び委員会構成



14. 2013年度褒賞

褒賞委員会	向内 英光 理事長	上村 雄二郎 直前理事長
	後藤 英範 監事	廣井 公壽 監事
	出口 利一 副理事長	飛松 孝治 副理事長
	池澄 泰彦 副理事長	平川 智己 副理事長
	沖田 和良 専務理事	

1. 最優秀委員会賞 Jaycee 研修委員会
2. 優秀委員会賞 ネットワーク委員会
3. 優秀事業賞 だから革命～淡路島の「だから」が故郷を輝かせる～
まち
4. 最優秀会員賞 横山 泰明
5. 優秀会員賞 岡本 義弘
6. 最優秀新会員賞 植野 泰幸
7. 努力賞 会員交流委員会
8. LOM 功労賞 理事長公室
9. 出向者奨励賞 浅井 克也 時枝 弘記
10. 例会出席奨励賞 向内 英充 上村 雄二郎 後藤 英範 廣井 公壽
飛松 孝治 池澄 泰彦 出口 利一 沖田 和良
有賀 雄一 時枝 弘記 片山 竜也 川越 勇輔
岡本 義弘 植野 泰幸 中田 勝文 藤井 宏昌
三倉 克仁 浅井 克也 中村 篤弘 吉井 崇行
原田 啓行
11. 特別功労賞 後藤 英範
12. 卒業生感謝状 沖田 和良 小谷 敦朗 後藤 英範 出口 利一
仲野 正倫

15. 決 算 報 告

2013年度 社団法人淡路青年会議所

一般会計収支決算書

自 2013年 1月 1日
至 2013年 3月 31日

収入の部

単位：円

款	項	目	2013年度決算額	2013年度補正予算	2013年度修正予算	2013年度当初予算	修正予算との比較	備 考
会 費			3,760,000	3,760,000	8,380,000	7,900,000	0	
	会 費		3,760,000	3,760,000	8,380,000	7,900,000	0	
		新会員会費	80,000	80,000	480,000	0	400,000	新入会員3名×160,000
		正会員会費	3,200,000	3,200,000	7,360,000	7,360,000	4,160,000	46名×¥160,000
	特別会費	480,000	480,000	540,000	540,000	60,000	卒業生18名×¥30,000	
入会金			50,000	50,000	150,000	0	100,000	
	入会金		50,000	50,000	150,000	0	100,000	
		入会金	50,000	50,000	150,000	0	100,000	新入会員3名×¥50,000
事業収入			1,828,000	1,828,000	0	0	-1,828,000	
	事業収入		0	0	0	0	0	
		寄付金	0	0	0	0	0	
		補助金	0	0	0	0	0	
		助成金	0	0	0	0	0	
	登録料		1,568,000	1,568,000	0	0	-1,568,000	
		登録料	1,568,000	1,568,000	0	0	-1,568,000	
	雑収入		260,000	260,000	0	0	-260,000	
雑収入		260,000	260,000	0	0	-260,000		
寄付金		0	0	0	0	0		
	寄付金		0	0	0	0	0	
		寄付金	0	0	0	0	0	
		一般寄付金	0	0	0	0	0	
繰入金			0	0	400,000	350,000	400,000	
	繰入金		0	0	400,000	350,000	400,000	
		特別事業基金	0	0	400,000	350,000	400,000	
		職員退職金	0	0	0	0	0	
		事務局整備引当金	0	0	0	0	0	
雑収入		755	755	3,000	3,000	2,245		
	雑収入		755	755	3,000	3,000	2,245	
		受取利息	755	755	3,000	3,000	2,245	
		雑収入	0	0	0	0	0	
繰越金		6,027,314	6,027,314	6,027,314	580,000	0		
	繰越金		6,027,314	6,027,314	6,027,314	580,000	0	
		繰越金	5,447,314	5,447,314	5,447,314	0	0	
		職員退職金	80,000	80,000	80,000	80,000	0	
		事務局整備引当金	500,000	500,000	500,000	500,000	0	
合 計			11,666,069	11,666,069	14,960,314	8,833,000	3,294,245	

支出の部

単位：円

款	項	目	2013年度決算額	2013年度補正予算	2013年度修正予算	2013年度当初予算	修正予算との比較	備 考
法人費			1,837,429	1,837,429	6,070,133	4,403,000	0	
	会議費		56,700	56,700	241,800	241,800	0	
		総会費	0	0	15,000	15,000	0	
		理事会費	56,700	56,700	226,800	226,800	0	¥18900円/回*12回
	人件費		261,720	261,720	1,110,000	1,110,000	0	
		給料	234,720	234,720	960,000	960,000	0	
		諸手当	27,000	27,000	150,000	150,000	0	交通費他
		法定福利費	0	0	0	0	0	
	渉外費		78,928	78,928	550,000	79,200	0	
		渉外費	78,928	78,928	550,000	79,200	0	周年¥100,000+各種登録¥78,000
	慶弔費		15,830	15,830	200,000	50,000	0	
		慶弔費	15,830	15,830	200,000	50,000	0	
	事務費		638,370	638,370	3,160,000	2,157,218	0	
		印刷費	51,040	51,040	70,000	50,000	0	
		消耗品費	41,916	41,916	750,000	487,218	0	コピー用紙・トナー他
		通信費	141,386	141,386	520,000	250,000	0	電話代、JCOM送料等
		賃貸料	255,000	255,000	1,020,000	1,020,000	0	¥85,000×12ヶ月
		水道光熱費	71,854	71,854	250,000	250,000	0	
		什器備品費	0	0	0	0	0	
		修理費	37,149	37,149	400,000	50,000	0	
		雑費	40,025	40,025	150,000	50,000	0	新聞代等
		報酬料金費	0	0	0	0	0	
	租税公課		2,548	2,548	25,000	25,000	0	
		租税公課	2,548	2,548	25,000	25,000	0	印紙代等
	負担金		783,333	783,333	783,333	739,782	0	
		JCI会費	43,708	43,708	43,708	41,032	0	¥892×49名
		日本JCI会費	275,000	275,000	275,000	260,000	0	¥45,000+¥5,000×49名
		国際協力資金	89,425	89,425	89,425	83,950	0	¥5×365日×49名
		近畿地区会費	90,200	90,200	90,200	84,800	0	¥2,000+¥1,800×49名
		兵づ会費	285,000	285,000	285,000	270,000	0	¥40,000+¥5,000×49名
WE BELIEVE		0	0	0	0	0	預り金	

支出の部

単位：円

款	項	目	2013年度決算額	2013年度補正予算	2013年度修正予算	2013年度当初予算	修正予算との比較	備考
事業費			2,566,161	2,566,161	3,830,000	3,830,000	0	
	理事長公室		132,548	132,548	137,800	137,800	0	
			132,548	132,548	137,800	137,800	0	
	ネットワーク		560,447	560,447	981,500	981,500	0	
			560,447	560,447	981,500	981,500	0	
	会員交流		1,807,625	1,807,625	799,500	799,500	0	
			1,807,625	1,807,625	799,500	799,500	0	
	Jaycee研修		27,048	27,048	192,500	192,500	0	
			27,048	27,048	192,500	192,500	0	
	故郷づくり		38,493	38,493	1,718,700	1,718,700	0	
			38,493	38,493	1,718,700	1,718,700	0	
			0	0	0	0	0	
		12 例会	0	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	
		12 50周年	0	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0		
		0	0	0	0	0		
予備費			0	0	3,960,181	0	0	
	予備費		0	0	3,960,181	0	0	
	予備費		0	0	3,960,181	0	0	
繰出金			0	0	500,000	0	0	特別事業基金に拠出
	繰出金		0	0	500,000	0	0	
			0	0	500,000	0	0	
その他の支出			0	0	0	0	0	
	敷金		0	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	
	固定資産購入支出		0	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	
繰越金			7,262,479	7,262,479	600,000	600,000	0	
	繰越金		7,262,479	7,262,479	600,000	600,000	0	
			6,662,479	6,662,479		0	0	
			100,000	100,000	100,000	100,000	0	
			500,000	500,000	500,000	500,000	0	事務局移転の可能性考慮
合計		11,666,069	11,666,069	14,960,314	8,833,000	0		

特別会計

2013年度 特別事業基金収支決算書

単位：円

収入の部					支出の部				
科目	2013年度決算	2013年度修正予算	2013年度当初予算	2013年度修正予算との比較	科目	2013年度決算	2013年度修正予算	2013年度当初予算	2012年度修正予算との比較
2012年度繰越金	1,223,139	1,223,139	1,223,139	0	2012年度繰出金	0	0	0	0
2013年度繰入金	0	0	0	0	2013年度繰越金	1,223,139	1,223,139	1,223,139	0
雑収入	246	0	0	246		246	0	0	246
合計	1,223,385	1,223,139	1,223,139	246	合計	1,223,385	1,223,139	1,223,139	246

2013年度 事業収入明細一覧

自 2013年 1月 1日
至 2013年 3月 31日

単位 : 円

款	中科目	事業名	合計	金額(1人当り)	参加人数	小計	返金	担当委員会	備考	
事業収入	寄付金		0							
	補助金		0							
	助成金		0							
	小計		0							
	登録料	新年会		1,515,000	15,000	101	1,515,000	0	会員交流委員会	
		公式訪問		53,000	1,000	53	53,000	0	理事長公室	
	小計					1,568,000	0			
	決算額		1,568,000							
	雑収入	新年会		260,000				0	会員交流委員会	お祝金(来賓)
	小計		260,000							
	合計		1,828,000							

2013年度 寄付金収入明細一覧(案)

寄付金	寄付金		0						
	一般寄付金		0						OB会
	小計		0						
	合計		1,828,000						

2013年度 財 産 目 録

2013年3月31日現在

資 産 の 部

単位：円

	科 目	数 量	金 額	摘 要
流動資産	現金・預金	合 計	8,495,864	
	現 金		0	
	淡路信用金庫	本町支店 普通預金	780,888	No.0454865
	淡路信用金庫	本店営業部 普通預金	6,481,591	No.0300206
	淡路信用金庫	本町支店 普通預金	1,223,385	No.0749012
	淡路信用金庫	本町支店 有価証券	10,000	No.21942

	科 目	数 量	金 額	摘 要	
固定資産	固定資産合計	合 計	399,301		
	敷 金		300,000		
	備 品		小 計	99,301	
	エアコン	2003年12月15日	2 台	19,128	2003年度購入分
		510,000			
	パーテーション	2004年7月6日	1 式	36,379	2003年度卒業生寄贈(※会計処理に関する既定 第23条並びに第24条(4)により固定資産算入)
		271,950			
	ファックス	2006年12月28日	1 台	11,022	2006年度購入分
202,160					
コピー機	2009年6月8日	1 台	32,772	2009年度購入分	
	493,500				

流動資産	8,495,864
固定資産	399,301
合 計	8,895,165

負 債 の 部

合 計	0
-----	---

正味財産の部

合 計	8,895,165
-----	-----------

2013年度 物 品 目 録

2013年3月31日現在
単位：円

科 目	数 量	金 額	摘 要
物 品			
保管庫・スチール書庫	1 個	75,000	
冷蔵庫	1 台	15,000	
旗三脚セット	2 セット	20,000	
電話機	2 台	144,200	1995年度購入分
デスクコーナー	1 台	75,190	1996年度購入分
デスク	1 台	30,282	1996年度購入分
デスク	1 台	95,069	1996年度購入分
デスク	1 台	82,297	1996年度購入分
デスク	1 台	95,790	1996年度購入分
パソコンラック	2 台	16,171	1996年度購入分
チェアー	1 脚	28,634	1996年度購入分
チェアー	2 脚	43,878	1996年度購入分
チェアー	1 脚	20,600	1996年度購入分
パーテーション	1 脚	133,200	1996年度購入分
ウオールロッカー	1 台	37,389	1996年度購入分
両開き保管庫	3 台	81,267	1996年度購入分
引違いガラス保管庫	3 台	100,425	1996年度購入分
深型保管庫	3 台	79,413	1996年度購入分
会議テーブル	2 台	68,392	1996年度購入分
告書を監査 会議椅子	12 脚	97,644	1996年度購入分
ホワイトボード	1 枚	17,325	1996年度購入分
月間予定表	1 枚	15,398	1996年度購入分
月間掲示板	1 枚	31,734	1996年度購入分
トランシパー	7 台		某氏寄贈
ハンドマイク	1 台	20,611	2000年度購入分
国旗	1 旗	7,350	2000年度購入分
スキャナー	1 台		2000年度卒業生寄贈
デジタルカメラ	1 台		2000年度卒業生寄贈
ビデオカメラ	1 台		2001年度卒業生寄贈
エアコン	1 台		2002年度卒業生寄贈
エアコン	1 台		某氏寄贈
会議テーブル	15 台	155,000	2003年度購入分
パイプ椅子	20 脚	29,200	2003年度購入分
掃除機	1 台	13,440	2010年度購入分
ファンヒーター	2 台	51,600	2003年度購入分
玄関表札	1 基	100,000	2003年度卒業生寄贈
パソコン	1 台		2004年度卒業生寄贈
コピー機（中古）	1 台	102,900	2005年度購入分
スチールデスク	3 台		某氏寄贈
ゴングマーク	1 個	10,000	2006年度購入分
卓上旗セット	1 式	7,840	2006年度購入分
JCIプレート	1 基	19,950	2006年度卒業生寄贈
パソコンディスクトップ	1 台	82,950	2006年度卒業生寄贈
モデム・ルーター	1 式	19,425	2006年度卒業生寄贈
耐火金庫	1 台	81,900	2006年度卒業生寄贈
自立式スクリーン	1 台	84,000	2006年度卒業生寄贈
プロジェクター	1 台	159,500	2007年度卒業生寄贈
タイムレコーダー	1 台	26,800	2008年度購入分
空気清浄機	2 台	60,000	2010年度卒業生寄贈
液晶テレビ	1 台	60,000	2010年度卒業生寄贈
プリンタ	1 台	60,000	2010年度卒業生寄贈
パソコンディスクトップ	1 台	180,000	2010年度購入分
パーテーション	2 台	99,750	2011年度卒業生寄贈
JCI旗	1 枚	20,000	2012年度卒業生寄贈
JCI旗	1 枚	20,000	2012年度購入分
日の丸旗	1 枚	9,000	2012年度購入分
日の丸旗	1 枚	9,000	2012年度卒業生寄贈
AWAJI旗	1 枚	25,000	2012年度卒業生寄贈
合 計		2,919,514	

2013年度 収支計算総括表

自 2013年 1月 1日
至 2013年 3月 31日

収入の部

単位：円

科 目	合 計	一般会計	特別事業基金
会 費	3,760,000	3,760,000	0
入 会 金	50,000	50,000	0
事 業 収 入	1,828,000	1,828,000	0
寄 付 金	0	0	0
繰 入 金	0	0	0
雑 収 入	1,001	755	246
繰 越 金	7,250,453	6,027,314	1,223,139
合 計	12,889,454	11,666,069	1,223,385

支出の部

科 目	合 計	一般会計	特別事業基金
法 人 費	1,837,429	1,837,429	0
事 業 費	2,566,161	2,566,161	0
繰 出 金	0	0	0
その他支出	0	0	0
繰 越 金	8,485,864	7,262,479	1,223,385
合 計	12,889,454	11,666,069	1,223,385

告書を監査しましたところ適正であることを認めます。

2013年度 貸借対照表

2013年3月31日現在
単位：円

	科 目	金 額		科 目	金 額
資産の部	現金・預金	8,495,864	負債の部		0
	敷 金	300,000	負 債 合 計		0
	備 品	99,301			
			正味財産の部	正味財産	8,895,165
資 産 合 計		8,895,165	負債及び正味財産合計		8,895,165

告書を監査しましたところ適正であることを認めます。

2013年度 正味財産増減計算書

自 2013年 1月 1日
至 2013年 3月 31日
単位:円

収入の部

款	項	決算額
資産増加額		7,262,725
	次年度繰越金	7,262,479
	敷 金	0
	備品増加額	0
	特別事業基金(特別会計)増加額	246
負債減少額		0
合 計		7,262,725

支出の部

款	項	決算額
資産減少額		6,043,018
	前年度繰越金	6,027,314
	備品減少額	15,704
	特別事業基金(特別会計)減少額	0
負債増加額		0
合 計		6,043,018

ましたところ適正であることを認めます。

科 目	決算額
当期正味財産増加額	1,219,707
前期繰越正味財産額	7,675,458
末期正味財産合計額	8,895,165

監 査 報 告

2013年4月4日

2013年度 社団法人 淡路青年会議所

理 事 長 向 内 英 光 殿

社団法人淡路青年会議所の2013年度(2013年1月1日から同年3月31日まで)決算報告書並びに事業について、一般会計収支決算書、特別会計決算書、財産目録、貸借対照表、正味財産増減計算書並びに事業報告書を監査しましたところ適正であることを認めます。

監 事

監 事

賃借対照表

平成25年12月31日 現在

一般社団法人淡路青年会議所

(単位 : 円)

科 目	決算 (第1期)	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	7,541,601	
未収金	0	
前渡金	0	
流動資産合計	7,541,601	
2. 固定資産		
(1) 基本財産	0	
基本財産合計	0	
(2) 特定財産	0	
特定財産合計	0	
(3) その他固定資産		
什器備品	386,649	
有価証券	10,000	
敷金	300,000	
その他固定資産合計	696,649	
資 産 合 計	8,238,250	
II 負債の部		
1. 流動負債		
流動負債合計	0	
2. 固定負債		
固定負債合計	0	
負債合計	0	
III 正味財産の部		
1. 指定正味財産	0	
指定正味財産合計	0	
2. 一般正味財産		
(うち基本財産への充当額)	0	
(うち特定財産への充当額)	0	
一般正味財産合計	8,238,250	
正味財産合計	8,238,250	
負債及び正味財産合計	8,238,250	

正味財産増減予算書（一般社団法人の初年度決算）

平成25年4月1日から平成25年12月31日まで

旧法人の平成25年度の予算（正味財産増減予算書（平成25年1月1日から平成25年12月31日））については、平成25年1月10日開催した第77回通常総会において、議決されている所であるが、新法人への移行に伴い4月1日を境にして事業年度を法令により分割する必要が生じた。このため平成25年度予算額（12ヶ月予算）より、旧法人の1月1日から3月31日までの決算分（3ヶ月分）を差し引いた額を、一般社団法人の初年度予算（平成25年4月1日から平成25年12月31日）とする。

科 目	予算額	決算額	予算額	決算額	備 考
	H25. 1. 1～H25. 12. 31 (12ヶ月分)	H25. 1. 1～H25. 3. 31 (3ヶ月分)	H25. 4. 1～H25. 12. 31 (9ヶ月分)	H25. 4. 1～H25. 12. 31 (9ヶ月)	
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
①受取入会金	150,000	50,000	100,000	200,000	
	150,000	50,000	100,000	200,000	
②受取会費	8,380,000	3,760,000	4,620,000	4,620,000	
正会員受取会費	7,840,000	3,280,000	4,560,000	4,560,000	
その他受取会費	540,000	480,000	60,000	60,000	
③事業収益	0	1,828,000	0	1,127,000	
受託事業収益	0	0	0	0	
登録料	0	1,568,000	0	1,121,000	
その他事業収益	0	260,000	0	6,000	
④受取負担金	0	0	0	0	
⑤寄付金	0	0	0	620,000	
⑥雑収益	3,000	1,001	1,999	15,472	
受取利息	3,000	1,001	1,999	723	
配当金	0	0	0	500	
雑収益	0	0	0	14,249	
経常収益計	8,533,000	5,639,001	4,721,999	6,582,472	
(2) 経常費用					
①事業費					
給料手当	0	0	0	70,000	
福利厚生費	0	0	0	0	
会議費 貸借料	500,000	73,000	427,000	458,050	
消耗品費	997,000	262,750	734,250	228,462	
レンタル料	20,000	0	20,000	15,750	
食糧費	55,000	0	55,000	71,374	
人件費	0	0	0	0	
支払手数料	60,000	355,000	0	130,000	
講師関係費	42,000	0	42,000	19,750	
諸謝金	750,000	0	750,000	25,000	
資料作成費	800,000	202,234	597,766	537,493	
広告普及費	80,000	1,449	78,551	237,579	
報告書作成費	1,000	0	1,000	2,247	
旅費交通費	0	0	0	220,550	
交際費	0	1,243,000	0	1,259,630	
保険料	50,000	0	0	16,020	
印刷製本費	400,000	399,600	400	379,038	
通信運搬費	5,000	4,410	590	215,778	
支払負担金	10,000	0	10,000	11,000	
雑費	60,000	24,718	0	19,770	
事業費計	3,830,000	2,566,161	2,801,839	3,917,491	

科 目	予算額 H25. 1. 1～H25. 12. (12ヶ月分)	決算額 H251. 1～H25. 3. 31 (3ヶ月分)	予算額 H254. 1～H25. 12. 3 (9ヶ月分)	決算額 H25. 4. 1～H25. 12. (9ヶ月)	備 考
②管理費					
会議費	241,800	56,700	185,100	175,100	
給料手当	960,000	234,720	725,280	655,280	
退職給付引当金	0	0	0	0	
福利厚生費	150,000	27,000	123,000	96,174	
渉外費	550,000	78,928	471,072	265,090	
慶弔費	200,000	15,830	184,170	98,965	
減価償却費	58,994	15,704	43,290	185,152	
消耗品費	750,000	41,916	708,084	379,129	
消耗什器備品費	0	0	0	0	
通信費	520,000	141,386	378,614	351,184	
印刷製本費	70,000	51,040	18,960	58,000	
賃借料	1,020,000	255,000	765,000	765,000	
光熱水料費	250,000	71,854	178,146	148,054	
諸謝金	0	0	0	105,000	
修理費	400,000	37,149	362,851		
租税公課	25,000	2,548	22,452	1,050	
雑費	150,000	40,025	109,975	38,718	
事務局整備引当金					
	5,345,794	1,069,800	4,275,994	3,321,896	
③負担金					
JCI会費	43,708	43,708	0	0	
日本JC会費	275,000	275,000	0	0	
国際協力資金	89,425	89,425	0	0	
近畿地区会費	90,200	90,200	0	0	
兵庫ブロック会費	285,000	285,000	0	0	
	783,333	783,333	0	0	
管理費計	6,129,127	1,853,133	4,275,994	3,321,896	
経常費用計	9,959,127	4,419,294	7,077,833	7,239,387	
当期経常増減額	△ 1,426,127	1,219,707	△ 2,355,834	△ 656,915	
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計					
(2) 経常外費用					
経常外費用計					
経常外費用増減額					
一般正味財産増減額	△ 1,426,127	1,219,707	△ 2,355,834	△ 656,915	
一般正味財産期首残高	7,675,458	7,675,458	8,895,165	8,895,165	
一般正味財産期末残高	6,249,331	8,895,165	6,539,331	8,238,250	
Ⅱ 正味財産期末残高	6,249,331	8,895,165	6,539,331	8,238,250	

財務諸表に対する個別注記

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産・・・法人税法の規定により、平成19年3月31日以前に取得した物は旧定率法、平成19年4月1日以後に取得した物は、定率法によっています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

(3) 有価証券の評価基準及び評価方法

移動平均法による原価法を採用しております。

2. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末帳簿残高は、次のとおりであります。

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
エアコン	510,000	494,696	15,304
パーテーション	271,950	241,464	30,486
ファックス	202,160	192,052	10,108
コピー機	493,500	493,499	1
コピー機	472,500	141,750	330,750
合 計	1,950,110	1,563,461	386,649

財 産 目 録

一般社団法人淡路青年会議所

平成25年12月31日現在

(単位：円)

科 目		金 額	摘 要
現金・預金	合 計	7,541,601	
現 金		0	
淡路信用金庫 本町支店	普通預金	790,112	No.0454865
淡路信用金庫 本店営業部	普通預金	4,928,012	No.0300206
淡路信用金庫 本店営業部	普通預金	500,000	No.0319813
淡路信用金庫 本店営業部	普通預金	100,000	No.0319821
淡路信用金庫 本町支店	普通預金	1,223,477	No.0749012
有価証券	合 計	10,000	
淡路信用金庫 本町支店	出資証券	10,000	額面50円 200口 No.21942

16. 監 査 報 告

一般社団法人淡路青年会議所
代表理事 向内 英光 殿

私たち監事は、平成25年4月1日から平成25年12月31日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記及びこれらの附属明細書）について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示してしるものと認めます。

平成25年12月30日

一般社団法人淡路青年会議所

監事 印

監事 印

17. 資 料

1. 各事業別写真
2. 新聞記事切抜

18. 資料 事業写真

1月新年例会・第77回通常総会 2013年1月10日（金）



新年会 2013年1月10日（金）

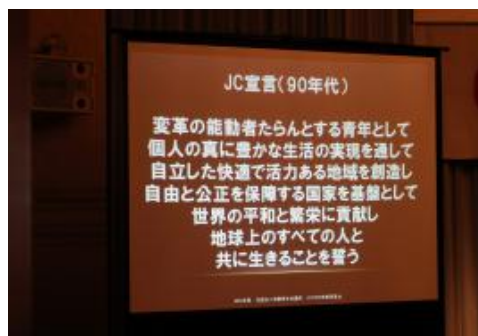


18. 資料 事業写真

LOM 役員懇談会 2013年2月13日(水)

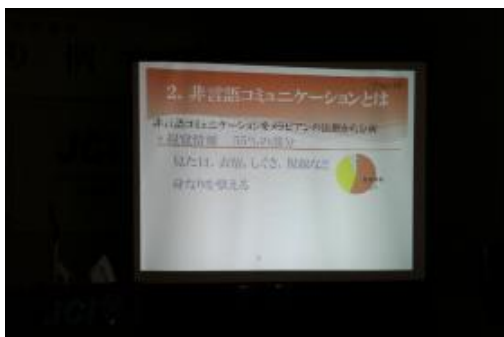


2月研修例会 2013年2月13日(水)

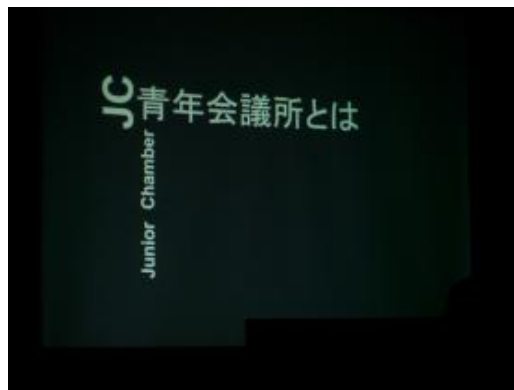


18. 資料 事業写真

3月つながり例会 2013年3月13日(水)



前期入会候補者説明会～淡路JC説明会～ 2013年3月13日(水)



18. 資料 事業写真

4月研修例会・第1回臨時総会 2013年4月10日(水)



5月スポーツ例会 2013年5月8日(水)



18. 資料 事業写真

第19回わんぱく相撲淡路場所 2013年5月12日(土)



6月研修例会 2013年6月12日(水)



18. 資料 事業写真

だから革命～淡路島の「だから」が故郷を輝かせる～事業説明 2013年6月19日(土)



Jaycee 研修事業 2013年7月6日(土)



18. 資料 事業写真

7月選挙例会 2013年7月10日(水)



だから革命～淡路島の「だから」が故郷を輝かせる～メインフォーラム
2013年7月13日(水)



18. 資料 事業写真

第66回淡路島まつりおどり大会 2013年8月3日(土)



8月研修例会 2013年8月9日(水)



18. 資料 事業写真

第2回臨時総会 2013年9月2日(月)

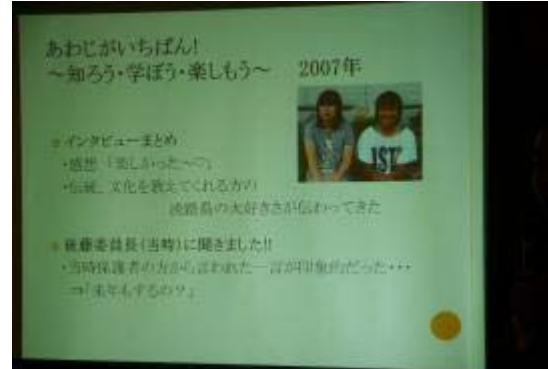


9月故郷づくり例会 2013年9月11日(水)



18. 資料 事業写真

10月魅力発見例会 2013年10月13日(水)



11月卒業スピーチ例会 2013年11月13日(水)



18. 資料 事業写真

12月協働例会・第1回定時総会 2013年12月14日(土)



家族忘年会 2013年12月14日(土)



2013年1月8日 産経新聞

今できること

読んで初春のお慶びを申し上げま
 す。2013（平成25）年がスタート
 し、昨年同様という節目の年を迎えた
 社団法人淡路青年会議所も51年目を
 新しい気持ちでスタート致しました。

社団法人淡路青年会議所は設立当初
 から「港路はひとつ」という基本理念
 の下、明るい豊かな淡路島を創造する
 べく、あらゆる事業を展開し、日々
 の活動を行ってまいります。半世紀に渡る
 歴史を重んじ、改めて明るい豊かな淡
 路島づくりに向け、新しい一年を邁進
 してまいります所存でございます。

昨年は、オリンピックイヤーでし
 た。ロンドンオリンピックでの日本代
 表の活躍は目まぐるしく、過去最多の
 メダル獲得という結果が、一昨年の東
 日本大震災や震災と化する社会情勢な
 どで不安を抱く国民に勇気や希望とい
 った一筋の光をもたらしたのではない
 でしょうか。

しかし、わずか半年前に行われたオ
 リンピックが、今では遠い昔に感じて
 しまっているように感じます。十年

淡路

ニューズ
 洲本
 〒656-01
 洲本市家道
 (利) 079
 FAX 079
 姫路
 〒670-0
 姫路市錦第
 07
 FAX 07
 三宮川
 〒668-
 豊前市
 0
 FAX 0
 香住
 〒654
 神戸市
 FAX
 〒64
 西宮
 FAX
 尼崎
 ...

社団法人淡路青年会議所 第51代理事長 向内英光



開運招福

未来に向け「まず行動」

一昔といわれていた時代より、今は5
 年や3年、ともすれば1年や半年が昔
 に思えてしまう時代になったのではな
 いでしょうか。

淡路島を見ましても、3市体制にな
 る以前、私ども社団法人淡路青年会議
 所が淡路1市運動を主軸とするフォー
 ラムなどを開催し、活動していたのは
 10年前の出来事です。平成の大合併が
 行われ、3市体制への移行が決定して
 からはその活動を休止し、そして3市
 体制となったのはわずか7年前の出来
 事なのです。時代の流れは激流のよう
 であり、1年1年が驚くほど早く過ぎ
 去っている昨今では、自分が関わって
 いない出来事が記憶から薄れていくの
 が、早くなっているように思われま
 す。

これは自分の関わっていないものに
 対して、無関心になっているからでは
 ないでしょうか。このような時代だか
 らこそ、「できない・しない理由を探
 すより、まずは行動する」ことが重要
 であると考えます。

淡路島には伝統や文化、食といった
 他に誇れるものが数多くあり、それら
 の保全継承や発展を目指して発信する
 さまざまな団体や地域コミュニティ
 が日々、活動しております。このよう
 な淡路島だからできる活動、淡路島で
 しかできない活動を、それぞれが地域
 でしっかりとした関わりを持って、多く
 の島民がそれらに積極的に参画するこ
 とこそが、活気のある地域・活気のある
 淡路島に繋がっていくはずですよ。

われわれが考える明るい豊かな淡路
 島とは、島民の皆様一人ひとりが未来
 に向かって、夢や希望、そして自信を
 持って行動し暮らせる島となることだ
 であると考えております。どうか私ども
 の今後の活動にご期待ください。

平成25年(2013年)2月7日 木曜日

淡路

ニューズ
075-7656-0000
FAX 075-7656-0001
075-7670-1111
FAX 075-7670-1112
075-7668-0000
FAX 075-7668-0001
075-7655-0000
FAX 075-7655-0001

今できること

昨年11月、私の会社にフレッシュな2人が訪れました。「おはようございます」と爽やかなあいさつがあり、元気の良い笑顔が印象的でした。私は南あわじ市で建設業を営んでいます。2人は17歳でインターンシップ制度で、社会人になる心構えやマナーの体得、職業意識や職業選択能力の向上などを目的に当社を訪ねたのです。1人は就職を控え、1人は進学を考えていましたが、しっかりと職に就くことに向き合っていました。進学志望の学生も就職の選択肢を増やすための訪問といえ、改めて現在の就職環境の厳しさを感じました。また、淡路島に住み、島内で働きたいという気持ちも強いことが分かりました。

しかし、担当の先生と話をさせていたなかで、推薦する職場、すなわち求人募集している島内の職場の減少が顕著になっていると聞きました。淡路島を代表してきた産業、企業の衰退が原因といえます。日本の現状を憂えても、衰退の一途をたどっているなかで、少

平川智己氏 社団法人淡路青年会議所



若者の働く場 創出目指す

子高齢化が進み、アンバランスな雇用状況が地方を襲っています。自分の会社でも、私が入社してから10年以上たちますが、新入社員は数名しか招き入れることができず、地方の雇用状況と同じ現象が会社で起こっているのです。需要が伸びないうえ、会社も既存の枠の中で年をとってしまったのです。「新しい産業が必要なのはいいか」と考えますが、昨今の競争激

化の中では、新しい産業の創出はかなり困難を極めると思います。この状況が続き、雇用の場がなければ、淡路島が大好きな彼ら2人はどうなるのでしょうか。「何とか改善できないか」と考えます。現在の淡路島は3市体制で、産業に関してはそれぞれで取り組んでいます。もし、同じ産業界の中でまとまっていれば、衰退しなかつた産業もあるのではないのでしょうか。島外の人から見た淡路島にはたくさんのお宝があり、「また島民が気付いてはないものもあるのでは」といわれることも少なくありません。淡路島が一本化されて、島民の意思統一を図ることができれば、淡路島の資源、人材を生かした日本にひとつしかない産業の創出も夢ではないと思います。今、必要なのは新しい産業の創出であり、雇用の促進であります。

今こそ淡路島の先人が創ってこられた環境を生かし、効率化の行政合併だけではなく、新しい産業、雇用を創りあげるために淡路島はひとつになるべきであると思います。

私が所属する社団法人淡路青年会議所では昭和38年から「淡路はひとつ」という理念の下、「明るく豊かな淡路島」の実現に向け活動を続けてまいりました。自分たちがすべきことが何かを、いま一度考え、淡路島が大好きな若者が住む場所、帰ってくる場所を創るためにも早く「淡路がひとつ」となることを切望し、活動していきたいと思えます。

2013年3月5日 産経新聞

平成25年(2013年)3月5日 火曜日

淡路

今できること

淡路島で生まれ、今は洲本市で福祉の仕事に携わっています。高校まで淡路島で過ごし、大学(もう、15年以上前の話ですが)から、淡路島を離れ、大学卒業と同時に、大阪の民間企業に就職して5年間働いてきました。当時しがらみに困って、淡路島について外から見ることがありませんでしたが、今になって改めて淡路島の良さを感じることができました。

島外の方に淡路島について話を聞くと、「自然がある」「魚がおいしい」「食べ物が豊富」など言われます。淡路島にいると当たり前のごとく淡路島以外の方からは新鮮なことであり、言い換えれば、それが淡路島の強みではないでしょうか。

10年ひと昔といわれますが、10年前と比べて環境は大きく変わっています。人口減少、少子高齢化なども進んでいます。しかし、人口が少なくなっただけで、高齢化が進んだからと後ろ向きに考えず、まずは淡路島をよほした

三倉克仁氏 淡路青年会議所 法人



5年先、10年先を見据えて

いと思つことが第一歩だと考えます。福祉の仕事をしていて常に考えることは、その地域が必要としていることや困っていることに積極的に取り組む、「地域の拠点」としてあり続けること」です。急に何かをするのは難しくても、少しずつ積み重ねていくことで5年先、10年先に地域が必要とされる施設でありたいと思い、日々取り組んでいます。島内で、さまざまな視点から、おのものができぬことを行動に移すことで、10年後の淡路島につながると思っております。

私が幼少時代に過ごしてきた環境では、地域とのつながりが非常に強くありましたが、今ももちろんありますが、30代後半になった今、先人たちが築いてきた環境を、これからは私たちの世代が引き継いでいかなければいけないと感じております。近年、共働き世帯の増加や核家族化が進んでいます。だからこそ地域の宝である子供たちを、その地域の大人が見守っていくことが大切なことだと思います。そうした地域の動きが、最近ニュースなどで目にする悲惨な事件を未然に防ぐことにつながっていくのではないのでしょうか。

また、そんな環境で育った子供たちが大人になって、私たちが感じたように淡路島や地域のことを好きでいて真剣

に考えてくれる、そして近い将来、「必ず地域のために頑張っていく」と信じています。

淡路島には真剣に淡路島のこと、地域のことを考えて活動している団体がたくさんあります。社団法人淡路青年会議所(淡路JC)も淡路島の未来を真剣に考えて活動している団体です。40歳までの青年経済人が淡路島を一つにとらえて、これから先5年後、10年後の淡路島について真剣に考えて活動しています。私も淡路JCで「明るい豊かな淡路島」の実現のために、今できることを考えて、これからも積極的に活動して参ります。

ニュースのご連絡
洲本支局
〒656-0026
洲本市栄町2-2-1
(本町ビル2F)
0798(22)11
FAX 0798(25)12

姫路支局
〒670-0821
姫路市緑町119
姫路不動産
079(224)11
FAX 079(226)11
駐在
姫島川 079(42)11

豊岡支局
〒668-0025
豊岡市幸町13-1
0796(22)11
FAX 0796(29)11

通徳部
番住 0796(36)11

神戸総局
〒650-0015
神戸市中央区
多聞通
078(35)11
FAX 078(36)11

阪神支局
〒662-0911
西宮市六通寺
0798(0)11
FAX 0798(0)11

通徳部
尼崎 06(64)11

2013年2月7日 産経新聞

平成25年(2013年)4月2日 火曜日

淡路

ニュースのご連絡は
洲本支局
 〒656-0026
 洲本市栄町2-2-15
 (本町ビル2階)
 0799(22)1450
 FAX 0799(25)2129

姫路支局
 〒670-0921
 姫路市駅前119
 姫路不動産ビルP
 079(224)555
 FAX 079(226)319

駐在

加古川 079(421)752

豊岡支局
 〒668-0025
 豊岡市幸町13-20
 0796(22)611
 FAX 0796(29)23

通信部

香住 0796(36)44

神戸総局
 〒650-0015
 神戸市中央区
 多聞通4-1
 078(35)111
 FAX 078(38)113

阪神支局
 〒662-0918
 西宮市六甲寺町9
 0798(33)5
 FAX 0798(37)5

通信部

尼崎 06(642)11

今 できること

一般社団法人淡路青年会議所 岡本義弘氏



「相撲」を通じて地域交流を

当り前にあつたことがなくなりつつあるように感じます。

そんな中、私が所属する一般社団法人淡路青年会議所は、これまで活動の一端として、さまざまな「青少年育成事業」を行ってまいりました。その一つとして、今年度も子供たちの身体と精神の健全育成を行うため、小学生を対象とした「わんぱく相撲淡路場所」を開催致します。歴史ある日本の国技である「相撲」を経験することで、道

交流、保護者同士の交流、地域間の交流がより活発なものになることです。

われわれの住む地域はわれわれの手で発展させていかなければならないと考えます。この淡路島の今を担うわれわれ責任ある大人が、将来の担い手である子供たちに何ができるのか。これからも一般社団法人淡路青年会議所の活動を通じて、積極的に「明るい豊かな淡路島」の実現、そして「青少年育成」に取り組んで参ります。

洲本市で産院業を営んでおられます。小さい頃から体を動かすことが大好きで、日々の忙しい生活の中でも社会人のクラブで体を動かすかたわら、小学生にスポーツを教えています。地域の宝である子供たちを教えることは、自身の勉強にもなり、「大変ありがたいことだ」と思っています。

子供たちには「あいさつは自分からしっかりと行う」、「周りの人に感謝し、大切に思いやる」、「一人に迷惑を掛けない」、「何事も積極的に自ら行動する」と教えています。これは、やさしく、思いやりを持ち、何事にも積極的に関わってほしいと思っております。最後に「何事にも大きな目標を持ち、その目標に向かって日々努力を積み重ねる」と教えています。まずは自分自身で目標を設け、達成に向かって日々地道に努力をすることで経験を通じ、たとえ達成できなくても、課

18. 資料 新聞記事

2013年4月23日 産経新聞

来月12日、わんぱく相撲開催 淡路JC



わんぱく相撲淡路場所をラビールする淡路JCの奥内美光理事長（右）ら。洲本市本町

子供たちに相撲を通して、勇気や礼儀を身に付けさせる。淡路JCは5月12日、淡路市立津名体育センターで「わんぱく相撲淡路場所」を開催する。小学生を対象に参加者を募集している。

淡路JCが平成8年から開催しており、今回19回目。競技は低学年の小学1～3年生の男女混合同、高学年の4～6年生の男女別で行われる。学年別のリーグ戦のほか、低学年の部、高学年男子の部、高学年女子の部で、学年の枠を超えたトーナメント戦も行う。トーナメントの対戦相手は主催者が決定する。

リーグ戦の4～6年生男子の優勝者は、6月23日に姫路市で開催予定の地区大会に出場。地区大会の上位入賞者は7月28日に同国技館（東京都）で開催される「わんぱく相撲全国大会」に出場できる。

参加無料。参加希望者は各小学校に配布されている募集要項で申し込みを、締め切りは26日。問い合わせは淡路JC（☎0799・22・6611）。

2013年4月24日 神戸新聞

勇気育て成長の一助に
わんぱく相撲参加募る

来月12日、津名



淡路市内の小学生方土を招いたトーナメント戦が熱戦を繰り広げる「第1回」がある。参加者を募集している。

19回目は、淡路市青少年の健全育成を目的に淡路青年会議所が毎年開催。参加者は学年別リーグ戦と、「低学年男女の部」「高学年男子の部」「高学年女子の部」の3部に分かれたトーナメント戦の両方にエントリーする。

リーグ戦の男子の各優勝者は6月に姫路市で開催される地区大会に出場できる。地区大会の上位4人は7月の全国大会に進む。トーナメント戦は保護者投票による最優秀を決し、賞状を授与する。

同会議所で相撲の川越勇輔さん(27)は「経験を糧に一歩踏み出す勇気や、勝ち負けに勝つ気持などを学び、成長の一助にしてほしい」と話している。

参加申し込みは4月26日まで。同会議所事務局☎0799・22・6611
(大月英佳)

2013年5月14日 産経新聞

平成25年(2013年)5月14日 火曜日

淡路

今できること

淡路市多賀で、家業で石材業を営んでいます。高校まで淡路島で、大学と修行時代の約10年間は島外で過ごし、家業を継ぐために戻ってからは、なんとなく仕事する日々でしたが、ふと風道沿いにいくつも建てられている燈籠に目がいきましました。

昭和50年、大瀬川橋開通時に開催された「くろのみの祭典」に合わせ、律名一宮インターから伊佐野神社までの参道東西約5.5に建てられたものです。当時、発起人の一人として祖父が関わっていました。今まで曖昧にしか知らなかったこの事実を知った瞬間、仕事に対する考えが変わりました。

石に携わることは歴史を刻むということですが、幼い頃からそんな仕事を自らの当たり前にしてきたことが、自分の考えや思想のものになっていくように思えます。帰ってきて3年がたち、石材業という仕事の意義を理解できたことで、もったのめり込みみたい、知りたい

一般社団法人淡路青年会議所 時枝弘記氏



歴史を刻み、伝統文化継承を発信

淡路島の石文化を調べてみると、興味深いものがたくさんあります。岩神や山ノ神、地神の信仰や石塔があり、社目標や野辺伝にいたるまで大切に祀りされ、守られている地域は全国を探しても、それほど多くはありません。また、お墓参りは一年に数回する一といふのが全国で一番多い状況ですが、淡路島の大半の地域では、お墓参りは月1回以上するのが一番多いのです。その

と想つとつになりました。

淡路島の石文化を調べてみると、興味深いものがたくさんあります。岩神や山ノ神、地神の信仰や石塔があり、社目標や野辺伝にいたるまで大切に祀りされ、守られている地域は全国を探しても、それほど多くはありません。また、お墓参りは一年に数回する一といふのが全国で一番多い状況ですが、淡路島の大半の地域では、お墓参りは月1回以上するのが一番多いのです。その

れだけ、ご先祖様が残してくれたものを大事にし、血縁や地域のつながりに重きをおいているのです。大切なのはこの伝統や文化が、今も受け継がれていることです。このような淡路島の魅力を知らなければ知るほど、その奥深さに感動し、もっと知りたい、そして広めたいと強く思うようになりました。

ちょうどそんな頃、同じ石材業の先輩と出会い、一般社団法人淡路青年会議所のことを紹介されました。淡路島

全土で活動しているからこそ、より多くを経験でき、色んな方に出会うことができる点が、自分の考えと一致し、入会しました。

驚いたのは、過去50年という長きにわたって活動してきた歴史と内容です。淡路島のことを真剣に思うからこそ、何をすることも調査や研究を怠らない姿勢は膝々と受け継がれていいます。何事も受け継いでいくことは大変なことですが、その中で得るものは、

本当に多くありあるものと実感しています。

仕事の石材業だけでは、限られた範囲でしか、行動できなかったかもしれませんが、この団体に所属することで活動のフィールドが広がり、自分自身の考えをより広く、そして強くすることができました。

これからも淡路島の歴史を学び、伝統・文化の継承に石材業を通じて寄与し、心豊かな淡路島がありつつつづけるため、その魅力を発信してまいります。

ニュースのご連絡は

洲本支局
〒656-0026
洲本市栄町2-2-15
(本館ビル2階)
0799(22)1450
FAX 0799(25)2125

姫路支局
〒670-0921
姫路市緑町119
姫路不動ビル内
079(224)5551
FAX 079(226)3191

駐在

並志川 079(421)7520

豊岡支局
〒668-0025
豊岡市幸町13-20
0796(22)6151
FAX 0796(29)2338

通信部

香住 0796(36)4499

神戸総局
〒650-0015
神戸市中央区
多摩通4-1-5
078(361)1771
FAX 078(361)3001

阪神支局
〒682-0918
西宮市六瀬寺町9-11
0798(33)5881
FAX 0798(37)2477

通信部

尼美 06(8421)2545

2013年6月4日 産経新聞

平成25年(2013年)6月4日 火曜日

淡路

今できること

淡路市江井で生まれ、現在、家業の醤油製造販売業に従事しています。江井を訪れる方々は「まちを歩く」と、お醤油の良い香りがします」と、驚きを持って良さを語ってこられます。しかし、香りとほ不思議なもので、常日頃から同じ香りを嗅いでいますと、鼻が慣れてしまつたため、訪問者から言われるまで気づきません。

私たちのまちの香りは嘉永3（1850）年以来、まちを上げて醤油製造に取り組んできた歴史的背景があります。淡路島を訪れた方々から、島の各地には磯の香り、タマネギの香りなどさまざまな香りがあり、香りを通じて淡路島を感じることができると聞きます。各地の香りには地域の歴史や背景が、しっかりと反映されており、香りも故郷の魅力の一つです。淡路島には文化、歴史、産業、景観、気候風土など素晴らしい魅力がありますが、香りのように日常化してしまつたと当たり前のことになり、訪問者から評価されて

一般社団法人淡路青年会議所 吉井崇行氏



淡路島「だから」が故郷を輝かせる

島民が初めて気付く「灯台下暗し」の状態に陥っているように思います。日常の身近なことから埋もれた魅力を再発見し、その魅力を確信する際、私は「だから」という言葉が果たす役割が大きいと感じています。「だから」は、例えば「あなただからお願

島民が初めて気付く「灯台下暗し」の「私」からできることがあつるという中で、対象そのものが持つ魅力、すなわち、アイデンティティを結びつける重要な役割を担っています。流動的で変化の激しい社会で、淡路島が持つ魅力と島民の郷土に対する愛着は薄されない確かなもので、島民

私たちが誇りを持って、故郷が発展するために「私たちがだからできること」を考えて行動し、一人ひとりが故郷のために一歩踏み出すことが出来る場を創出してまいりたいと思います。

私が所属する一般社団法人淡路青年会議所は、社会の諸問題を調査研究

一人ひとりが故郷の「だから」をしっかりと見つけ、故郷に対して想いを持って関わっていくことが、故郷を発展させる上で大切です。

日常の身近なところにある淡路島の歴史や背景、そして、ルーツに基づく「淡路島だからできること」を、会員相互の啓発と連携を図って、設立当初から「淡路はひとつ」を基本理念とし、「明るい豊かな淡路島」を実現する活動を行っています。世界がグローバル社会へと向かうなかからこそ、地域社会が見直され、その存在意義が顕著になりつつあります。

島民の当事者意識は故郷の発展に必要であり、自己満足にならず、様々なアイデンティティを生かすことができる社会を形成し、淡路島がひとつとなって、目標を持って取り組むことが「明るい豊かな淡路島」を実現する確実な一歩になると信じています。故郷の未来が輝くために当事者意識を持ってしっかりと故郷に関わってまいります。

ニュースのご連絡は
洲本支局
 〒656-0025 洲本市栄町2-2-15 (本郷ビル2階)
 0798(22)1450
 FAX 0798(25)2125

姫路支局
 〒670-0921 姫路市錦町119
 姫路不動産ビル内
 079(224)5561
 FAX 079(226)3191

豊岡支局
 〒668-0025 豊岡市幸町13-20
 0796(22)6151
 FAX 0796(29)2338

通信部
 専任 0798(36)4499

神戸総局
 〒650-0015 神戸市中央区
 多聞通4-1-5
 078(35)11771
 FAX 078(36)13001

阪神支局
 〒662-0918 西宮市大宮町9-11
 0798(33)5881
 FAX 0798(37)2477

通信部
 志磨 06(642)2545

2013年6月18日 産経新聞

「淡路島だから」「ここその魅力を

淡路島の良さをインターネットで広く発信しよう
と、一般社団法人淡路青年会議所（淡路JC）はインターネット交流サイトのフェイスブックに「だから革命」淡路島スタイル」を開設した。サイト上で淡路島の魅力を誇り、淡路島の「一押し」をコンテスト形式で発信する。7月13日にはメインフォーラムを開いて成果を発表する。

JC、フェイスブックで募集・発信

ネットの発信やフォーラムは「だから革命」淡路島の「だから」が故郷を輝かせる」との事業名で実施。フェイスブック上で募集した21〜39歳の13人（男性5人、女性8人）に協力を求め、今月20日〜7月10日に「淡路島だから」をテーマに文化、歴史、産業、景観、方言など淡路島の「一押し」を発信してもらい、コンテスト形式で淡路島の良さをPRする。

医師で作家の大鐘稔彦さんやタレントのたむらけんじさんら淡路島ゆかりの人たちから聞いた「一押し」も発信する。

フェイスブック上の交流を通じて発信者300人以上、投稿数1千件以上、ページの評価で「いいね!」の1万件以上の獲得を目標としている。

また、7月13日午後2時から、洲本市小路谷のホテルニューアワジでメインフォーラムを開催する。ミシユランガイドの発行で知られる日本ミシユランタイヤの森田哲史社長室長が「故郷の魅力ブランディングミシユラングリーンガイド」をテーマに講演。優れた発信に対する表彰式も行う。

淡路JCの向内英光理事長は「今ある淡路島の魅力を発信することで、地域の魅力の再発見や豊かな故郷づくりにつなげたい」と話している。



ネットでの発信とフォーラム開催をアピールする淡路青年会議所の向内英光理事長（右）ら＝17日、洲本市本町

18. 資料 新聞記事

2013年6月18日 産経新聞

6月18日 火曜日

FBで「いいね！」押して

淡路島の「一押し」発信

インターネット交流サイトの「フェイスブック」で淡路島の「一押し」を募集し、全国に発信するコンテストが20日、始まる。7月10日まで千件を目標に島民からの投稿を呼びかけ、多彩な島の魅力をサイトに紹介。優れた投稿を同日のフォーラムで表彰する。

淡路青年会議所の新事業「だから革命」淡路島



「だから革命」のフェイスブックページをPRする吉井興行さん＝洲本市役所

フォーラム 島民に投稿呼び掛け

インターネット交流サイトの「だから」が故郷を輝かせる優秀な投稿は「いいね！」の「一押し」の場。島内の若い世代に「淡路島だからできること」を考え伝えることで、地域を発展させる担い手としての意識を高める狙い。

「いいね！」の数は、事業に対して1万件を目指す。事業普及を助けるFacebookを21、30歳の男女13人が務める。

投稿内容は11月30日まで公開。担当の吉井興行

さん37は「島の若い世代に当事者意識を持ち一歩踏み出すことや、踏み出す世の中が変わる」と話

「だから革命」の森田イヤー（東京都）の森田哲史・社長室長が「故郷の魅力をブランディングに活用する」と題し講演する。

無料。同会議所 ☎079-9・232・6611

（六月美佳）

2013年7月9日 産経新聞

淡路

ニューズのに通じる
洲本支局
〒656-0020
洲本市栄町2-2-15
(本館ビル2階)
0799(22)1450
FAX 0799(25)2125

姫路支局
〒670-0521
姫路市駅前119
姫路千輪ビル
078(224)5551
FAX 079(226)319

豊岡支局
〒660-0025
豊岡市駅前13-20
0786(22)911
FAX 0796(29)23

通債部
番付 0786(36)44

神戸総局
〒650-0015
神戸市中央区
多聞通4-1
078(35)11
FAX 078(38)13

阪神支局
〒652-0916
西宮市六華寺町9
0798(33)
FAX 0798(37)

通債部
尼美 06(8421)

今できること

一般社団法人淡路青年会議所 横山泰明氏



故郷を輝かせるために

南あわじ市で清瀬業を営んでおり、高校卒業後、淡路島を離れて飲食で暮らし、家業を継ぐために戻ってきました。淡路島で再び暮らすようになって、たくさん人の幸せを感じるようになりました。まずは淡路島が好きになり、まずは淡路島が好きになり、第一に自然が豊かで海がきれい、その豊かな自然から生み出される新鮮な魚、肉があり、何を食べてもおいしいと感じます。また、地域では祭りなどをはじめ、交流する機会がたくさんあり、都会に比べ、人と人とのつながりが深く、心に暖かさを常に感じる場であると感じています。

清瀬業を営む中、会社の発展とともに、淡路島の環境を良く考えています。その中で気付いたことがあります。それは今まで淡路島を支えてきた漁業や農業など第1次産業が、水・大気・土壌の汚染や温暖化などの環境問題で、衰退している現状があることです。地場産業衰退によって雇用が減少

し、これからの若者が島外に働き、先を求めて出てしまえば、人口流出を促進していると思えます。これらの問題を少しでも打開し、雇用が大きく生まれ、島民が住みやすく、感受ある島にするため、清瀬業を通じて環境問題や雇用問題を考え、淡路島のためにお役に立ちたいと思つたようになりました。ちょうどその時、一般社団法人淡路青年会議所からお誘いいただき、入会することになりました。

淡路青年会議所は社会開発事業として「だから革命！淡路島の『だから』を少しでも打開し、雇用が大きく生まれ、島民が住みやすく、感受ある島にするため、清瀬業を通じて環境問題や雇用問題を考え、淡路島のためにお役に立ちたいと思つたようになりました。」を宣言していき、淡路島の良さを、魅力、誇りを島民が中心となって考え、全国に向けてフェイスブックを利用して大発信し、島内はもとより島外のみならず、淡路島の魅力を発信していただいています。だから革命は、人と地域の思いをつなぐ交流の場を創出し、その中で、日常の身近なことから埋もれた魅力を再発見する場となつていきます。私もこの事業に思いを込めて取り組んでいるのですが、故郷に一步踏み出して関わっていくことの大切さを強く感じるようになりました。今年10日までフェイスブックページ「だから革命！淡路島スタイル」で「淡路島のイチオシ」コンテンツを実施したいとしております。10日には、その表彰式を含めた「だから革命」を総括するフォーラムを洲本市小路谷のホテルニューアワジで午後7時～4時に開催いたします。一般参加も可能ですので、ぜひ

も、「参加したければ」と思います。淡路青年会議所は設立当初から「淡路はひとつ」を基本理念として掲げ、「明るい豊かな淡路島」を実現するための活動を行っています。故郷に対する島民の当事者意識が、淡路島の諸問題を解決するうえで大切です。私は「人が輝く」と「故郷が輝く」と信じ、故郷に積極的に関わっていく姿勢を行動で示してまいります。

18. 資料 新聞記事

2013年7月14日 神戸新聞



2013年7月14日 産経新聞



2013年8月6日 産経新聞

今
できること

高校卒業後、家業の工務店を継ぐため、そして木造建築にこだわれ、まもなく、洲本市五色町で大工の親方に弟子入りしました。5年間の修行後、わが社に帰ってきました。

近年、新築工事やリフォームなど「建築」に関する話題がテレビや専門誌で取り上げられ、一般の人たちも多くの情報や知識をもつようになりました。それでも、まだ知られていないことがあります。例えば、われわれ業者が申請する制度に、「新築住宅を10年間保証する」「住宅瑕疵担保責任保険」や、国産木材の利用で森林の整備・保全を推進する地域の施策を目標とする「木財利用ポイント」などがあります。こ

一般社団法人淡路青年会議所 **中田勝文氏**

良き伝統を次世代へ



れは市町村によっては、地主様が申請すれば、補助金が出ます。われわれ業者側は新しい制度を学び、地主様に提案しながら、自社のセールスポイントやこだわりをアピールしなければなりません。と思っています。

また、昔から引き継がれた工法や日本の気候に合った材料など良い物が、たくさんあります。これらの伝統技術

にこだわり、残していくべきだと考えていますが、なかなか伝統技術を継承していくのは難しく、伝統的な技術や工法を使う物件も減少しています。コスト削減、新しい流行や工法、材料などが広まる中、良き伝統技術を継承して、次世代に伝えるのかわれわれの役目だと思っています。

現在、淡路島では少子高齢化で人口減少が進み、環境は大きく変わってきています。しかし、この島には素晴らしい伝統文化や自然がたくさん残っており、気候や食材にも恵まれ、とても住みやすく、地域の繋がりも残っています。淡路島の魅力を再認識していくうちに「次世代に淡路島の良きところを残さないといけない」「伝統文化をどのように伝えていくのか」を考へるようになってきました。

現在、一般社団法人淡路青年会議所に所属し、「明るい豊かな淡路島」を実現する諸活動に取り組んでいます。私自身も5人の父親として、将来、子供たちが住む淡路島を魅力のある住みよい島のままで残そうと、日々、行動しています。子供たちも一度は都会にあこがれ、淡路島を離れるかもしれませんが、しかし、住み慣れたわが家に帰ってきたらと思ってくれるような環境や魅力を残してあげたい。そのためには、われわれ大人が淡路島について、もっと考へ、次世代の子供たちに夢を与えられるよう淡路島の良さを伝え、発展させていかなければならないと考へます。

一般社団法人淡路青年会議所の活動を通じて、淡路島の素晴らしさを発信し、これから10年、20年先を見据えて積極的に淡路島を盛り上げ、活性化させるために淡路島民の一員として、今できることに精いっぱい取り組んでまいります。

2013年9月3日 産経新聞

(淡路) 18
平成25年(2013年)9月3日 火曜日

淡路

今できること

ニュースのご連絡は
洲本支局
〒656-0026
洲本市栄町2-2-15
(本館ビル2階)
0799(22)1450
FAX 0799(25)2125

姫路支局
〒670-0921
姫路市網町119
姫路市東ビル内
079(224)5551
FAX 079(225)3191

豊岡支局
〒668-0025
豊岡市寺町13-20
0796(22)6151
FAX 0796(29)2338

神戸総局
〒650-0015
神戸市中央区
参道通4-1-5
078(35)11771
FAX 078(35)13001

阪神支局
〒652-0918
西宮市六通寺町9-11
0798(33)5261
FAX 0798(37)2477

通信部
〒658(84)212545

一般社団法人淡路青年会議所 有賀雄一氏



子供を育てるコミュニティーを

「地域で子供を育てよう」との思いがあり、他人の子供でも「悪いことは悪い」と叱ってくれたり、時には励ましてくれたり、同年代だけでなく、幅広い年齢層の人とふれあうことで、礼儀やマナーを身に付け、思いやりや信頼する心を育むことができました。それらが今の自分を形成するのに、とても重要な役割を担いました。

私は3人の子供がいますが、地域に「コミュニティが形骸化するなか、子供たちが「淡路島を好き」と言えるだろうか」と考えていました。そんなとき、一般社団法人淡路青年会議所が市民の声を行政に届ける事業「島民討議会」を企画していると知り、公募市民として参加し、私の住む地域の課題が、淡路島全体が抱えている課題であることに気づきました。また、事業に参加した方と関わって自分の視野が広が

南あわじ市に生まれ、高校卒業後、大阪で10年間暮らし、7年前に淡路島に帰ってきました。現在は一般小売・サービス業を中心に仕事をしています。帰ってきて感じたのは「子供の頃と比べ、地域に元気がない」ということです。私が住む地域の小学校は、私の在学時でも在校生が1000人前後で、島内でも小さな地域にあります。昔から小学校の運動会は住民体育祭と同じ日に開催され、住民体育祭で近所のおっちゃんやおばちゃんがさまざまな競技で張り切っているのを、真剣に応援しました。色々と話したうえで思いますし、他愛もない会話でも何か懐かしさを感じたことを覚えてます。今も住民体育祭は開催され、子供たちも参加していますが、若者世代が少なく人数を集めるのに苦労しているようです。ただ「昔からやっている」とこの理由で開催されているとあって、地域の関わりが薄くなっていると思います。

私の幼少期、周りの大人たちには

「子供は大人の姿を見て成長するといえます。子供たちが地域に対する愛着を持ち、「淡路島を好き」と言えるように、そして次の世代へ受け継いでゆかために、地域の活性化に必要不可欠な地域コミュニティーづくりに貢献したいと思います。自分自身が責任ある大人として想をたらし、子供たちが地域に対する愛着を持てるように行動してまいります。」

2013年11月12日 産経新聞

平成25年(2013年)11月12日 火曜日 (2013) 24

淡路

今できること

南あわじ市松原で材木屋を営んでおられます。最近では材木屋と言っても、内外装用建材はもちろん、住宅設備機器の販売・施工、大工工事の請負などさまざまなものを取り扱ってあります。子供の頃は毎日、近所の仲間たちと空き地で野球、川で魚釣りをして遊んでいました。時にははいたずらもしましたが、そういう時は近所のおじさんにとられたのをよく覚えています。自然の中で遊び、地域の人たちとあれあれいながら少年時代を過ごしました。高校卒業後は大阪の大学へ進学、一人暮らしで都会の生活を満喫しつつ、「ふるさと」から離れることで、改めて「ふるさと」の素晴らしさを感じることができました。

大学卒業後、家業の材木屋を継ぐために地元へ帰ると、すでに地元の先輩方から勧誘があり、消防団と祭礼団に入団しました。消防団の活動は、地元で災害が発生すると、一目散に駆けつけ、行方不明者がいるときは捜索を行います。さらに定期的に開催される大会の練習では消火活動の基本動作が身に付けるため、一丸となって連日練習に励んでいます。年末の夜間警戒は連日6日間、団員が交代で夜の8時から翌朝の5時まで、地元を歩いて夜通しで警戒し、地元を守っています。

祭礼団の活動では祭りの数カ月前から、たんじり囃や獅子舞の練習が始ま

一般社団法人淡路青年会議所 浅井克也氏



地域つなぐ消防団、祭礼団

ります。祭りの日には、たんじりが神社だけではなく、地元の公会堂や老人ホームまで練り歩き、たんじり囃を披露します。私は長年、獅子舞を行っていましたが、早期から地元の全ての家を獅子の頭を被って回りました。しんどいこともたくさんありましたが、獅子舞のメンバーとの思い出は、かけがえないものとなりました。また、祭りを通じて地元の子供から老人まで、さまざまな人々とふれあうことで人と人の関わり大切さを学びました。

「ふるさと」から自然の素晴らしさや人と人のつながり、人を思いやる気持ちの大切さなど、本当にたくさんを学びました。私には2人の子供がいます。子供たちが「ふるさと」を愛する人に育ち、貢献できる人になってほしいと思っています。

「ふるさと」を離れ、都会へ出て「ふるさと」への思いを持ちつつ、恩返しをしたくてもできない人がたくさんいます。幸い私は「ふるさと」に住んでいます。その中において、「ふるさと」を思う心を大切に、その素晴らしさを子供たちへ伝えていくため、地域活動に積極的に参加していきます。

ニュースのご連絡は

洲本支局
〒898-0025 洲本市栄町1-2-15 (本館ビル2階)
0798(22)1450
FAX 0798(25)2125

姫路支局
〒870-0021 姫路市東町119
姫路千鶴ビル内
079(224)5551
FAX 079(225)3191

駐在
加西川 079(421)7520

豊岡支局
〒669-0025 豊岡市幸町13-20
0786(22)6151
FAX 0798(29)2338

通信部
番付 0798(36)4499

神戸総局
〒650-0015 神戸市中央区
多美通4-1-5
078(251)1771
FAX 078(261)3001

阪神支局
〒662-0918 西宮市六道寺町9-11
0798(33)5881
FAX 0798(37)2477

2013年12月3日 産経新聞

平成25年(2013年)12月3日 火曜日

淡路

今できること

今年も残すところ1カ月を切りました。何かと気ぜわしく、心にゆとりを持たない時期かもしれません。われわれの青年会議所は単年度制であり、12月で本年度が終わり、1月からは新体制で新たなスタートを切ります。

第51代理事長という大役を預かり、1年間を過ごさせていただけました。自信があるわけでもなく、大きな不安を抱えておりましたが、今までにない目標に立ち、さまざまな機会を得ることや視野が広がることへの期待感があったことも事実です。振り返ってみると、さまざまなことがありましたが、「今年のことはいったんかえり思慮してしまふほど、時の流れを感じました。」淡路青年会議所が設立当初から行ってきたことは全て、「明るく豊かな淡路島」の実現に向けた活動です。めまぐるしく移り変わりの激しい近年、長期的な未来を見据えた事業展開が必要ですが、「自身近未来の姿を描い

ていく必要がある」と考え、本年はメンバー同士の協働はもとより、島民の方々の協力を得て、SNSを活用した事業を展開いたしました。島民から応募いただきました14人のプロジェクトサポーターやSNSを使用している皆さんから多くの支持をいただきました。しかし、全島民の方々に届わっていただけただけではありません。今後は今年以上に進んだ目標や切り口を考え、

多くの方々の協力と機会を得たいと、この1年で改めて気付かされたことがあります。それは一人では何と知り合つ機会を手にする事ができなかつたものに関して、「機会を失った」と思いました。それでも自らで優先順位を付け、数多く参加することによって、有効な機会を手にする

ことができたのです。何事においても目の前の出来事に前向きに取り組む、一歩ずつ確実に歩む大切さや与えられた機会を少しでも多くつかむことは、自分自身の考え方で大きく変わるのではないのでしょうか。本年、理事長という大役を務める中で体験させていたいただいた多くの人との関わりや経験は、私にとって大きな財産であり、忘れることのできない記憶となりました。さまざまな場面で今までのつながりから、「助力をいただいた方々、さまざまな経験を積ませていただいたこの1年により感謝申し上げます。

第51代理事長 向内英光氏

多くの助力と機会に感謝を

ニューズのご連絡は
洲本支局
〒656-0025
洲本市栄町2-0-15
(本館ビル2階)
0799(25)1450
FAX 0799(25)2125

姫路支局
〒670-0921
姫路市誠町119
姫路不船ビル内
079(254)5551
FAX 079(206)3191

豊岡支局
〒668-0025
豊岡市幸町13-20
0796(22)6151
FAX 0796(29)2338

通信部
豊住 0796(36)4489

神戸総局
〒650-0015
神戸市中央区
多聞通4-1-1
078(351)1771
FAX 078(361)3001

阪神支局
〒682-0818
西宮市六瀬町9-11
0798(33)5881
FAX 0798(37)2477

駐在
加古川 079(421)7520

2014年度

事業計画書

2014年1月1日～12月31日

**一般社団法人
淡路青年会議所**

一般社団法人淡路青年会議所
2014年度 スローガン

妥協なき挑戦！

～新たなる1ページを刻むために～



2014年度 理事長
原田 啓行

1. 理事長所信

はじめに

「足るを知る者は富む」——欲深くならず身の丈にあった満足を手に入れることで、貧しくとも心豊かな人生を送ることができるという教えです。確かに、絶えることのない人間の欲望を戒めるという意味で必要な考え方なのかもしれません。しかし、明るい豊かな社会を目指す我々青年にとって、必ずしもその考えが当てはまるとは限りません。青年会議所運動は、戦後の荒野から日本の再建を誓った若者たちにより興されました。未来へ希望を抱き、額に汗した先人たちの目の前には、きっと燦然と輝く豊かな世界が広がっていたことでしょう。

歴史を積み重ねる

この淡路島においても「淡路はひとつ」の理念のもと、地域のひとつづくり・まちづくりを目的とした活動が半世紀以上もの間、一貫性を持って行なわれてきました。故郷を想う諸先輩方による活動の積み重ねと、その活動に対する関係各位のご助力があったからこそ、今日の我々があることに心からの敬意と感謝を忘れてはなりません。これまでの活動はすべて、時代の潮流に鑑み、未来をしっかりと見つめ本質を追求してきたものであります。それは、周囲に迎合するものではなく、時代の先駆けとしての気概と行動を持って示されてきたものです。誰もが理解しやすい手段は受け入れられやすく、すぐに忘れ去られてしまいます。時代が変わっても、地域に対し何をどうするのか、正論を述べていくことが我々に与えられた使命の一つであります。そして、それらは積み重ねられることにより歴史となります。温故知新という教えがあるように、下手に奇を衒うことなく、これまでの成果をじっくりと学びとり、そこから着想を得る必要があるものと考えます。変えてはならないものとは物事の本質であり、変えなければならないものは環境の変化による手段です。「地域を愛するのか、地域から愛されたいのか」——我々が選択する道はどちらなのか極めて明白ではないでしょうか。そのような自覚と責任を持ち、決して怖れることなく勇気をもって行動して参りましょう。未来は日々の挑戦を一つずつ積み重ねることにより創られるのですから。

心を磨く

元来、日本人が大切にしてきたマインド（心・精神・意識）をもう一度取り戻すべき時

代になってきました。我々の世代は青年期においてバブル期を経験せず、失われた 20 年と呼ばれる真ただ中を歩んできました。そのような暗い世相であっても、いまだ物質的には豊かであり、何でも簡単に手に入るという二律背反する時代に生きています。ともすれば、日々の生活が楽しければそれでいいといった享樂的な過ごし方をしてしまいがちではないでしょうか。くわえて、必要以上に「個」を尊重する風潮により、利己的な考えを持つ人が多くなってきたようにも感じます。それが行き過ぎると、組織やコミュニティー、ひいては社会が健全な形で存在できなくなり、衰退へ歩みを進めてしまうことも否めません。自己中心的な考え方ではなく、周りがあつて自分が存在できるという感謝の心を持ち、「利他」なきところに「自利」は決して生まれないことをしっかりと認識する必要があるでしょう。他者に敬意を払い、他者を思いやり、他者を中心に据えた上で、身の回りの出来事を自らの責任と捉え、さまざまな問題に対し積極的に行動を起こせる真のリーダーシップの開発に取り組んでまいります。このマインドの育成こそが、これまでの成長の原動力であったイノベーションに代わる、新しい価値観や在り方になると確信します。

己を知る

現代社会において、知識の重要性は以前に比べ低くなったといわざるを得ません。それは IT の発達によりいつでもどこでも容易に知識や情報を引き出せる世の中になったからです。しかしながら、豊富な知識があつても、それを生かすスキルやセンスがなければ宝のモチ腐れになってしまいます。それらを身につける為には、まず自分の限界を超える体験をすることが必要不可欠となってきます。本を読むことや勉強会に行く事ももちろん大切なことですが、ほかの誰かの経験や実績などをそのまま自分に当てはめることなどできません。なぜなら、人それぞれの段階に応じた学びがあるからです。おのおのの立場において、自分が行動を起こした分だけ、自分は何ができて何が足りないのかがわかると同時に、その気づきそのものが自らの視野を広げることになるのです。この活動の中で人と人とが真剣に関り合い、ともに困難を乗り越える体験ができれば、それがその人にとっての一生の宝物になることはいうまでもありません。

同志を集うために

「魅力的な団体なのであれば、会員拡大活動など必要ないのではないか？」——以前、会員拡大活動の最中に皮肉を込めて投げかけられた言葉です。確かに、魅力あふれる場所には、労を要せずとも、おのずと多くの人が集うと考えるのはごく自然なことです。あるいは、入会することにより、それぞれが明白なメリットを享受できるような団体であるなら、入会希望者が後を絶たない状況になるのかもしれませんが。しかしながら、青年会議所の本質はそこにはなく、おのおのが感じる魅力についても実際に活動することで初めて見出せるものです。また、忙しい日々折り合いをつけ、自らの意思でまちづくりへの参画を望む人も残念ながら多くは存在しません。その反面、我々がどのような目的で活動を行い、何を目指している団体なのか地域に深く認知されていないことも事実です。その現状

を真摯に受け止め、いままで以上に幅広くJC活動を発信していくとともに、より多くの人との接点を創出していく必要があると考えます。そして、できるかぎり入会を阻害する要因を取り払い、「個」の力だけに頼らない拡大活動を戦略的に運営していくことがこれからの時代に必要不可欠です。青年会議所のメンバーが増えるということは、すなわち、志を同じうする仲間の輪を広げることであり、それそのものがまちづくりの一環であるといっても過言ではありません。

誇り高き地域へ

まちづくりの課題の原点は、人それぞれ豊かさの概念が違うところにあります。まず、その地域に住まうすべての人の豊かさを追求すれば、個性のないどこにでもある地域になるでしょう。同様に、便利さを追求すれば自然が失われるというジレンマに陥ります。また、地域にとってすでにある財産が多ければ多いほど、さまざまな思惑が交錯し、身動きが取れないといった事態を生んでしまうこともあるでしょう。そのような状況を切り拓いて行く為には、まず、何を「捨て」、何を「守り」、どう「創る」のかという観点がこれからのまちづくりに必要であると考えます。捨てることは本当に守るべき物を見出す行為であり、そこから生まれ出る大切なものをよりいっそう磨き上げる行為にほかなりません。したがって、無いものを一から創りあげたり、単純に他方より持ってくるという行為は賢明な選択ではありません。地域にとって絶対に失ってはいけないものは、伝統・文化・風土・立地などに裏付けられたアイデンティティーです。なぜなら、長い年月をかけ積み重ねられ、今日まで紡がれてきた歴史そのものであるからです。先人から受け継がれてきた素晴らしい財産をあらためて深く理解し、時代に則した発想を持ってアイデンティティーを再生することで、新たな創造が行われます。今こそ、地域の在り方を明確にする為に、「選択と集中」を図り、進むべき道筋を示す羅針盤を手に入れなければなりません。

淡路島が淡路島らしい魅力を放つためには、グローバルな視野をもってローカルを考えるとこの観点を持たなければなりません。すなわち、淡路島の外からの視点で独自性や魅力、そして何より、求められる担いを俯瞰的に考察する必要があります。淡路島を訪れる人々はどのようなことに期待し、魅力を感じているのか。淡路島を訪れる人々やほかの地域に対しどのような価値を提供できるのか。このような相手を中心とした捉え方が非常に大切なことであり、見方を変えれば、淡路島に従来より根付くホスピタリティ精神そのものであると気づくはずで

経済活動と同様に地域も競争社会の中にあり、役立つものであれば必要とされ、そうでないものは必然的に淘汰の道を歩むしかありません。そうならない為にも、淡路島の特色をブラッシュアップし、どこの地域よりも魅力的で価値の高いものを目指していく必要があります。そのためにはまず、自分達の利益の為に行うまちづくりという視点を捨て去り、

地域も人や企業と同様に、相手に貢献するという価値観を持たなければならないのです。利益の享受は結果であり、目的ではないということをあらためて認識しましょう。そうすることにより「淡路島という地域」が必要不可欠な存在となり、また、それを目指す行為の積み重ねが、人々の地域に対する誇りになると確信します。

むすびに

青年会議所の三信条である「奉仕・修練・友情」は、我々にとって決して揺らぐことのない尊い価値観です。三つの信条それぞれが独立して意味を成しているのではなく、すべてが密接かつ有機的につながっています。つまり、真剣にまちづくりに取り組むことにより、心とスキルが磨かれ、お互いに切磋琢磨することにより本当の友情が築かれるものと思います。このような人と人との関わり合いの中で、自分自身が意識している、していないに関らず、さまざまな場面でたくさんの人から教えられ、励まされ、救われているはずで、周りから与えられ、生かされているということを理屈ではなく肌で感じ、心で理解しなければなりません。それができれば、おのずと「させていただいている」という感謝の気持ちが湧いてくることでしょう。その上で、身の周りに義理を返していくことは当然、自分を育ててくれた親、仲間、そして故郷に感謝し、受けた恩を次の世代へと紡いでいくことは我々にとってまごうことなき義務なのです。

同じ時代に生きる同志とともに、未来を切り拓く勇気をもって挑戦してまいりましょう。それは、かけがえのない瞬間をともに刻み、地域の歴史に新しい1ページを綴ることになるのですから。

2. 基本方針

- 一. 助け合いの心を大切にする
- 一. 思考を深め本質を追及する
- 一. 勇気が必要な道を選択する

3. 副理事長抱負

副理事長 廣井 公壽 平川 智己 三倉 克仁



混沌とした時代の中、我々の活動は時代の流れとともに、未来を見据えた本質の追及が行われて参りました。いつの時代でも次代の先駆けとしての気概と行動を持って JC 活動を行っていかねばなりません。理事長が指し示す方針を形にするために、委員長をはじめとする全メンバーが与えられた役割を全うし、責任を持って勇気ある行動ができるようにサポートしていく必要があります。

JC ではその年度で与えられた役割や目的がありますが、メンバー各々が自覚と責任を持ち行動していくことをなくして理事長が指し示す方針を形にすることは出来ません。全ての事業が実りあるものになるように、各委員会が調査研究に基づいた明確な目的設定を行い、本質を追求した事業となるように、副理事長という立場を認識し三役間の意思統一を図り、これまでの JC 活動や諸先輩方から学んだことを伝え各委員会が方向性を見失わないようにサポートいたします。

また、近年 JC 活動を行っていく中で「奉仕・修練・友情」の三信条を全うしないために、様々な事業などに対しても参加意識が薄れているように感じます。三つの信条が独立して意味をなしているのではなく、密接な関係の中で繋がっていることをメンバー各々が意識しながら活動を行っていくことが重要であると考えます。そして、メンバー全員が妥協することなく、本質を追求し今後の JC 活動に対して勇気を持って行動するように指導して参ります。

我々、副理事長は JC 活動を成功へと導くことが最も重要な責務であると考えます。理事長が指し示す方針を遂行するために全力で役割を全うし、明るい豊かな淡路島づくりに邁進いたします。

基本方針

1. 三役間の意思統一を図り、各委員会をサポートいたします。
2. 本質を追求し勇気を持って行動するように指導して参ります。
3. JC 活動を成功へと導くために全力で役割を全うします。

4. 専務理事抱負

専務理事 高津 知也



我々一般社団法人淡路青年会議所は「明るい豊かな淡路島」を実現するために、諸先輩方の高い志のもと活動を展開してまいりました。我々は、諸先輩方の功績に感謝と敬意を表すとともに、途絶えることなく受け継がれた想いを継承していかなければいけません。その上で、時代の潮流に鑑み、変えるべきものと変えてはならないものを冷静に見極め、今の時代に合った組織に進化して行く必要があります。

無気力や無関心、自己の利益のみの追求が蔓延している今の時代において、志同じものが集い共に切磋琢磨しながら、情熱を持って運動している青年会議所は非常に貴重な存在であると考えます。しかし、近年メンバー同士が本気で関わりあうことも少なくなり、無難な方向に流されているようにも感じます。メンバー各々が与えられた役割をしっかりと認識して、明確な目的意識を持って妥協なく取り組めるように、メンバー一人ひとりに目配り気配りしながら、理事長が指し示す方針を伝えてまいります。同時に、常に LON 全体を把握することに努め、積極的に情報収集・情報発信を行うことにより、メンバー同士が他のメンバーの役割にも関心を持ち、切磋琢磨しながら一丸となって取り組める環境を整えます。また、専務理事の役割には、組織の対外的な窓口としての重要な役割もあります。メンバーが今後の JC 活動や見識の幅をより広げられるように、他 LOM や特別会員などと連絡を綿密に行ない、メンバーに情報を迅速かつ円滑に提供してまいります。

どんなに時代が変化しても、人が人によって磨かれ成長していくことは、これから先も変わりません。LOM の根幹を担う立場であることをしっかりと自覚し、人と人とが真面目に真っ向から向き合える環境を整えてまいります。メンバー一人ひとりが勇気をもって挑戦を積み重ねることが、「明るい豊かな淡路島」の実現につながると確信いたします。

基本方針

1. 理事長が指し示す方針をメンバーに浸透させます。
2. メンバー同士が切磋琢磨しながら一丸となって取り組める環境を整えます。
3. 組織運営を円滑に行えるよう十分にコンセンサスを図ります。

5. 監事抱負

上村 雄二郎 飛松 孝治



設立当初からの基本理念である「淡路はひとつ」、そして奉仕・修練・友情という三信条のもと日々活動をしている淡路JCは、本年度「妥協なき挑戦」をもって事業を構築し実行してゆかねばなりません。本年度は監事という立場で本会の運営について、それぞれが責務を全うしているかを見極めると共に、今までのJC活動に於いて先輩方より受継いできたこと、そして経験してきたことをベースに、メンバーへのアドバイスや時には厳しく指導を行って参ります。JCは毎年新たな役割に挑戦できる事が大きな魅力です、私共も監事という新たな役割に対し「妥協なき挑戦」をもって挑んで参ります。どうぞ一年間お付き合い下さいますようよろしくお願い致します。

基本方針

1. 理事会議論において、淡路JCを俯瞰的視点からあるべき方向へ導きます。
2. 「妥協なき挑戦」を念頭に置きメンバー指導にあたります。

6. 議長・委員長・室長事業計画並びに

予算及び役割業務

拡大戦略会議

議長 池澄 泰彦

スローガン

淡路 JC の興廃この拡大にあり！！



我々青年世代は、いわゆる失われた 20 年と呼ばれる中で、多くの時間を費やしてきました。先の見えない暗い世相を反映し、前向きな思考が失われてきたように思います。JC メンバーの減少はこれらの影響を大きく受けていることは否定できません。その負のスパイラルを打ち切るために、メンバー自身が活力に満ちた魅力溢れる人であることが前提にあり、そのような自負をメンバー自身がまず持ち、組織においてそのような意識付けの伝播を行うと共に一枚岩の拡大組織が必要不可欠であると考えます。

拡大において量をとるのか質をとるのかという議論もありますが、質を始めから追い求める価値観が必ずしも上位にくるものではありません。すなわち、人は人で磨かれるものであり、量から質が生まれてくると考えます。何故なら、人材は「人材」と呼ばれるように財源であり全ての源は人から生まれてくるのです。その意識付けをしっかりとメンバーに認識させるためにも、個々の力だけでなく、より組織としての力を十分に発揮させるために「会員拡大会議」を設置します。今まで実践されてきた手段を整理した上で、現在考えられるありとあらゆる手段を駆使し、より戦略的な拡大活動を行います。「デジタルのツールを駆使したアナログな対応」を意識し、メンバー一人ひとりが多くの候補者に対して、情熱を持ち人の心を打つ行動を起こさせてまいります。この前向きな連鎖が、活力みなぎる会員拡大へと繋がります。本年の拡大活動が今後の淡路 JC の興廃を左右するターニングポイントと位置づけ、背水の陣で『拡大 30 名』を必達します。

淡路 JC の魅力を伝え会員拡大を LOM 全体で成功させることが、単純に会員が増えることだけではなく、既存のメンバーが淡路 JC の担い手であるという自負、ひいては淡路 JC のメンバーであるという誇りになると確信します。

事業計画	実施月	内容	対象者	予算額(円)	備考
・ ホームページの管理・運営	通年	ホームページの管理・運営	正会員 一般	148,000	ホームページ製作費
・ 会員拡大事業	通年	会員拡大事業	正会員 入会候補者	150,000	実行委員会へ拠出
・ 例会の企画・設営及び運営	2月	例会の企画・設営及び運営	正会員	33,000	会場設営費等
			合計	331,000	

役割業務	実施月	業務内容
・ 会員拡大に関する諸業務	通年	
・ 会員拡大会議の運営	通年	
・ 年会費・入会金の調査	通年	
・ 広報・ITの活用（ホームページの立ち上げ・管理・運営）	通年	
・ 例会の企画・設営及び運営	2月	
・ 例会欠席者へのアテンダンスの案内及びフォロー	通年	
・ 委員会活動及び事業の記録保存	通年	
・ 全事業への参加協力	通年	
・ 理事長諮問に関する答申業務	通年	

スローガン

一隅を照らせ!!



昨今の「混沌とした時代」だからこそ、社会に対し前向きな変化を与えようとする青年会議所やその活動が必要であります。そのためには、しっかりとした組織運営が必要であり、青年会議所が目指す「明るい豊かな社会」の実現に向け、その歩みを着実に前進させるためには、基礎的業務の正確な運営が必要不可欠であります。

我々がこの淡路島に対し価値あるまちづくりを行うためには、理事長の掲げるスローガン・所信のもと、各委員会が与えられた役割を確実に遂行していくことが必要であります。理事長公室として、三役と委員長間及び各委員長間で共有すべき事柄のそのままを伝えるのではなく、1つの意見に至るまでの過程やその行間に込められた想いも含めて共有することで連絡調整役としての機能を十分に発揮してまいります。そして、これらの活動から青年会議所運営に関する重要な会議体のスムーズな進行はもちろんの事、気づきや修練の場といった、実りある会議になるよう運営してまいります。また、常に各委員会の置かれている状況を把握し、常に情熱を絶やさず、時に厳しく積極的に関わることで一般社団法人淡路青年会議所全体に目配り・気配りを忘れることなく行動してまいります。そして、より多くのメンバーと関わる中で、経験年数の浅いメンバーにも積極的に関わり、40歳までという短い活動の間、まちづくりに本気で取り組むことで、自分を磨き、それらを通して友情の輪を広げていくというJC活動の醍醐味を伝えてまいります。

我々は、今持つポテンシャルを最大限に活かすことはもちろん、積極的な活動と勇気ある選択を繰り返し、己を高めていくことで、その最大限をさらに伸ばし、メンバー一人ひとりがより多くの人々を照らし、輝きを放つことで「明るい豊かな淡路島」に向けての歩みを前進させるものと確信致します。

事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施月	内容	対象者	予算額(円)	備考
会員名簿及び名刺の作成	2月	会員名簿の発行	正会員 特別会員	320,000	
2014年度総合資料の作成	2月	PDF データ、CD-R	正会員	1,000	
新入会員に対する研修事業の企画・設営及び運営	4月	新入会員に対する研修事業	新入会員	28,000	
			合計	349,000	

役割業務	実施月	業務内容
・ 理事長の秘書的業務及び専務事の補佐	通年	会員名簿 2014年2月、名刺 2013年11月
・ 会員名簿及び名刺の作成	2月	
・ 2014年度総会資料の作成	2月	
・ 一般庶務事項及び発送文書の管理	通年	
・ 財務に関する処理及びコストダウンの調査	通年	
・ 渉外業務全般	通年	
・ 会費の徴収	前期・後期	
・ 事務局全般にわたる業務及び管理	通年	
・ 理事会の設営及び議事録の作成	通年	
・ 三役会の設営	通年	
・ 通信案内簿及び諸記録の整理	通年	
・ ゴルフ同好会・卒業ゴルフコンペの開催	通年	
・ 新入会員に対する研修事業の企画・設営及び運営	通年	
・ 会員拡大に関する業務	通年	
・ 公室活動の記録保存	通年	
・ 全事業への参加協力	通年	
・ 理事長諮問に関する答申業務	通年	

スローガン

新たな未来を切り拓く



考えます。

これまでの51年という長きにわたり諸先輩方が積み重ねられてきた淡路JCらしさは他にないものであり、そこには「淡路はひとつ」という設立当初の言葉に代表されるように、「明るい豊かな淡路島」の実現へ具体的な理念と気概がありました。それらはこれからも広く受け継がれていくべきものであり、そうすることで必然的に自分自身が成長し、その成長は地域の発展にはかせないものであると

Jayceeの人間力育成を活動の基盤である例会に求め、各々の業界という壁を超え、物事を俯瞰的に見ることの大切さを伝えることにより、自分自身どうあるべきかを客観視できる場の創出を、委員会一丸となって行ってまいります。その結果、心のあり方を変革することができ、その場の勉強だけに終わることなく、常に目的達成を意識し、広く大きく先々のことを捉え着実に行動することで、自分自身が成長し、さらには地域の発展にも繋げることができる人間力の育成を行ってまいります。

そして地域がよりよくなるためには、我々青年経済人の成長もさることながら、未来を担う子どもたちの成長も不可欠です。ただしそこには、次代を切り拓いていく人材として子どもたち自身が人間力を身に付けることが必要です。その機会を創出することで、目標に向かって行動することの大切さを伝える設営をしてまいります。

知識だけではなく行動がともなってこそ、人間力育成に繋がりますが、行動することの対価はお金や地位、名誉ではありません。行動することで得た人間的な成長こそが自分自身を豊かにするものであります。そしてその成長が地域にとってなくてはならないものであると確信しています。一人でも多く「明るい豊かな淡路島」の実現に繋がる人間力の育成に尽力いたします。

事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施月	内容	対象者	予算額(円)	備考
・人間力育成に関する例会の設営及び運営	3,4,9, 10,11 月	人間力育成に関する 例会の企画・設営及び 運営	正会員 準会員	552,000	会場設営費等 講師関係費等 資料作成費等
・第20回わんぱく相撲の企画・設営及び運営	5月	第20回わんぱく相 撲の企画・設営及び運 営	淡路島在 住小学生	110,000	会場設営費等
			合計	662,000	

役割業務	実施月	業務内容
・人間力育成に関する例会の企画・設営及び運営(5回)	3,4,9, 10,11 月	人間力育成に関する例会の企画・設営及び運営
・例会欠席者へのアテンダンスの案内及びフォロー	3,4,9, 10,11 月	
・第20回わんぱく相撲淡路場所の企画・設営及び運営	5月	第20回わんぱく相撲淡路場所の企画・設営及び運営
・会員拡大に関する業務		
・委員会活動及び事業の記録保存	通年	
・全事業への参加協力	通年	
・理事長諮問に関する答申業務	通年	
	通年	

スローガン

Change Myself



今、我々の生活は環境も整備され生活するために必要なものには恵まれています。しかし、実態経済の悪化が地域経済の疲弊を生み、少子高齢化など地域を取り巻く環境が大きく変化し将来的な不安を抱えています。淡路島が淡路島らしい輝きを放ちさらに発展するためには、進むべき道筋を今、明らかにする必要があります。

私自身、淡路 JC へ入会に至った経緯が淡路 JC の社会開発事業に参加させていただいたことがきっかけでした。当時の想いを改めて思い起こしてみると、今の状況で果たして子どもたちが淡路を好きと言えるだろうか、どうしたら淡路島を好きと言えるだろうかという想いであり、それは今も変わりなく、青年会議所活動をする中でより一層大きくなってきました。淡路島は他の地域と比べ、阪神間などの経済圏に近い立地条件・気候風土・歴史・食などに恵まれています。しかし、恵まれているからこそ本来大切にすべきことを見失っています。今の生活がよければよいといった短絡的な考えでなく、次代に繋ぐための地域の在り方について真剣に取り組むことが必要不可欠です。地域に住まう人々の存在なくして地域の発展はありません。淡路島の魅力とは何かを考える上で、歴史・文化などをあらためて深く理解し、ひとづくりから始まるまちづくりを行うことで、淡路島を訪れる人々や、他の地域にどのような価値を提供できるのかを追求し、地域の在り方を明確にして参ります。

島民の地域に対する誇りと、地域を愛する人の輪を広げ、「淡路島という地域」が必要不可欠な存在になる為には何が必要なのかを追求し、そして、淡路島について考え行動する島民が明日の淡路島を切り拓き、「明るい豊かな淡路島」の実現につながるものと確信いたします。

事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施月	内容	対象者	予算額(円)	備考
・社会開発事業の企画・設営 及び運営	7月	社会開発事業の企画・設営及び運営	淡路島 島民	1,500,000	会場設営費等
			合計	1,500,000	

役割業務	実施月	業務内容
・社会開発事業の企画・設営 及び運営	7月	社会開発事業の実施
・会員拡大に関する業務 (関係委員会との連絡調整)	通年	
・委員会活動及び事業の記録保存	通年	
・全事業への参加協力	通年	
・理事長諮問に関する答申業務	通年	

スローガン

No Activation No Lif



我々は「淡路はひとつ」の理念の基、先輩諸兄から受け継いできた「明るい豊かな淡路島づくり」をしっかりと認識し、実現に向け活動してまいりました。しかし、近年は暗い世相のさなかにあり、組織内の雰囲気も決して明るいとは言い切れなくなってきたように思えます。組織が活気を取り戻すには更なる積極性が必要不可欠です。人と人との関わり合いを今まで以上のものとし、感謝の気持ちを忘れず何事にも前向きな気持ちで行動し、一般社団法人淡路青年会議所を盛り上げ活性化させるのがLOM活性化委員会の

役割だと考えます。

本年度、当委員会は新年会、会員交流事業、対内広報紙の役割をいただきました。自分自身の限界に挑戦し、超える事を前提としながらも対話と関わり合いの重要性をよく考え、メンバー全員と協和し、心に響きあえる事業の企画、運営に努め、笑顔あふれる交流の輪をもっと大きく広げてまいります。思えば私自身、青年会議所で様々な機会をいただき、多くの人から叱咤激励され、そして学ばせていただきました。それは自分にとってかけがえのない貴重な経験です。周りから与えられ生かされている事を更に自覚し、価値のある経験をこれからもより多くのメンバーと体験し、労いの心を忘れず相互の交流を図ってまいります。お互いの意識を高め、そして感性を刺激しあえるよう、当委員会が率先して行動しLOM全体の活性化を実現致します。

『妥協なき挑戦!』新たなる1ページを常に意識しLOMの活性化に本気で取り組む事は当委員会の使命であり、成し事です。同じ時代を生きる同志達と積極的に関わり合い、苦楽を共にしながら、より深いよしみを結べるよう精意尽力する事こそが、組織全体を活性化し、「明るい豊かな淡路島」の実現につながると確信致します。

事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施月	内容	対象者	予算額(円)	備考
・ 対内広報紙の発行	毎月	対内広報紙の発行	正会員 特別会員	320,000	360部×12回
・ 新年会の企画・設営及び運営	1月	新年会の企画・設営 及び運営	正会員 特別会員	245,000	会場設営等
・ 会員交流事業の企画・設営及び 運営	8月	会員交流事業の企画・ 設営及び運営	正会員 家族	50,000	会場設営等
			合計	615,000	

役割業務	実施月	業務内容
・ 新年会の企画・設営及び運営	1月	新年会の企画・設営及び運営
・ 会員同士の交流事業の企画・及 び運営	8月	会員同士、家族の交流事業の企画・及び運営
・ 懇親会設営	通年	
・ 公的出向の際の LOM ナイトの設 営	通年	
・ 対内広報紙の発行(12回)	通年	
・ 会員拡大に関する業務 (関連委員会との連絡調整)	通年	
・ 委員会活動及び事業の記録保存	通年	
・ 全事業への参加協力	通年	
・ 理事長諮問に関する答申業務	通年	

例会委員会

委員長 浅井 克也

スローガン

助け合いの心を育もう!



JC 活動の中において毎月開催される例会は、Jaycee が一同に会する場であり、我々の活動の基盤とも言えるものであります。これからも高い志をもって JC 活動を展開していくためには、多くの学びや気づきを得られる機会となるための例会運営が必要であることはもちろん、今一度、メンバー全員がより高い参加意識を持つことが重要であると考えます。

今年度、例会委員会では明るい豊かな社会を目指す上で欠かすことのできない人と人との関わり・繋がり・助け合いの重要性を念頭において、各例会担当委員会はもちろん他の委員会と積極的に連携していきます。他の委員会との合同委員会を開催し、全ての例会の企画及び準備の段階から参画し、共に協力しながら例会をつくり上げていきます。その中において、様々な価値観を持ったメンバー同士が助け合い、関わりを徹底的に深めていきます。そして、共に困難を乗り越え、共に成長し喜びを分かち合うことで互いの絆を深め、相手を思いやる気持ちを育みます。また、毎月の例会の目的を明確にするとともに、メンバー同士の連絡を密にし、積極的に関わっていき、強い連帯感へと結びつけ、繋がりや輪を強固なものとする事で、一人ひとりの参加意欲向上に繋がるよう努めてまいります。さらに、メンバーが凛とした気持ちで例会に臨めるよう、礼儀礼節を重んじ、厳粛かつ規律ある例会運営に努めます。そして、例会がメンバー全員に対して価値ある有意義な場となるよう運営してまいります。

例会においてメンバー同士が関わり合い、得ることができる学びや経験は、メンバー一人ひとりの成長につながり、そのメンバー自身の成長こそ組織の活性化の源となり、ひいては「明るい豊かな淡路島」の実現につながるものと確信いたします。

事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施月	内容	対象者	予算額(円)	備考
・例会の企画・運営	1・5・ 6・7・ 8・12 月	例会の企画・運営	正会員 準会員	242,000	会場設営費等
・総会の設営及び運営、総会資料及び議事録の作成	1・8・ 12月	総会の設営・運営	正会員	0	
・選挙管理委員会の設置	7月	選挙管理委員会の設置	正会員	0	
・兵庫ブロック公式訪問資料作成、役員懇談会の企画・設営及び運営	2月	兵庫ブロック公式訪問資料作成、役員懇談会の企画・設営及び運営	正会員 ブロック 団	0	登録料収入にて運営
			合計	242,000	

役割業務	実施月	業務内容
・例会の企画・運営（6回）	1・5・6・ 7・8・12 月	例会の企画・運営
・例会の設営	通年	例会の設営
・例会欠席者へのアテンダンス案内及びフォロー	通年	
・例会の出席率向上に関する業務	通年	
・総会の設営及び運営、総会資料及び議事録の作成	通年	
・選挙管理委員会の設置	7月	
・兵庫ブロック公式訪問資料作成、役員懇談会の企画・設営及び運営	2月	
・褒賞に関する報告書作成及び褒賞委員会の企画・設営及び運営	通年	
・会員拡大に関する業務	通年	
・委員会活動及び事業の記録保存	通年	
・全事業への参加協力	通年	
・理事長諮問に関する答申業務		

7. 出向者抱負

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

監査担当役員

上村 雄二郎



2014年度、私自身ラストイヤーを迎え14年間のJC生活最後にこのような大役を頂きました事、深く感謝申し上げます。

一般社団法人淡路青年会議所で培った事、ブロック出向時に先輩方に教えられたこと、沢山の皆様から教えていただいた事を、後輩達にお伝えする事が何よりの役目と理解し、一年間全うして参りたいと存じます。最後に今年一年間皆様の御協力をお願い申し上げ、監査担当役員抱負とさせていただきます。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

上村監査担当役員セクレタリー

法月 正義



2014年度、上村監査担当役員のセクレタリーとして、出向させて頂く機会を与えて頂きありがとうございます。上村監査がスムーズに役割を果たせるよう、濱田セクレタリー、村田セクレタリーと共にサポートさせていただきます。また、スケジュールリングを上達させ、兵庫ブロックで友情を深めて参ります。皆様一年間ご協力頂きますようよろしくお願い致します。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

上村監査担当役員セクレタリー

濱田 眞輔



この度、2014 年度兵庫ブロック協議会上村監査担当役員のセクレタリーを務めさせて頂く事になりました。上村監査担当役員の業務がスムーズに行えるように務めて参ります。また、ブロック内で交流することを通して自分自身をより進化させ、たくさんのごことを学び、今後の JC 活動に活かしていきたいと思っております。一年間どうぞよろしくお願い致します

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

上村監査担当役員セクレタリー

村田 泰志



この度、上村監査担当役員のセクレタリーとして出向させて頂くことになりました。上村監査の秘書的業務を通じ、兵庫ブロックの成り立ちや、上村監査の業務の進め方などを、近くで学ばせて頂きたいと思っております。ここで培った経験を、今後の JC 活動に役立てたいと考えます。一年間ご指導頂きますようお願い申し上げます

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

日本 JC 連携推進会議

三倉 克仁



本年度、兵庫ブロック協議会 日本 JC 連携推進会議へ出向することになりました。世間でも、憲法改正に注目が集まるというタイムリーな状況の中で、この議会に出向させていただくことは大変有意義なことであると感じております。これまでも当 LOM から議長を務められた会議体でもありますので、淡路 JC の看板を非常に重いものとして受け止め、活動に邁進して参る所存です。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

兵庫ビジョン創造委員会

時枝 弘記



本年度、兵庫ブロック協議会兵庫ビジョン創造委員会に出向させていただくことになりました。青少年育成事業、兵庫県知事との討論会の開催、そして防災ネットワークの拡充・強化という三つの役割を担っております。その中において副委員長を仰せつかり、委員長のよきパートナーになるよう努力し、そこで得た経験をLOMに持ち帰ることができるよう活動に邁進いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

兵庫アカデミー委員会

委員長 中村 篤弘



2014年度、出向理事ということで2013年度に引き続きの出向となります。LOMとしての立ち位置としては、理事会において資料では見えてこない部分まで確認を行い、メンバーにとって有意義な事業にしていく役割があります。また出向先の兵庫ブロック協議会では、兵庫アカデミー委員会の委員長として、約100名近いメンバーを預かり、一年を通してPositiveChangeしたメンバーを各LOMへと帰っていただく担いがあります。近年に比べ、多くのメンバーを預かせていただくことは、プレッシャーを感じていますが、このプレッシャーをプラスに変え一年間、委員会メンバーと共に切磋琢磨し楽しく時には苦しみも共感し、地域を超越した他を慮る精神、率先垂範の精神、次年度に繋がるよう発想を磨き人と地域とが共鳴する兵庫の実現へと繋げます。淡路JCの現役メンバーまた、OBの皆様にはご支援、ご協力を賜る機会が多々出てくるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

中村委員長セクレタリー

出田 裕重



2014年度 兵庫ブロック協議会 中村委員長セクレタリーを務めさせていただくことになりました。中村委員長が職務に専念できるように、LOMでの経験を活かし、精一杯励んでまいりたいと思います。よろしくお願い致します。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

中村委員長セクレタリー

中田 勝文



2014年度 兵庫ブロック協議会 中村委員長のセクレタリーとして出向させていただくことになりました。中村委員長が心置きなく委員会や事業が行えるよう、セクレタリー3名で相互の役割をこなし、スムーズに行えるよう努めます。また、活動していくうえで、多くの人と関わり友情を深めて行きたいと思います。淡路JCから出向していることを自覚し行動し成長できるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

中村委員長セクレタリー

三浦 義崇



2014年度 兵庫ブロック協議会 中村委員長セクレタリーを務めさせていただくことになりました。中村委員長が職務に専念できるように、セクレタリーとして一生懸命勤めたいと思います。また、委員会には、他LOMから出向されている方々も多くいますので、淡路JCの一員として恥ずかしくない言動を心がけ、学んだものをLOMへ持ち帰れるように頑張る所存です。よろしくお願い致します。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

兵庫アカデミー委員会

植野 泰幸



この度、兵庫アカデミー委員会に出向させて頂くことになりました。JC 歴が浅い私ですので、まずしっかり委員会で JC について学びたいと思っております。そして、他ロムの方々と交流を深めることで自分にはないものを吸収したいと思っております。どうぞ1年間よろしくお願い致します。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

兵庫アカデミー委員会

藤川 龍介



この度、兵庫アカデミー委員会に出向させていただくことになりました。JC 歴は1年とまだ若輩者ですが、他 LOM の方々と交流を深める事ができ、自身のスキルアップにも繋げられる貴重な場を与えていただいた事を感謝しております。100% 出席を第一目標に、有意義な1年を過ごせるよう努めて参ります。よろしくお願い致します。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

JC 運動発信委員会

有賀 雄一



兵庫ブロック協議会 JC 運動発信委員会に出向させていただくことになりました。委員会の役割はブロックホームページの管理・運営、各種会議・大会におけるナイト・ブース設営の検討及び運営、褒章に関する窓口業務となっております。機会を与えていただいたことに感謝ししっかりと一年間活動を行い、一つでも多くのことをLOMに持ち帰ってきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

ブロック大会運営委員会

浅井 克也



この度、兵庫ブロック協議会 ブロック大会運営委員会に出向させていただくことになりました。本大会は各地青年会議所の資質向上を目的として発起され、時代の進歩と共に、開催の意義や目的にも新たな要素が加わり、2013年度からより公益性を高めるために「会員大会」から「ブロック大会」へと名称が変更されております。委員会に積極的にに関わり、LOMに一つでも多くのことを持ち帰り伝えられるように頑張っ
て参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

財務規則審査会議

寺岡 良祐



この度兵庫ブロック協議会財務規則審査会義に出向させて頂くことになりました。本会議は、兵庫ブロック協議会における財務及びコンプライアンスの審査を行う重要な役割を担っており、参加できることを大変光栄に思っております。本会議で学んだことを今後のJC活動に役立てる所存ですので、一年間よろしくお願い致します。これから1年間宜しくお願いいたします。

8. 正味財産増減予算

自 2014年 1月 1日

至 2014年 12月 31日

単位：円

科 目	修正予算額	当初予算額	当初予算 との比較	予算額	予算額	備考
	H26.1.1~H26.12.31 2014年度	H26.1.1~H26.12.31 2014年度		H25.4.1~H25.12.31 2013年度	H25.1.1~H25.12.31 2013年度	
I 一般正味財産増減の部						
1.経常増減の部						
(1)経常収益						
①受取入会金	250,000	0	250,000	100,000	150,000	新入会員5名×¥50,000
②受取会費	7,990,000	7,510,000	480,000	4,620,000	8,380,000	
正会員受取会費	7,840,000	7,360,000	480,000	4,560,000	7,840,000	49名×¥160,000
その他受取会費	150,000	150,000	0	60,000	540,000	卒業生5名×¥30,000
③事業収益	0	0	0	0	0	
受託事業収益	0	0	0	0	0	
登録料	0	0	0	0	0	
その他事業収益	0	0	0	0	0	
④受取負担金	0	0	0	0	0	
⑤寄付金	0	0	0	0	0	
⑤雑収益	1,500	1,500	0	1,999	3,000	
受取利息	1,500	1,500	0	1,999	3,000	
配当金	0	0	0	0	0	
雑収益	0	0	0	0	0	
経常収益計	8,241,500	7,511,500	730,000	4,721,999	8,533,000	
(2)経常費用						
①事業費						
給料手当	72,400	72,400	0	0	0	社活¥50,000 わんぱく¥20,000 新年会 2,400
福利厚生費	0	0	0	0	0	
会議費 賃借料	592,080	592,080	0	427,000	500,000	
消耗品費	453,291	453,291	0	734,250	997,000	※事業の予備費も含む
レンタル料	0	0	0	20,000	20,000	
食糧費	122,650	122,650	0	55,000	55,000	
人件費	7,000	7,000	0	0	0	
支払手数料	60,000	60,000	0	0	60,000	
講師関係費	41,700	41,700	0	42,000	42,000	
諸謝金	746,480	746,480	0	750,000	750,000	
旅費交通費	450,000	450,000	0	0	0	
資料作成費	371,747	371,747	0	597,766	800,000	
広告普及費	140,960	140,960	0	78,551	80,000	
報告書作成費	3,799	3,799	0	1,000	1,000	
交際費	0	0	0	0	0	
保険料	24,820	24,820	0	50,000	50,000	
印刷製本費	654,000	654,000	0	400	400,000	
通信運搬費	12,263	12,263	0	590	5,000	
支払負担金	10,000	10,000	0	10,000	10,000	
雑費	8,210	8,210	0	35,282	60,000	
事業費計	3,771,400	3,771,400	0	2,801,839	3,830,000	

科 目	修正予算額	当初予算額	当初予算 との比較	予算額	予算額	備 考
	H26.1.1~H26.12.31	H26.1.1~H26.12.31		H25.4.1~H25.12.31	H25.1.1~H25.12.31	
	2014年度	2014年度		2013年度	2013年度	
②管理費						
会議費	15,000	15,000	0	185,100	241,800	総会ハガキ代
給料手当	887,600	887,600	0	725,280	960,000	
退職給付引当金	0	20,000	△ 20,000	0	0	
福利厚生費	165,000	165,000	0	123,000	150,000	交通費・雇用保険料
渉外費	365,000	365,000	0	471,072	550,000	県民*110,000+各種登録*78,000+褒賞*60,000+LOM役員懇談会
慶弔費	150,000	200,000	△ 50,000	184,170	200,000	
減価償却費	130,000	58,994	71,006	43,290	58,994	
消耗品費	250,000	250,000	0	708,084	750,000	コピー用紙・トナー他
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	
通信費	505,000	505,000	0	378,614	520,000	電話代・JCプレス送料等
印刷製本費	45,000	45,000	0	18,960	70,000	年始の挨拶状
賃借料	1,020,000	1,020,000	0	765,000	1,020,000	¥85,000×12ヶ月
光熱水料費	250,000	250,000	0	178,146	250,000	
諸謝金	100,000	100,000	0	0	0	税理士報酬
修理費	50,000	50,000	0	362,851	400,000	パソコン修理代など
租税公課	25,000	25,000	0	22,452	25,000	印紙代・県民税(¥22,000)
雑費	150,000	150,000	0	109,975	150,000	新聞代等
			0			
小計	4,107,600	4,106,594	1,006	4,275,994	5,345,794	
③負担金						
JCI会費	55,566	52,164	3,402	0	43,708	¥1,134×49名
日本JC会費	275,000	260,000	15,000	0	275,000	¥30,000+¥5,000×49名
国際協力資金	89,425	83,950	5,475	0	89,425	¥5×365日×49名
近畿地区会費	90,200	84,800	5,400	0	90,200	¥2,000+¥1,800×49名
兵庫ブロック会費	285,000	270,000	15,000	0	285,000	¥40,000+¥5,000×49名
小計	795,191	750,914	44,277	0	783,333	
管理費計	4,902,791	4,857,508	45,283	4,275,994	6,129,127	
経常費用計	8,674,191	8,628,908	45,283	7,077,833	9,959,127	
当期経常増減額	△ 432,691	△ 1,117,408	684,717	△ 2,355,834	△ 1,426,127	
2.経常外増減の部						
(1)経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	
(2)経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	
経常外費用増減額						
一般正味財産増減額	△ 432,691	△ 1,117,408	684,717	△ 2,355,834	△ 1,426,127	
一般正味財産期首残高	8,238,250	0	8,238,250	8,895,165	7,675,458	
一般正味財産期末残高	7,805,559	△ 1,117,408	8,922,967	6,539,331	6,249,331	
Ⅱ正味財産期末残高	7,805,559	△ 1,117,408	8,922,967	6,539,331	6,249,331	

単位：円

単位：円

委員会名称	収入の部		支出の部		備考
	科目	予算額	科目	予算額	
理事長公室	事業収入	321,000	会場費	21,000	
			賃借料	5,400	
			消耗品	0	
			食糧費	0	
			人件費	0	
			支払手数料	0	
			講師関係費	0	
			諸謝金	0	
			資料作成費	799	
			広告普及費	0	
			報告書作成費	799	
			旅費交通費	0	
			交際費	0	
			保険料	0	
		印刷製本費	315,000		
		通信運搬費	0		
		支払負担金	0		
		雑費	0		
		予備費	6,003		
小計	321,000	小計	349,000		
拡大戦略会議	事業収入	359,000	会場費	63,000	
			賃借料	19,750	
			消耗品	0	
			食糧費	0	
			人件費	0	
			支払手数料	0	
			講師関係費	5,250	
			諸謝金	0	
			資料作成費	234,798	
			広告普及費	0	
			報告書作成費	0	
			旅費交通費	0	
			交際費	0	
			保険料	0	
		印刷製本費	0		
		通信運搬費	0		
		支払負担金	0		
		雑費	0		
		予備費	12,202		
小計	359,000	小計	331,000		
人間力育成	事業収入	662,000	会場費	36,350	
			賃借料	22,650	
			消耗品	0	
			食糧費	0	
			人件費	0	
			支払手数料	16,050	
			講師関係費	300,000	
			諸謝金	4,488	
			資料作成費	40,960	
			広告普及費	0	
			報告書作成費	0	
			旅費交通費	100,000	
			交際費	0	
			保険料	7,000	
		印刷製本費	27,000		
		通信運搬費	880		
		支払負担金	10,000		
		雑費	14,210		
		予備費	14,212		
小計	662,000	小計	662,000		
社会開発	事業収入	1,500,000	会場費	250,000	
			賃借料	25,000	
			消耗品	100,000	
			食糧費	7,000	
			人件費	30,000	
			支払手数料	5,400	
			講師関係費	440,000	
			諸謝金	125,000	
			資料作成費	100,000	
			広告普及費	3,000	
			報告書作成費	350,000	
			旅費交通費	0	
			交際費	10,000	
			保険料	0	
		印刷製本費	0		
		通信運搬費	1,000		
		支払負担金	0		
		雑費	3,000		
		予備費	5,600		
小計	1,500,000	小計	1,500,000		
例会	事業収入	242,000	会場費	104,080	
			賃借料	96,110	
			消耗品	0	
			食糧費	0	
			人件費	0	
			支払手数料	15,000	
			講師関係費	6,480	
			諸謝金	5,843	
			資料作成費	0	
			広告普及費	0	
			報告書作成費	0	
			旅費交通費	0	
			交際費	7,820	
			保険料	0	
		印刷製本費	240		
		通信運搬費	0		
		支払負担金	0		
		雑費	6,427		
小計	242,000	小計	242,000		
LOM活性化	事業収入	615,000	会場費	72,000	
			賃借料	169,450	
			消耗品	0	
			食糧費	0	
			人件費	0	
			支払手数料	30,000	
			講師関係費	0	
			諸謝金	0	
			資料作成費	820	
			広告普及費	0	
			報告書作成費	0	
			旅費交通費	0	
			交際費	0	
			保険料	0	
		印刷製本費	312,000		
		通信運搬費	10,143		
		支払負担金	0		
		雑費	5,000		
		予備費	15,587		
小計	615,000	小計	615,000		
全体	事業収入	3,699,000	会場費	592,080	
			賃借料	348,060	
			消耗品	122,650	
			食糧費	7,000	
			人件費	60,000	
			支払手数料	41,700	
			講師関係費	746,480	
			諸謝金	371,747	
			資料作成費	149,950	
			広告普及費	3,799	
			報告書作成費	450,000	
			旅費交通費	0	
			交際費	24,820	
			保険料	654,000	
		印刷製本費	12,263		
		通信運搬費	10,000		
		支払負担金	8,210		
		雑費	108,231		
		予備費	108,231		
小計	3,699,000	小計	3,699,000		

9. 2014 年度 一般社団法人淡路青年会議所

役員名簿

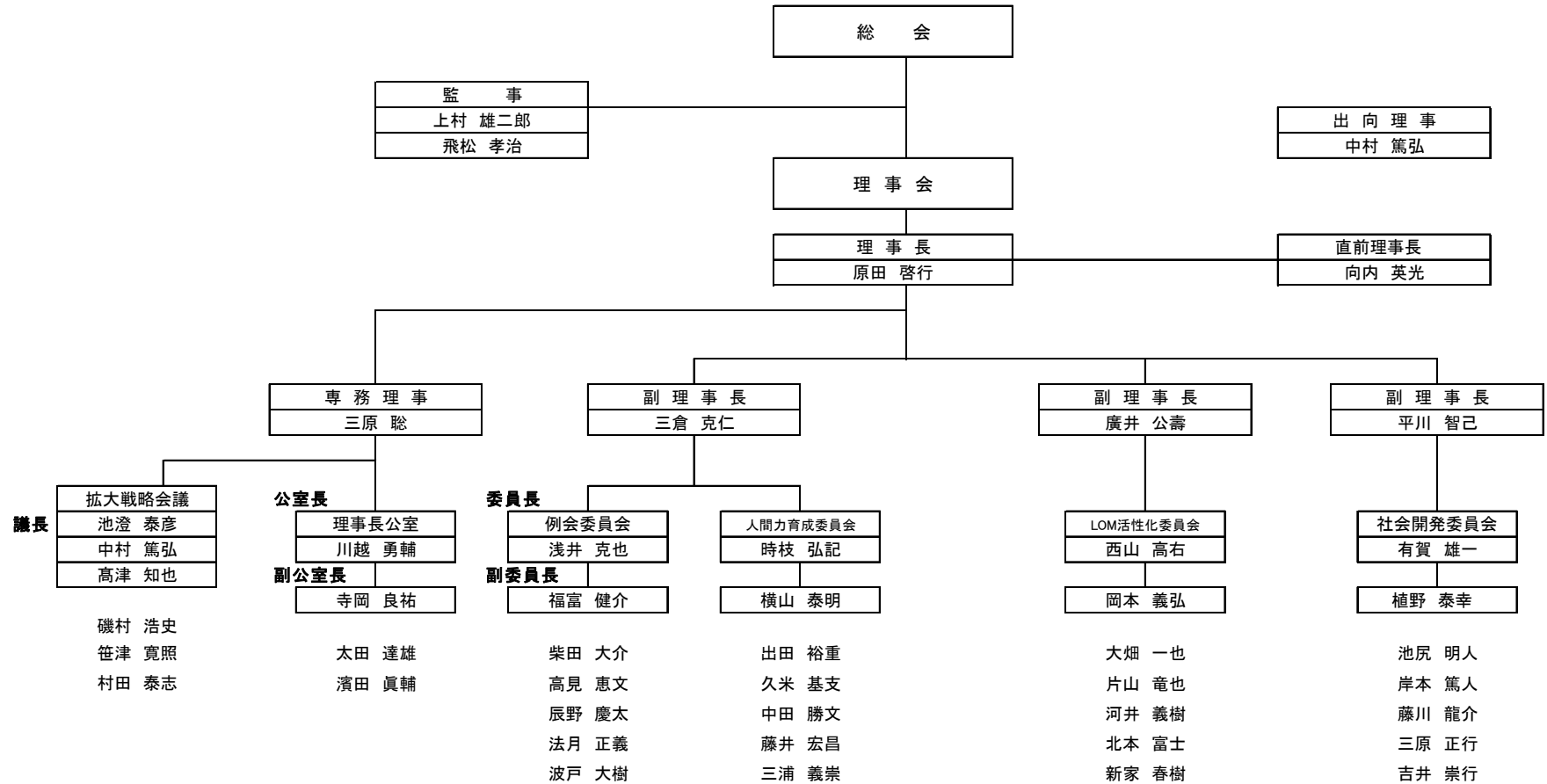
理事長	原田 啓行
直前理事長	向内 英光
副理事長	廣井 公壽
	平川 智己
	三倉 克仁
専務理事	高津 知也
理事	池澄 泰彦
	川越 勇輔
	時枝 弘記
	有賀 雄一
	西山 高右
	浅井 克也
出向理事	中村 篤弘
監事	上村 雄二郎
	飛松 孝治

10. 出向者一覧

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

出 向 先	役 職	出向者氏名
	監査担当役員	上村 雄二郎
	セクレタリー	法月 正義
	セクレタリー	濱田 眞輔
	セクレタリー	村田 泰志
日本JC連携推進会議	副 委 員 長	三倉 克仁
兵庫ビジョン創造委員会	副 委 員 長	時枝 弘記
兵庫アカデミー委員会	委 員 長	中村 篤弘
兵庫アカデミー委員会	委 員	植野 泰幸
兵庫アカデミー委員会	委 員	藤川 龍介
JC 運動発信委員会	委 員	有賀 雄一
ブロック大会運営委員会	委 員	浅井 克也
財務規則審査会議	委 員	寺岡 良祐

11. 組織及び委員会構成



12. 年間スケジュール

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
例会	15日(水) 1月例会 16:00～17:30 淡路夢泉景	12日(水) 2月例会 18:30～21:00 洲本市文化体育館	12日(水) 3月例会 18:30～21:00 洲本市文化体育館	9日(水) 4月例会 18:30～21:00 洲本市文化体育館	14日(水) 5月例会 18:30～21:00 洲本市文化体育館	11日(水) 6月例会 18:30～21:00 洲本市文化体育館	9日(水) 7月例会 18:30～21:00 洲本市文化体育館	6日(水) 8月例会 18:30～20:00 洲本市文化体育館	10日(水) 9月例会 18:30～21:00 伊弉諾神宮	8日(水) 10月例会 18:30～21:00 洲本市文化体育館	12日(水) 11月例会 18:00～21:00 洲本市文化体育館	10日(水) 12月例会 17:00～19:30 夢海游 淡路島
総会	15日(水) 第2回定時総会							6日(水) 臨時総会				10日(土) 第4回通常総会
理事会	8日(金) 16:00～17:30 夢海游 淡路島	5日(水) 19:00～21:30 夢海游 淡路島	5日(水) 19:00～21:30 夢海游 淡路島	2日(水) 19:00～21:30 夢海游 淡路島	7日(水) 19:00～21:30 夢海游 淡路島	4日(水) 19:00～21:30 夢海游 淡路島	2日(水) 19:00～21:30 夢海游 淡路島	7月30日(水) 19:00～21:30 夢海游 淡路島	3日(水) 19:00～21:30 夢海游 淡路島	1日(水) 19:00～21:30 夢海游 淡路島	5日(水) 19:00～21:30 夢海游 淡路島	3日(水) 19:00～21:30 夢海游 淡路島
三役会	27日(月)	24日(月)	24日(月)	30日(水)	26日(月)	23日(月)	22日(火)	25日(月)	22日(月)	27日(月)	25日(火)	22日(月)
日本青年会議所	京都会議 23日(木)～26日(日)		復興創造フォーラム(福島) 9日(日)				サマーコンファレンス(横浜) 20日(土)～21日(日)			全国会員大会(松山) 9日(木)～12日(日)		
JCI関係					ASPAC 4日(水)～7日(土)						JCI世界会議(ドイツ) 10月5日(火)～10日(日)	
近畿地区	会員会議所会議 京都会議中						地区大会中 13日(土)					
	地区事業						近畿地区会員大会(白浜・田辺)					
兵庫ブロック協議会	会員会議所会議	8日(土)神戸	21日(土)豊岡	26日(土)明石		28日(土)姫路				18日(土)三田	16日(日)神戸	
	正副・役員会議	18日(土)西宮	22日(土)加古川	15日(水)神戸	12日(水)淡路	10日(日)赤穂	14日(土)南丹		1日(金)尼崎	4日(土)姫路	1日(水)宝塚	5日(金)神戸
	役員会議	18日(土)西宮	22日(土)加古川	15日(水)神戸	12日(水)淡路	10日(日)赤穂	14日(土)南丹		1日(金)尼崎	4日(土)姫路	1日(水)宝塚	5日(金)神戸
	合同委員長会議		8日(土)神戸									
	公式訪問役員懇談会											
	その他事業		7日北方領土の日 22日竹島の日	県議会JCI議員との懇談会 2014年度会頭訪問						ブロック大会宝塚大会 14日(日)		
兵庫ブロック内各地周年記念式典												
					11日(日) 藤山(45周年) 18日(日) 相生(50周年)	22日(日) 尼崎(55周年) 29日(日) 小野加東(50周年)	12日(土) 明石(55周年)					
各委員会事業計画	拡大戦略会議	ホームページ作成	2月例会									
	理事長公室		総合資料作成 会員名簿		新入会員に対する事業							
	人間力育成			3月例会	4月例会	第20回 わんぱく相撲淡路場所			9月例会	10月例会	11月例会	
	社会開発							社会開発事業				
	LOM活性化	新年会							会員交流事業			
	例会	1月例会 総会設置		兵庫ブロック LOM役員懇談会		5月例会	6月例会	7月例会	8月例会 臨時総会設置			

13. 日本JC近畿地区兵庫ブロック協議

